

業態別にみた被保険者の健康状態に関する調査

【令和 5 年度】

調査対象：453組合（被保険者数：309万1,978人）

令和 7 年10月
健康保険組合連合会
政策部 調査分析グループ

【調査の概要】

- 本調査は、令和 5 年度の特定健診・特定保健指導データ及びレセプトデータをもとに、業態別に被保険者の健康状態や服薬の状況、メンタル系疾患の受診者割合を概観したものです。
- 健康状態及び服薬状況については、特定健診の問診回答並びに健診検査値をもとに40-74歳の被保険者を対象とし、メンタル系疾患の受診者割合については、全年齢の被保険者を対象としています。なお、特定健診データは309万1,978人（453組合）、レセプトデータは1,621万403人（1,310組合）をもとに集計を行っていますが、調査項目ごとに対象者数が異なるため、該当頁に対象者数を記載しています。

特定健診データ（令和5年度）

組合数	区分		人数（人）
453組合	被保険者	合計	3,091,978
		男性	2,171,188
		女性	920,790

※回答データが無い業態については集計から除外する。

レセプトデータ（令和5年度）

組合数	区分		レセプト種別	加入者数（人）	レセプト件数（件）
1,310組合	被保険者	合計	入院外	16,210,403	98,798,097
		男性		10,445,546	58,747,516
		女性		5,764,949	40,050,581

※加入者数は、「合計」及び「男性」・「女性」の各加入者数を年間平均により算出しているため、「男性」・「女性」の合計が加入者「合計」とは一致しない。

年齢調整指数レーダーチャート（p.65～）について

各業態の年齢構成には相違があり、調査項目によって割合に影響が生じる場合があります。この影響を取り除くため、第四部では年齢調整指数レーダーチャートを掲載しています。

年齢調整指数（比較調整指数）は、全業態（組合計）と当該業態の年齢構成の相違を間接法により調整し、該当者割合を比較して指数化したものです。特定健診の検査項目は評価対象者、問診回答は回答者を母数として年齢調整を行っています。

この指数が1.00より大きい場合は当該業態の割合が全体と比べて高く、1.00より小さい場合は当該業態の割合が全体と比べて低いことを示しています。

目次

第一部【生活習慣】

1. 朝食を抜くことが週に3回以上ある者の割合	5
2. 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある者の割合	8
3. 朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取している者の割合	11
4. 飲酒日の1日当たりの飲酒量（3合以上）の割合	14
5. 現在、たばこを習慣的に吸っている者の割合	17
6. 20歳の時の体重から10kg以上増加している者の割合	20
7. 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している者の割合	23
8. 睡眠で休養が十分とれている者の割合	26

第二部【健康状態】

9. 肥満該当者の割合	29
10. 健診検査値基準範囲内の該当者の割合	32
11. 血圧：受診勧奨及び保健指導判定値の該当者の割合	35
12. 脂質：受診勧奨及び保健指導判定値の該当者の割合	38
13. 血糖：受診勧奨及び保健指導判定値の該当者の割合	41
14. 肝機能：受診勧奨及び保健指導判定値の該当者の割合	44
15. メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	47

第三部【医療受診状況】

16. 血圧を下げる薬を使用している者の割合	50
17. コレステロールを下げる薬を使用している者の割合	53
18. インスリン注射または血糖を下げる薬を使用している者の割合	56
19. 気分（感情）障害（躁うつ病を含む）の入院外の受診者割合（年間平均）	59
20. 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害の入院外の受診者割合（年間平均）	62

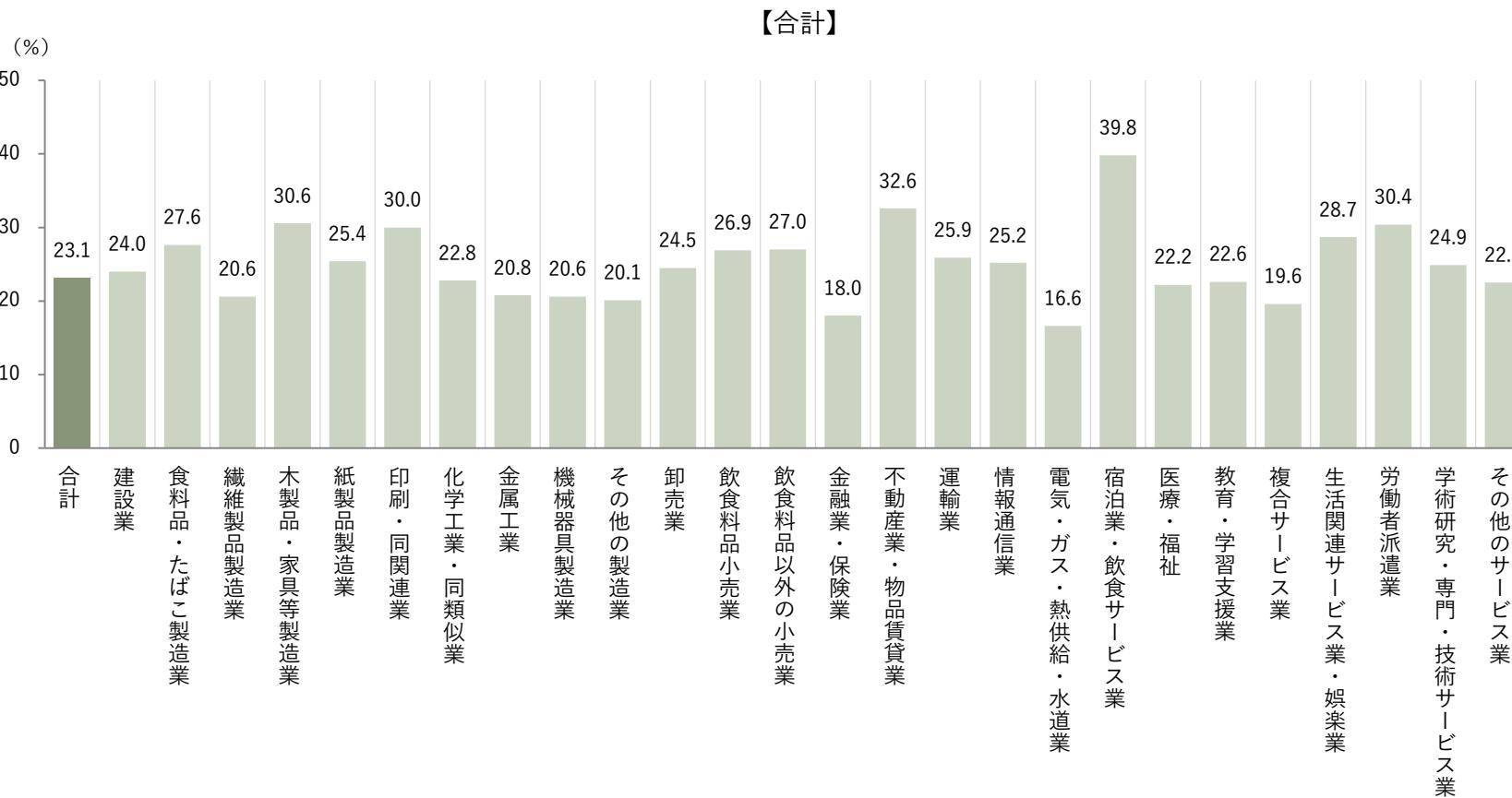
第四部【健診検査値及び問診回答・業態別年齢調整指標レーダーチャート】

【建設業】	65
【食料品・たばこ製造業】	66
【繊維製品製造業】	67
【木製品・家具等製造業】	68
【紙製品製造業】	69
【印刷・同関連業】	70
【化学工業・同類似業】	71
【金属工業】	72
【機械器具製造業】	73
【その他の製造業】	74
【卸売業】	75
【飲食料品小売業】	76
【飲食料品以外の小売業】	77
【金融業・保険業】	78
【不動産業・物品賃貸業】	79
【運輸業】	80
【情報通信業】	81
【電気・ガス・熱供給・水道業】	82
【宿泊業・飲食サービス業】	83
【医療・福祉】	84
【教育・学習支援業】	85
【複合サービス業】	86
【生活関連サービス業・娯楽業】	87
【労働者派遣業】	88
【学術研究・専門・技術サービス業】	89
【その他のサービス業】	90
資料編	91

第一部【生活習慣】

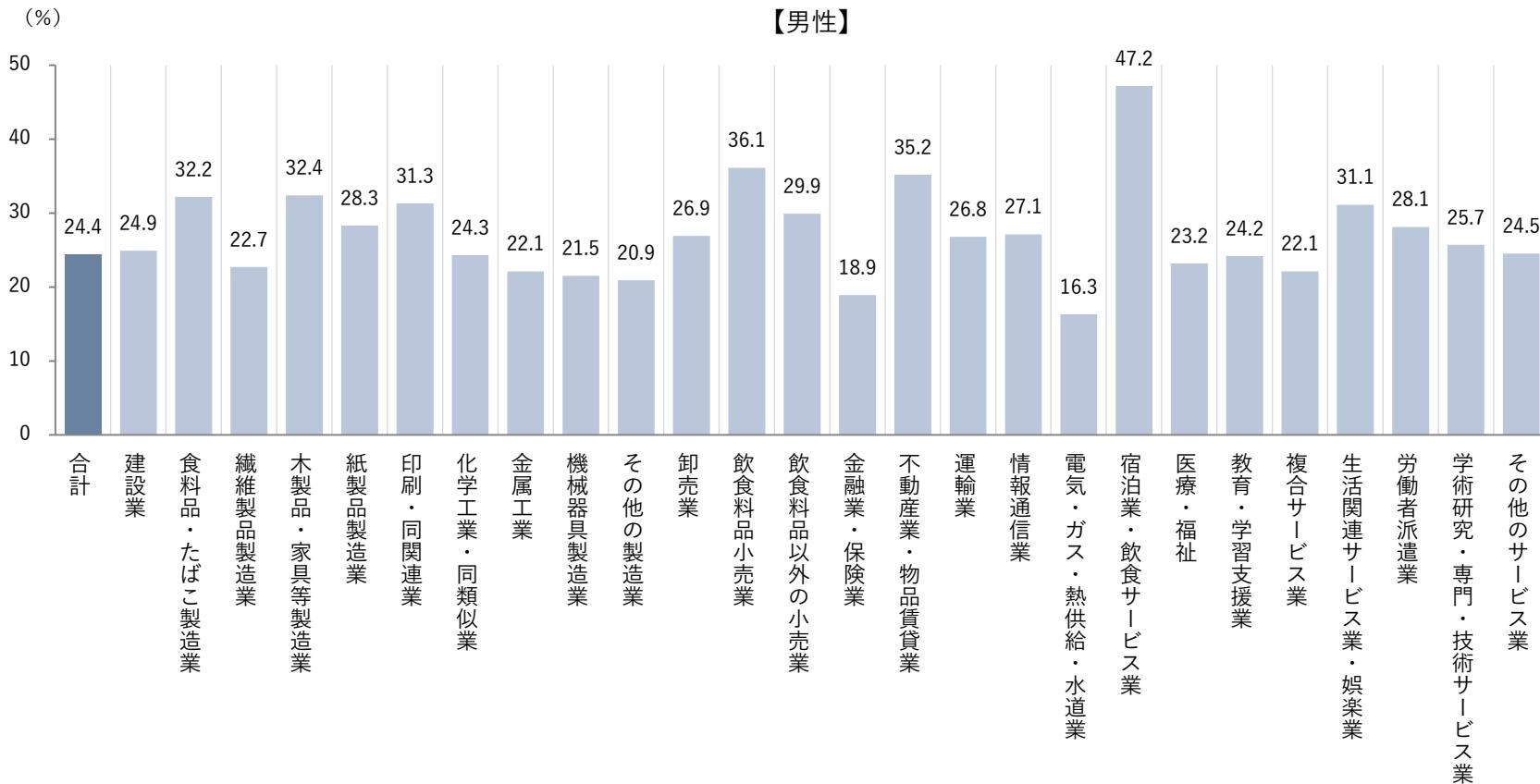
1. 朝食を抜くことが週に3回以上ある者の割合※1

- 「朝食を抜くことが週に3回以上ある」者の割合をみると、合計：23.1%に対して、高い割合を示しているのは、①宿泊業・飲食サービス業：39.8%、②不動産業・物品賃貸業：32.6%、③木製品・家具等製造業：30.6%となっている。一方で、低い割合を示しているのは、①電気・ガス・熱供給・水道業：16.6%、②金融業・保険業：18.0%、③複合サービス業：19.6%となっている。

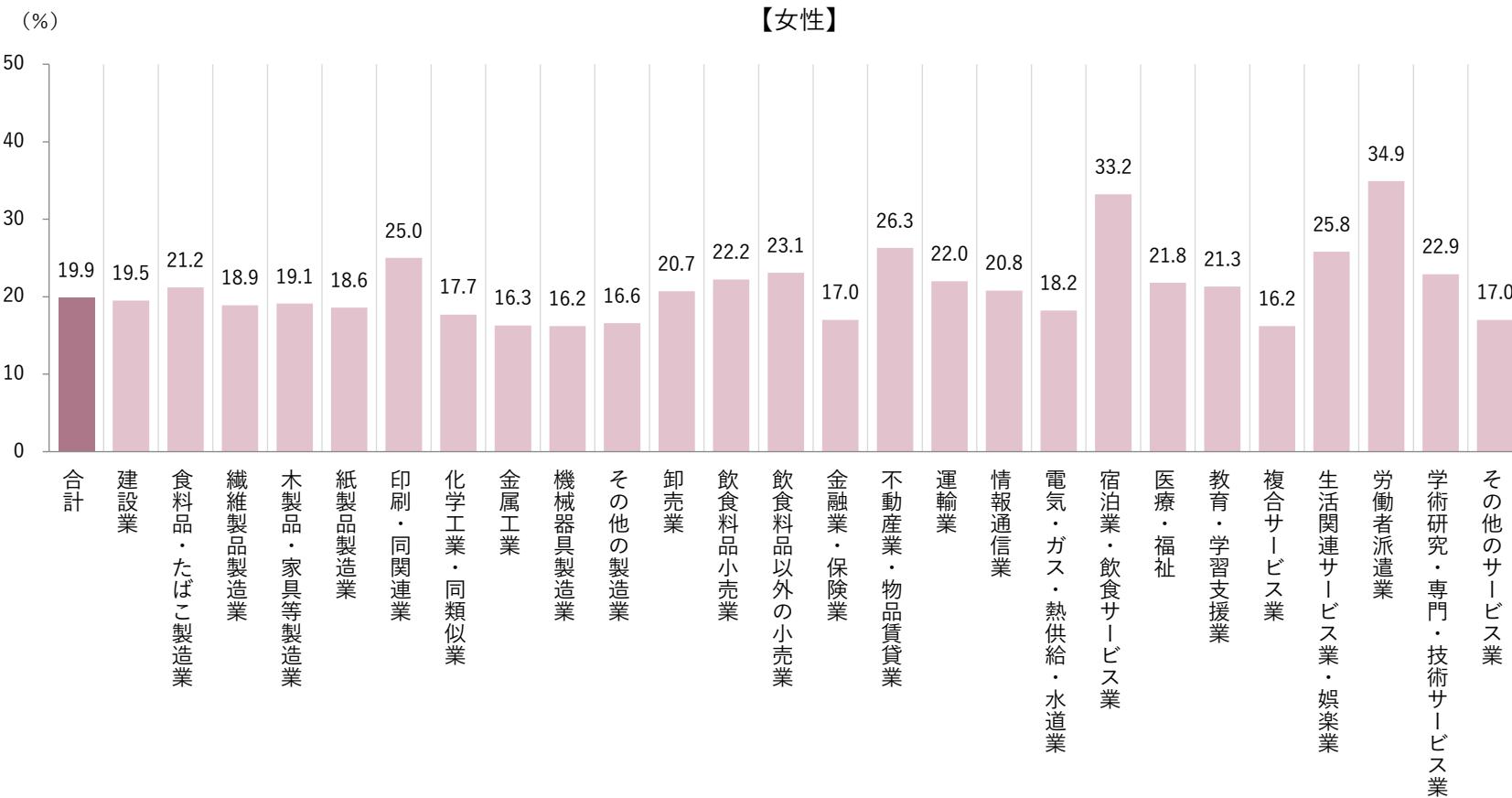


※1対象者数：297万2,002人（男性：209万5,737人、女性：87万6,265人）。未回答者を除く。なお、業態に該当する組合が存在しない「鉱石、採石業、砂利採取業」及び該当データの無い業態は含まれない。

○ 男性では合計：24.4%に対して、高い割合を示しているのは、①宿泊業・飲食サービス業：47.2%、②飲食料品小売業：36.1%、③不動産業・物品賃貸業：35.2%となっている。

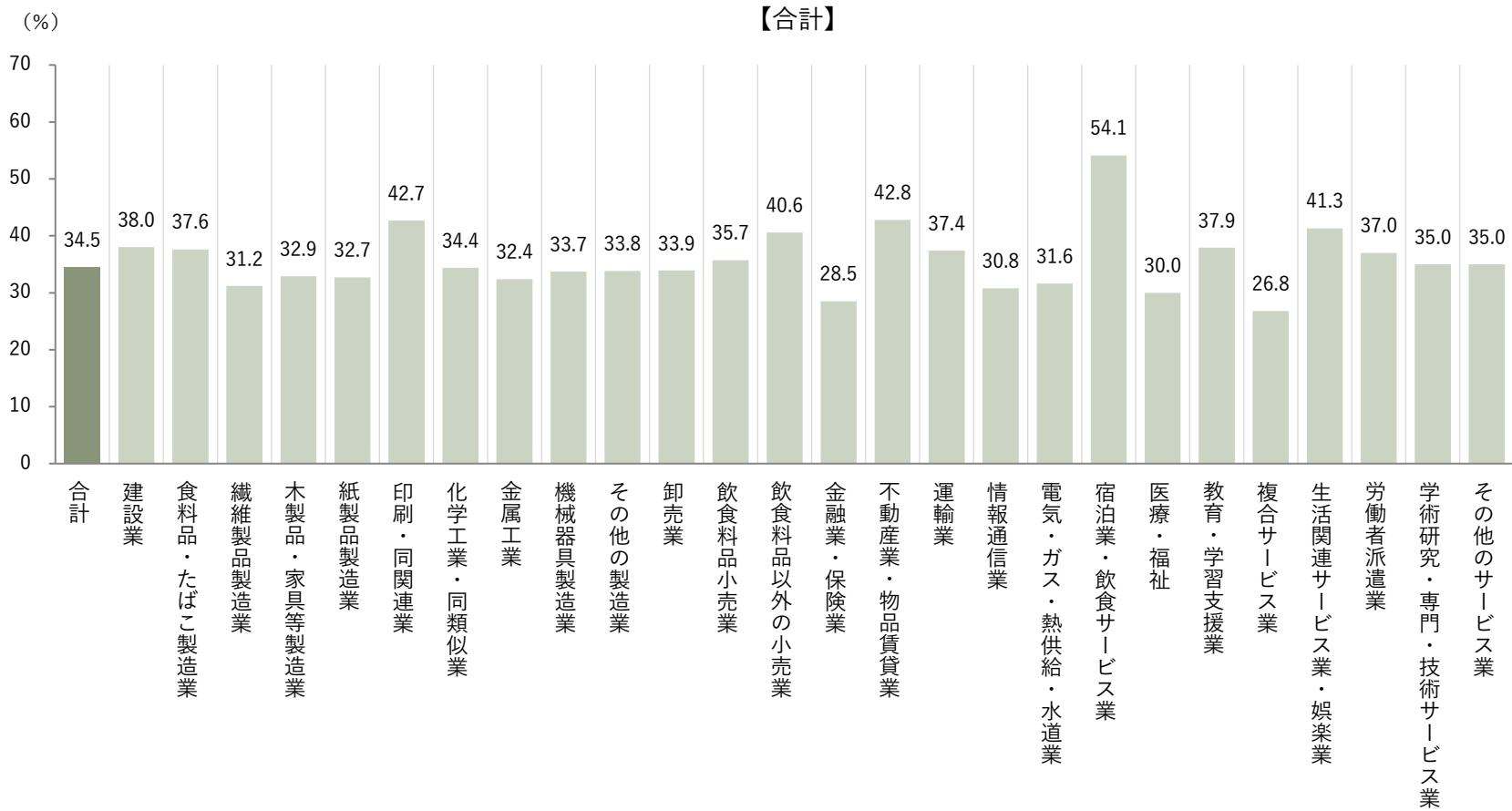


○ 女性では合計：20.0%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：34.9%、②宿泊業・飲食サービス業：33.2%、③不動産業・物品販賣業：26.3%となっている。



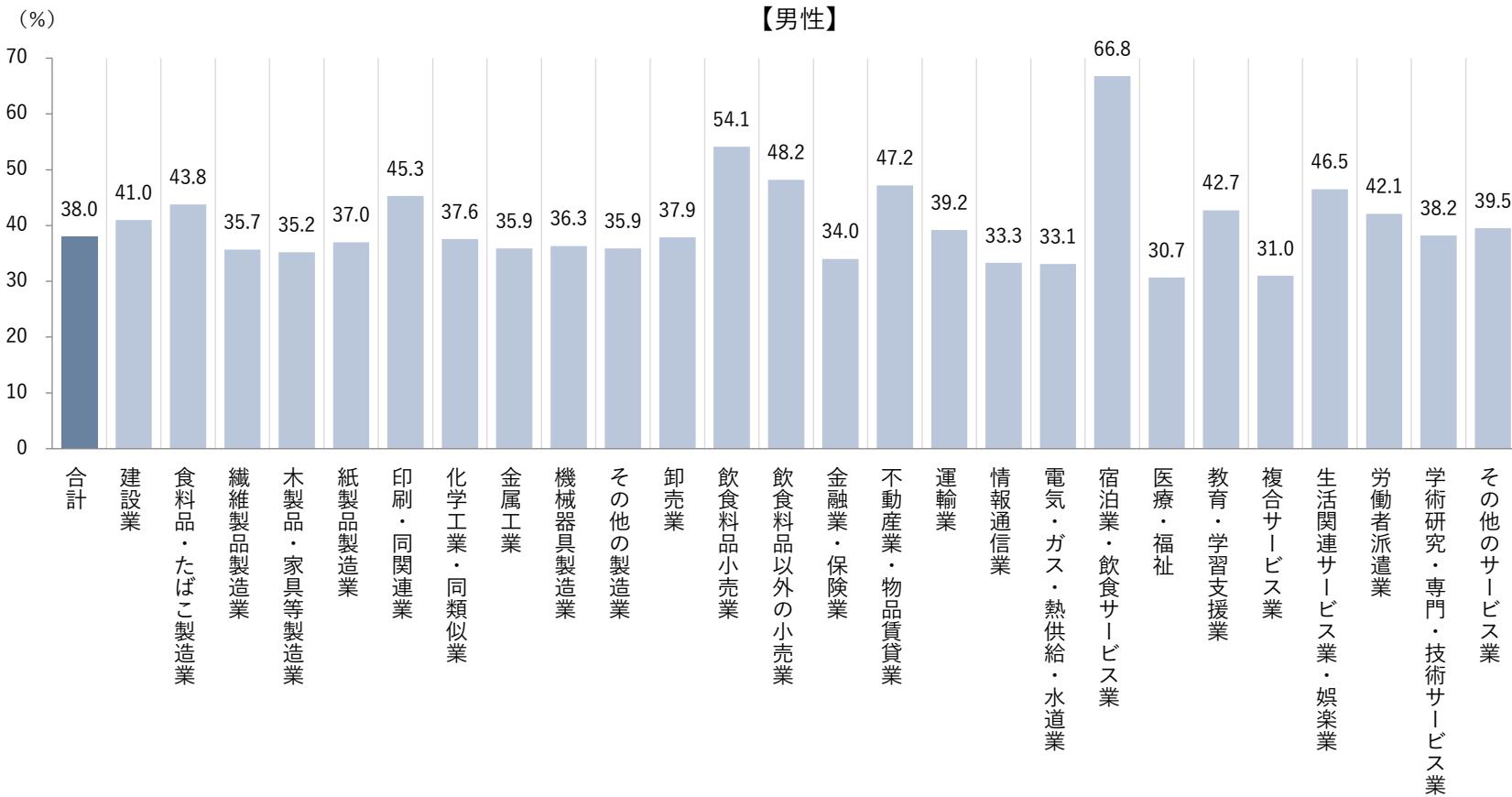
2. 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある者の割合※2

- 「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある」者の割合をみると、合計：34.5%に対して、高い割合を示しているのは、①宿泊業・飲食サービス業：54.1%、②不動産業・物品貯蔵業：42.8%、③印刷・同関連業：42.7%となっている。一方で、低い割合を示しているのは、①複合サービス業：26.8%、②金融業・保険業：28.5%、③医療・福祉：30.0%となっている。

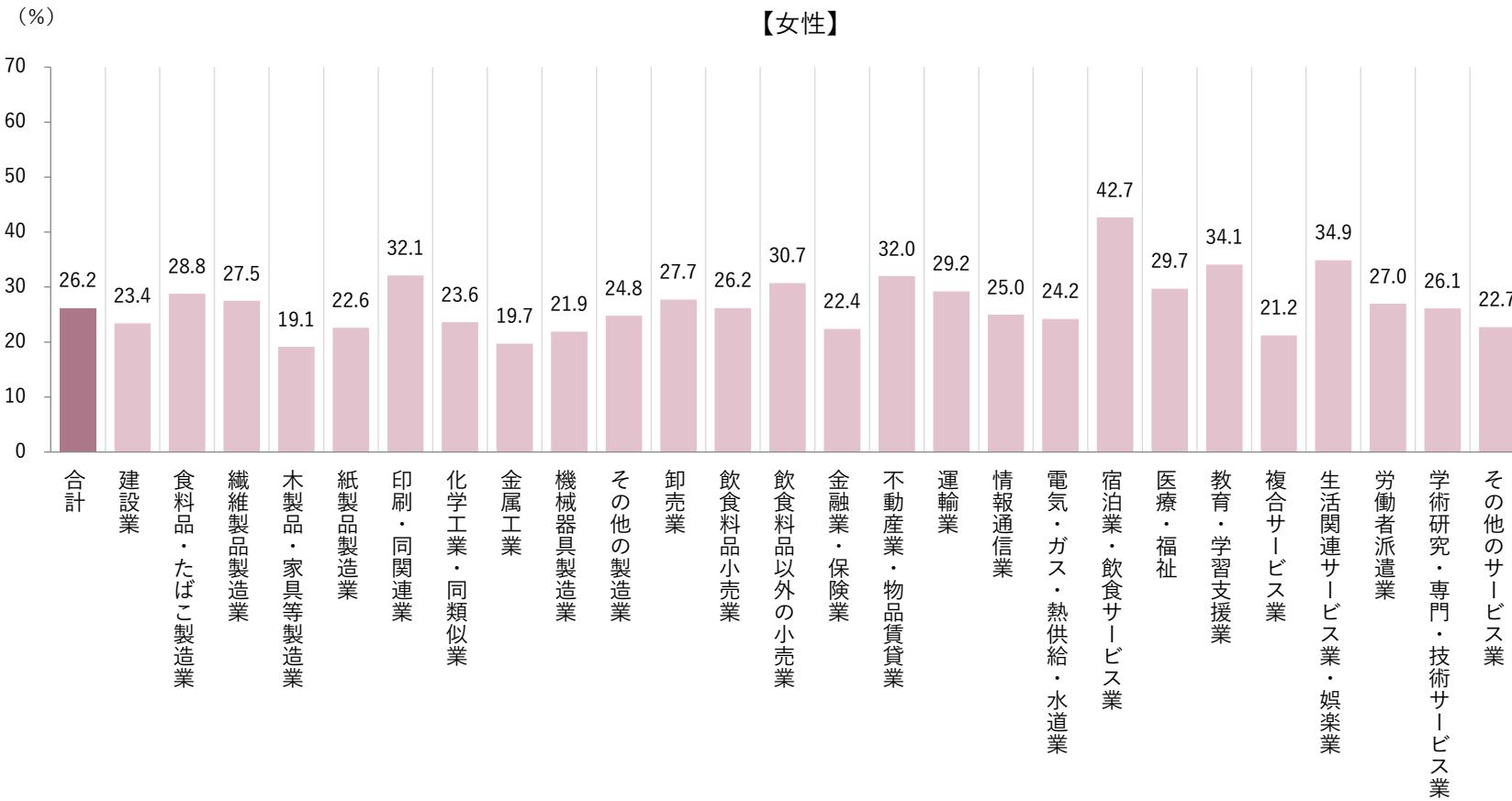


※2対象者数：299万5,868人（男性：210万9,662人、女性：88万6,206人）。未回答者を除く。なお、業態に該当する組合が存在しない「鉱石、採石業、砂利採取業」及び該当データの無い業態は含まれない。

○ 男性では合計：38.0%に対して、高い割合を示しているのは、①宿泊業・飲食サービス業：66.8%、②飲食料品小売業：54.1%、③飲食料品以外の小売業：48.2%となっている。

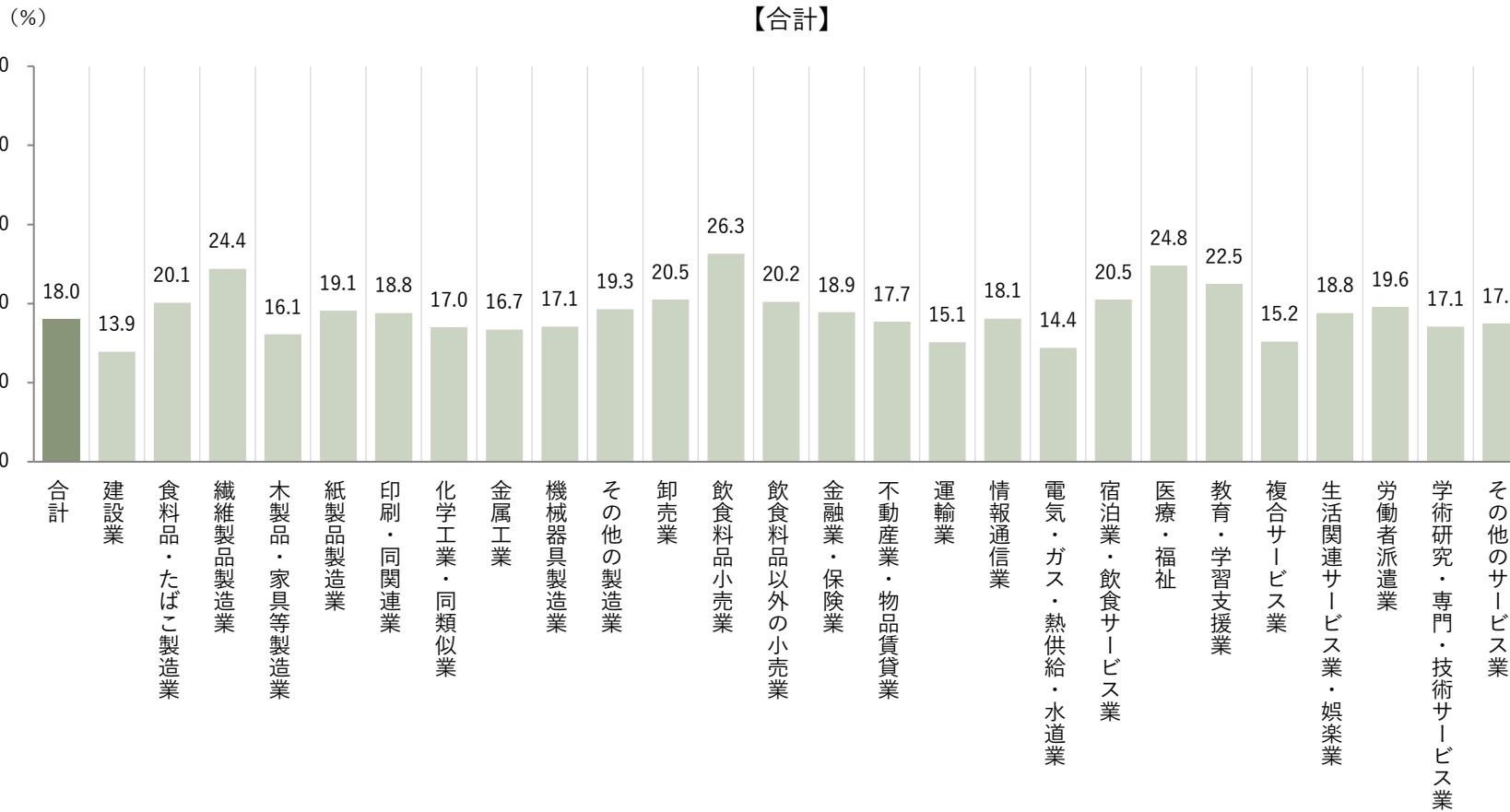


○ 女性では合計：26.2%に対して、高い割合を示しているのは、①宿泊業・飲食サービス業：42.7%、②生活関連サービス業・娯楽業：34.9%、③教育・学習支援業：34.1%となっている。



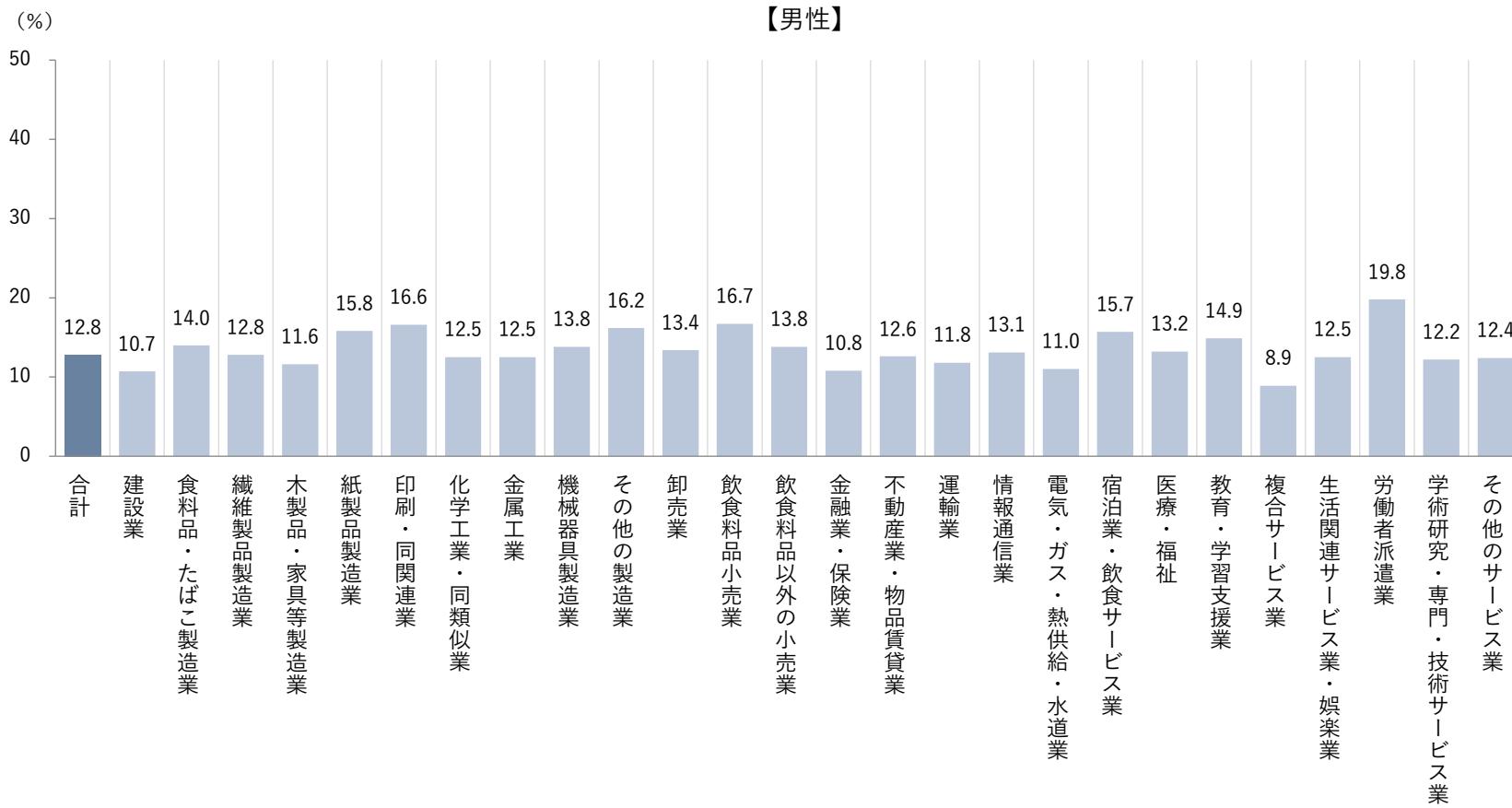
3. 朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取している者の割合※3

- 「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取している」者の割合をみると、合計：18.0%に対して、高い割合を示しているのは、①飲食料品小売業：26.3%、②医療・福祉：24.8%、③繊維製品製造業：24.4%となっている。一方で、低い割合を示しているのは、①建設業：13.9%、②電気・ガス・熱供給・水道業：14.4%、③運輸業：15.1%となっている。

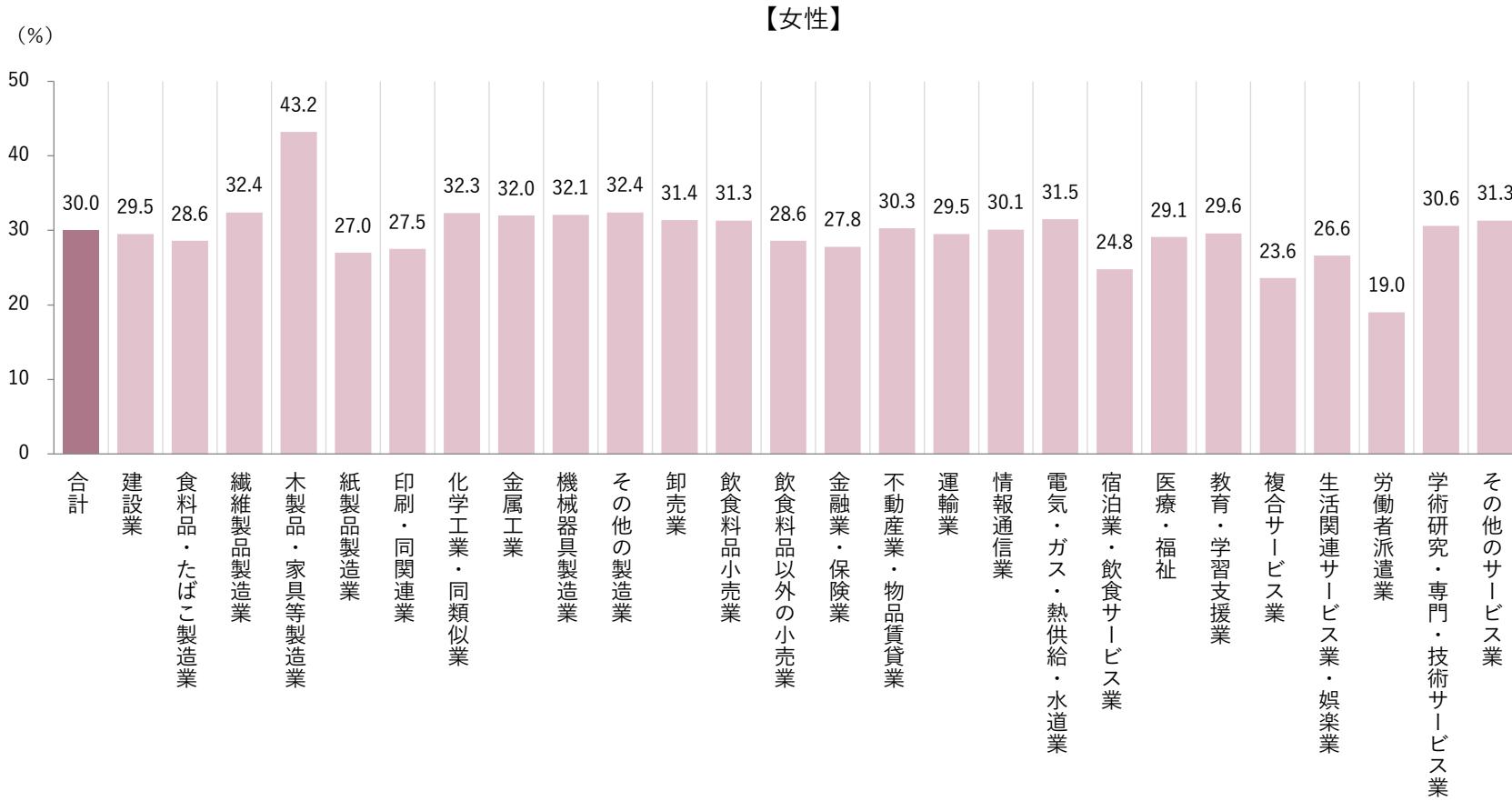


※3対象者数：283万8,901人（男性：198万5,460人、女性：85万3,441人）。未回答者を除く。なお、業態に該当する組合が存在しない「鉱石、採石業、砂利採取業」及び該当データの無い業態は含まれない。

○ 男性では合計：12.8%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：19.8%、②飲食料品小売業：16.7%、③印刷・同関連業：16.6%となっている。

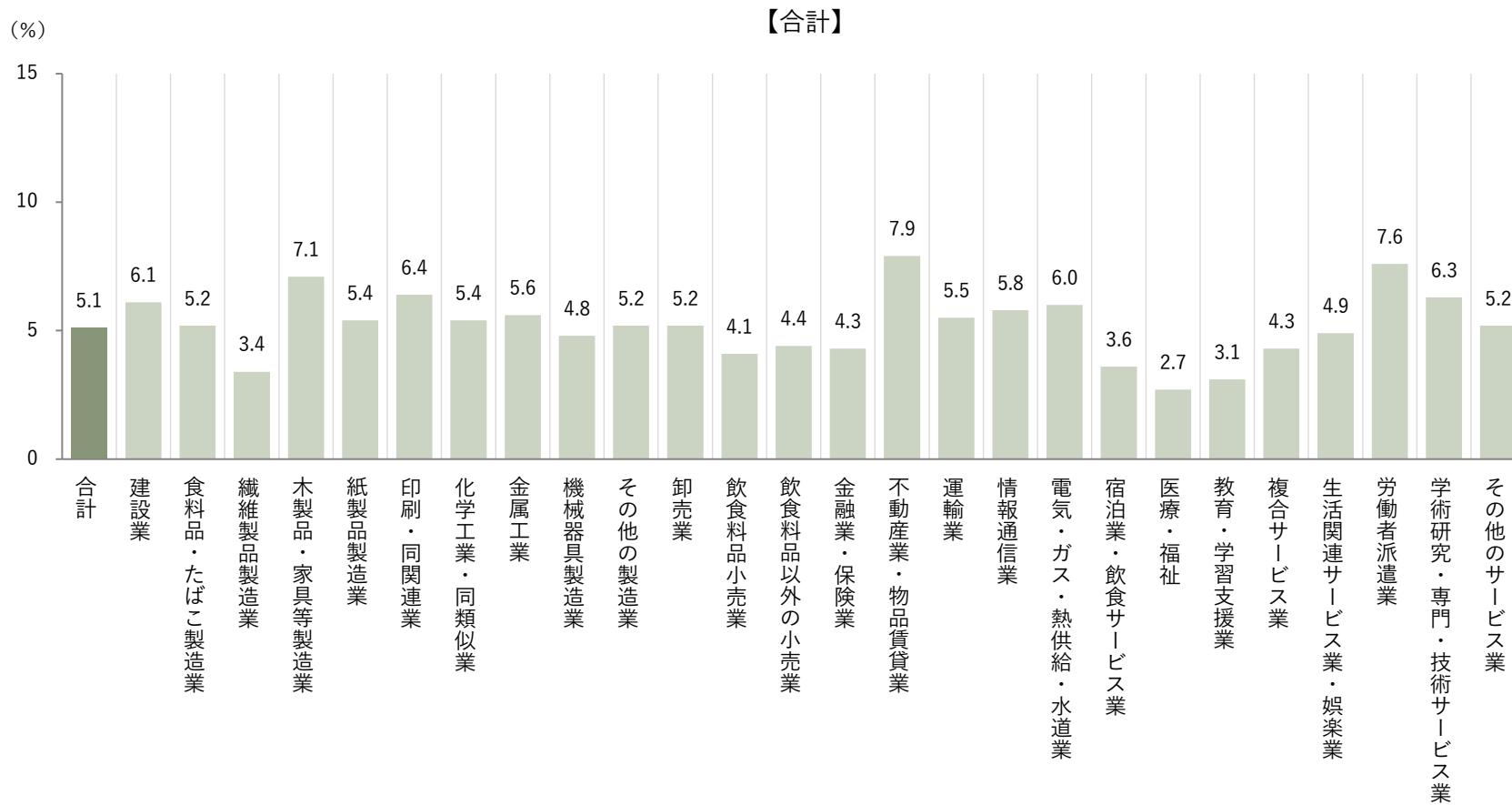


○ 女性では合計：30.0%に対して、高い割合を示しているのは、①木製品・家具等製造業：43.2%、②繊維製品製造業、その他の製造業：32.4%、③化学工業・同類似業：32.3%となっている。



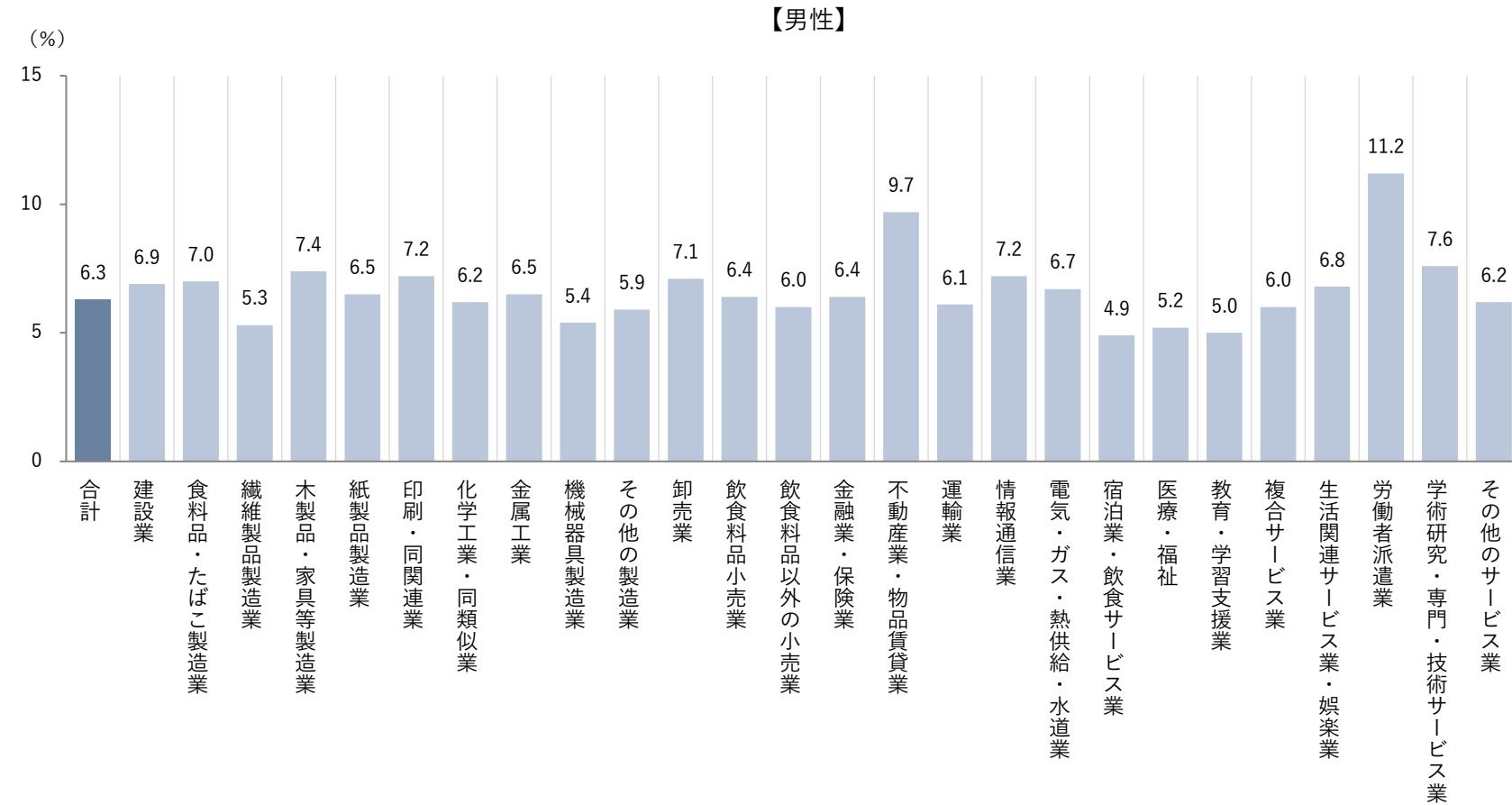
4. 飲酒日の1日当たりの飲酒量（3合以上）の割合 ※4

- 「飲酒日の1日当たりの飲酒量（3合以上）」の割合をみると、合計：5.1%に対して、高い割合を示しているのは、①不動産業・物品賃貸業：7.9%、②労働者派遣業：7.6%、③木製品・家具等製造業：7.1%となっている。一方で、低い割合を示しているのは、①医療・福祉：2.7%、②教育・学習支援業：3.1%、③繊維製品製造業：3.4%となっている。

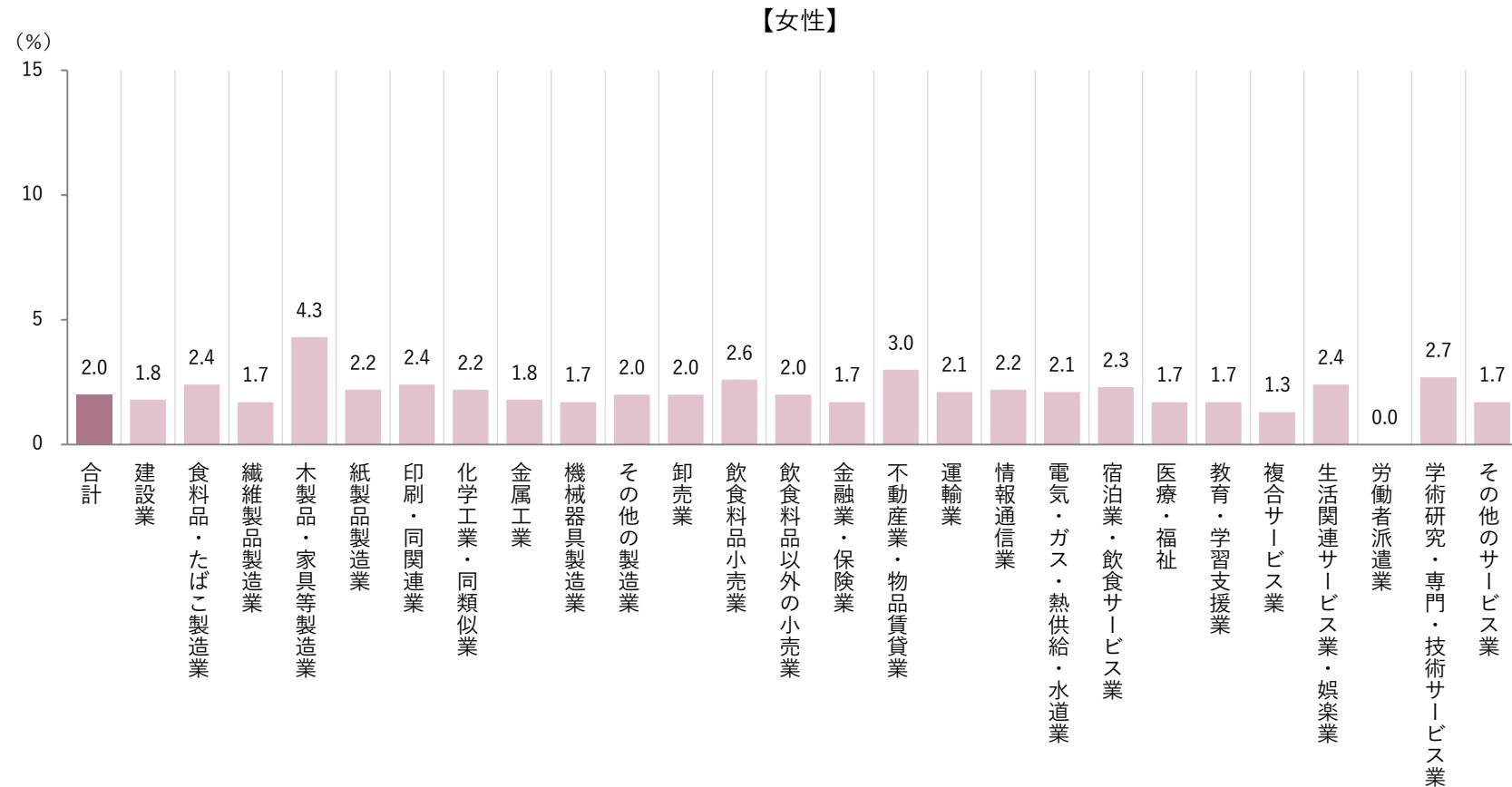


※4対象者数：245万5,263人（男性：178万5,457人、女性：66万9,806人）。未回答者を除く。なお、業態に該当する組合が存在しない「鉱石、採石業、砂利採取業」及び該当データの無い業態は含まれない。

○ 男性では合計：6.3%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：11.2%、②不動産業・物品賃貸業：9.7%、③学術研究・専門・技術サービス業：7.6%となっている。

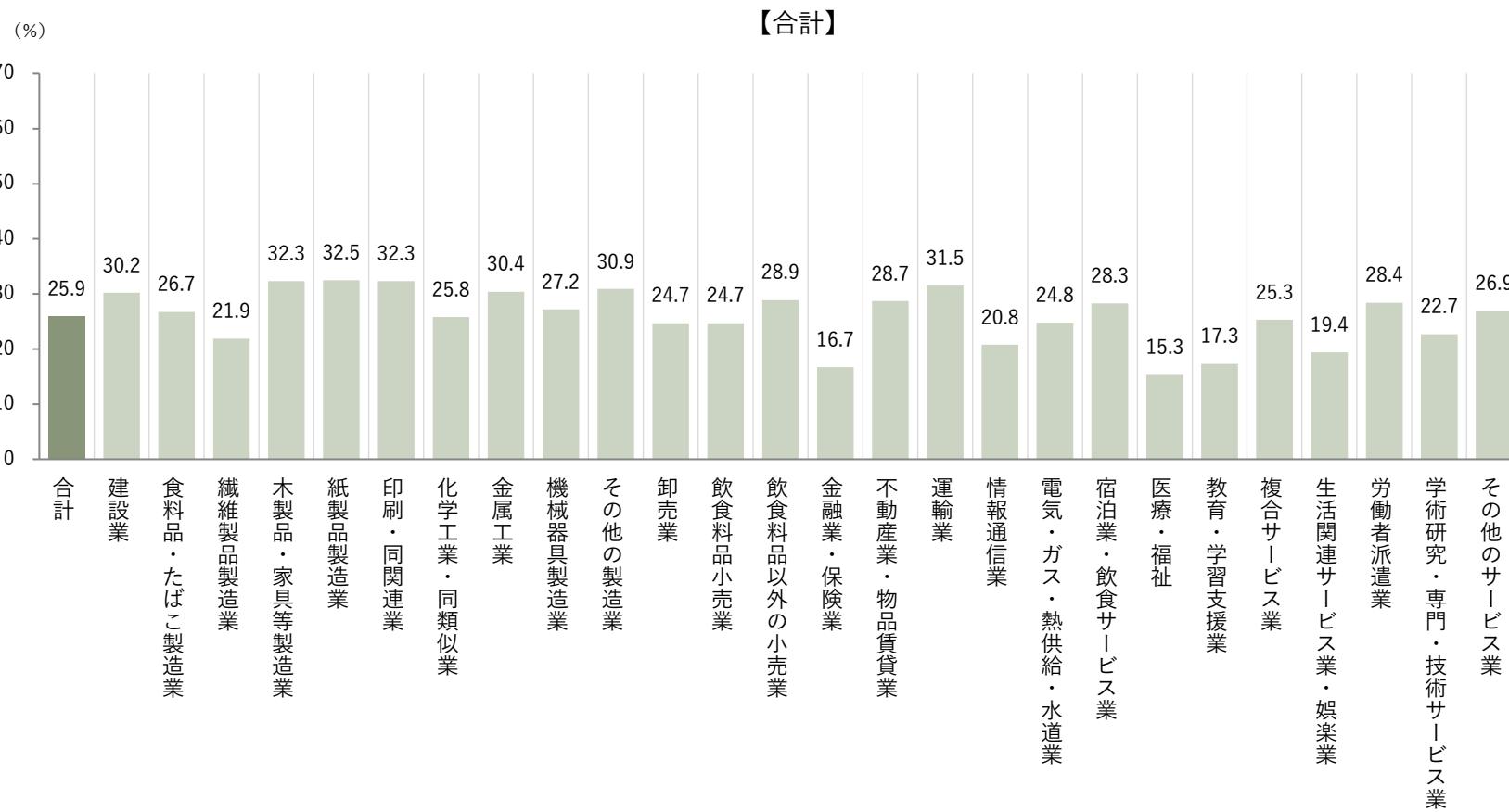


○ 女性では合計：2.0%に対して、高い割合を示しているのは、①木製品・家具等製造業：4.3%、②不動産業・物品賃貸業：3.0%、③学術研究・専門・技術サービス業：2.7%となっている。



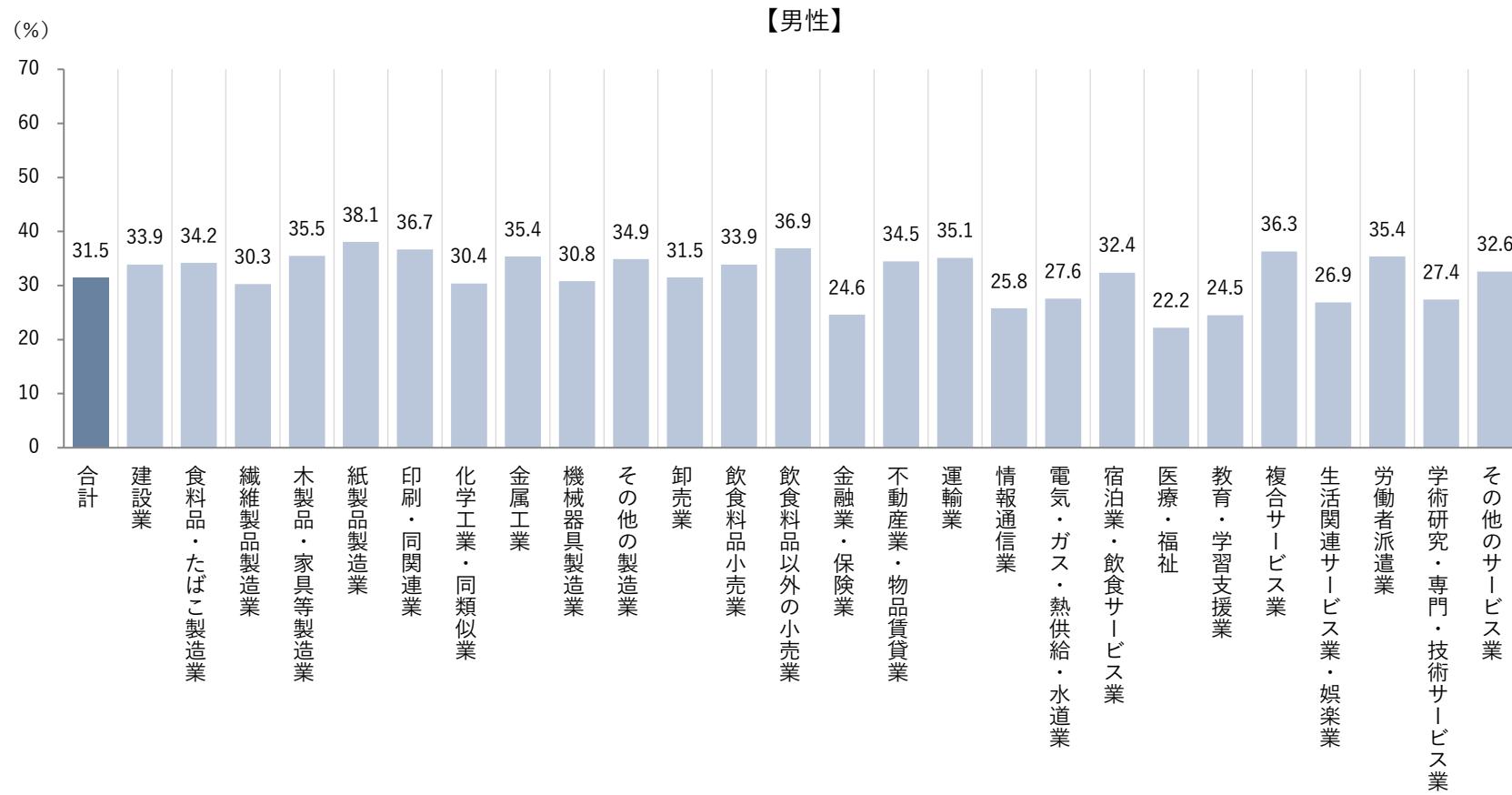
5. 現在、たばこを習慣的に吸っている者の割合※5

- 「現在、たばこを習慣的に吸っている」者の割合をみると、合計：25.9%に対して、高い割合を示しているのは、①紙製品製造業：32.5%、②木製品・家具等製造業、印刷・同関連業：32.3%、③運輸業：31.5%となっている。一方で、低い割合を示しているのは、①医療・福祉：15.3%、②金融業・保険業：16.7%、③教育・学習支援業：17.3%となっている。

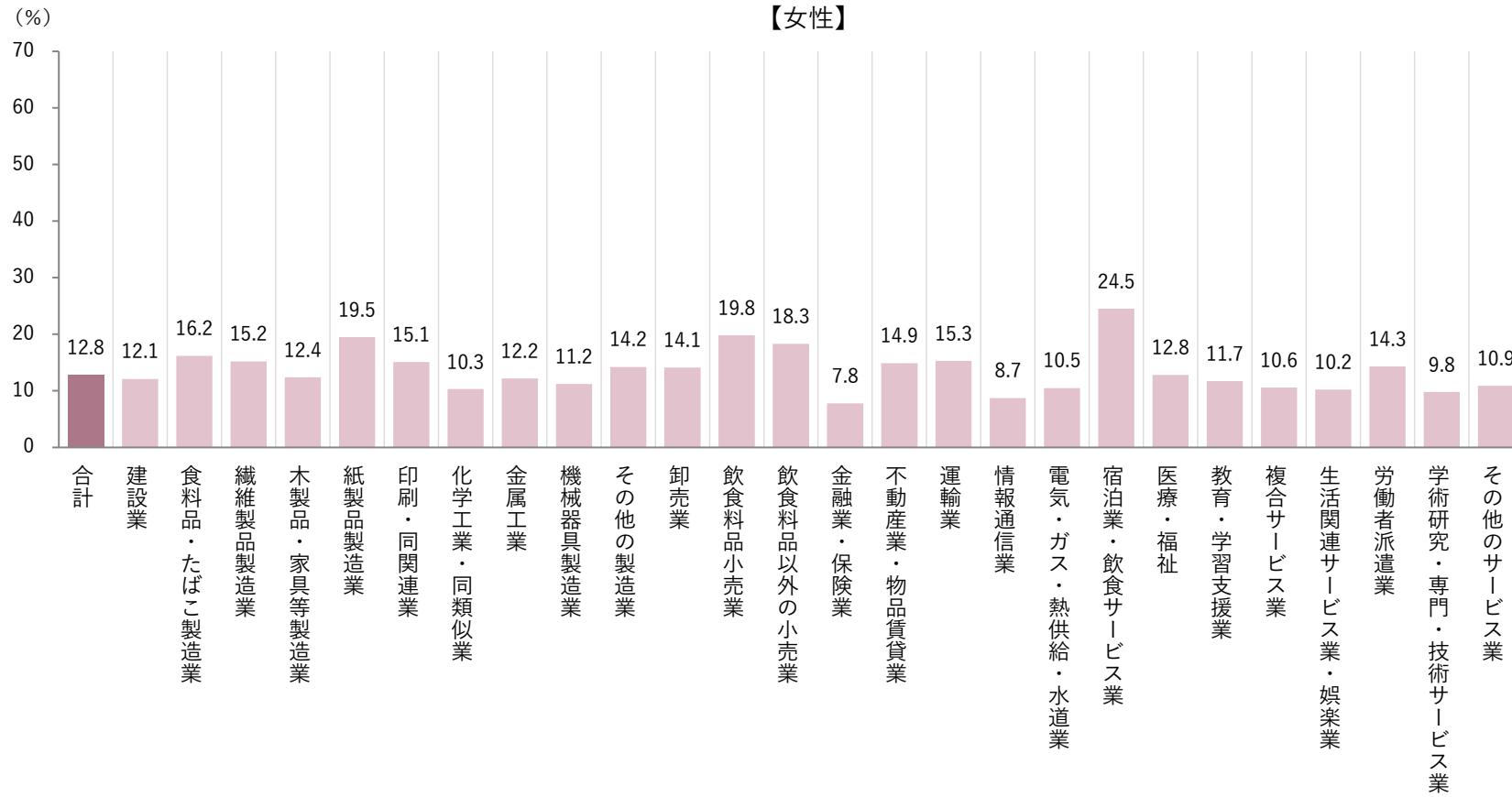


※5対象者数：308万8,866人（男性：216万8,788人、女性：92万78人）。未回答者を除く。なお、業態に該当する組合が存在しない「鉱石、採石業、砂利採取業」及び該当データの無い業態は含まれない。

○ 男性では合計：31.5%に対して、高い割合を示しているのは、①紙製品製造業：38.1%、②飲食料品以外の小売業：36.9%、③印刷・同関連業：36.7%となっている。

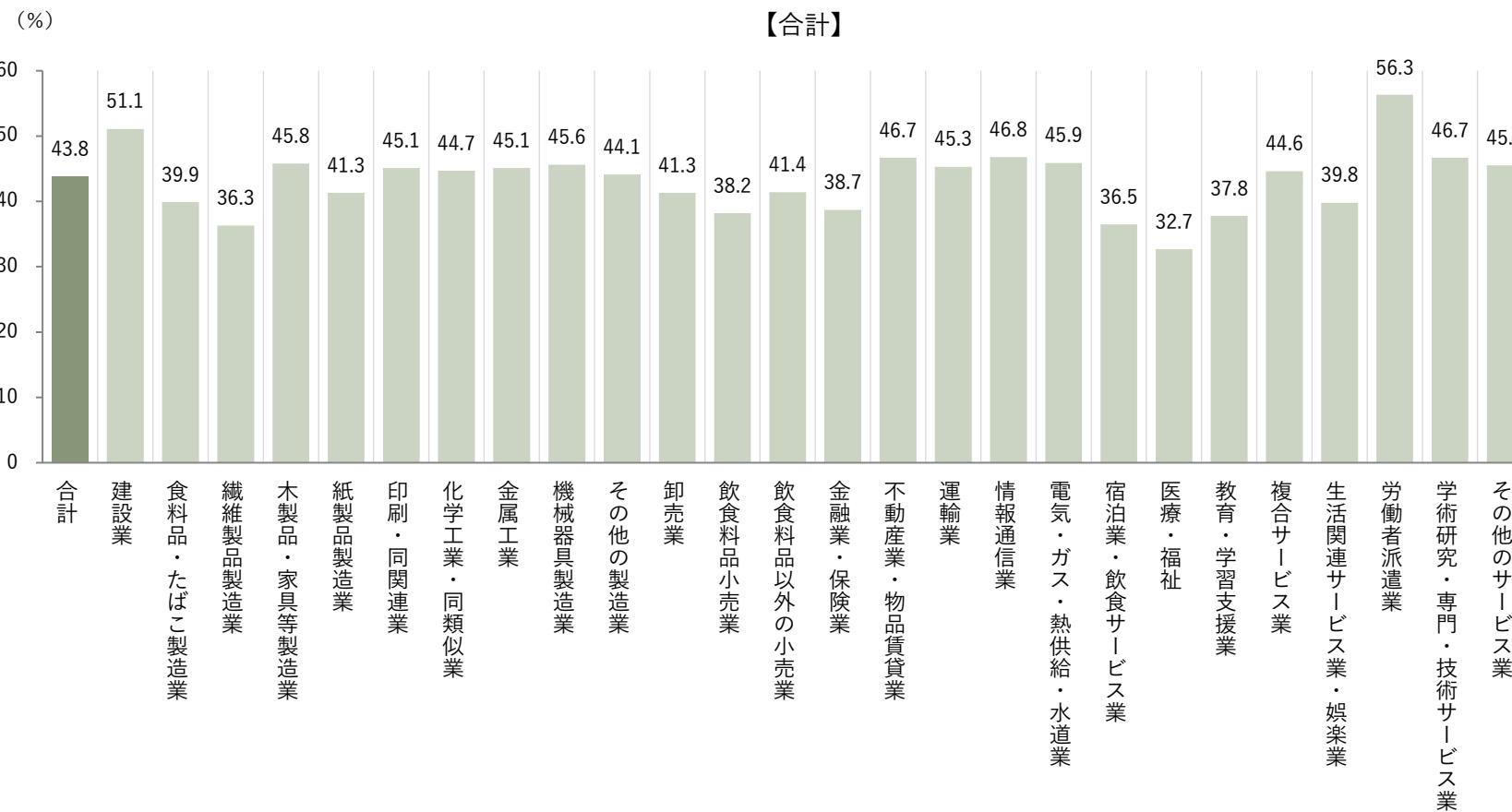


○ 女性では合計：12.8%に対して、高い割合を示しているのは、①宿泊業・飲食サービス業：24.5%、②飲食料品小売業：19.8%、③紙製品製造業：19.5%となっている。



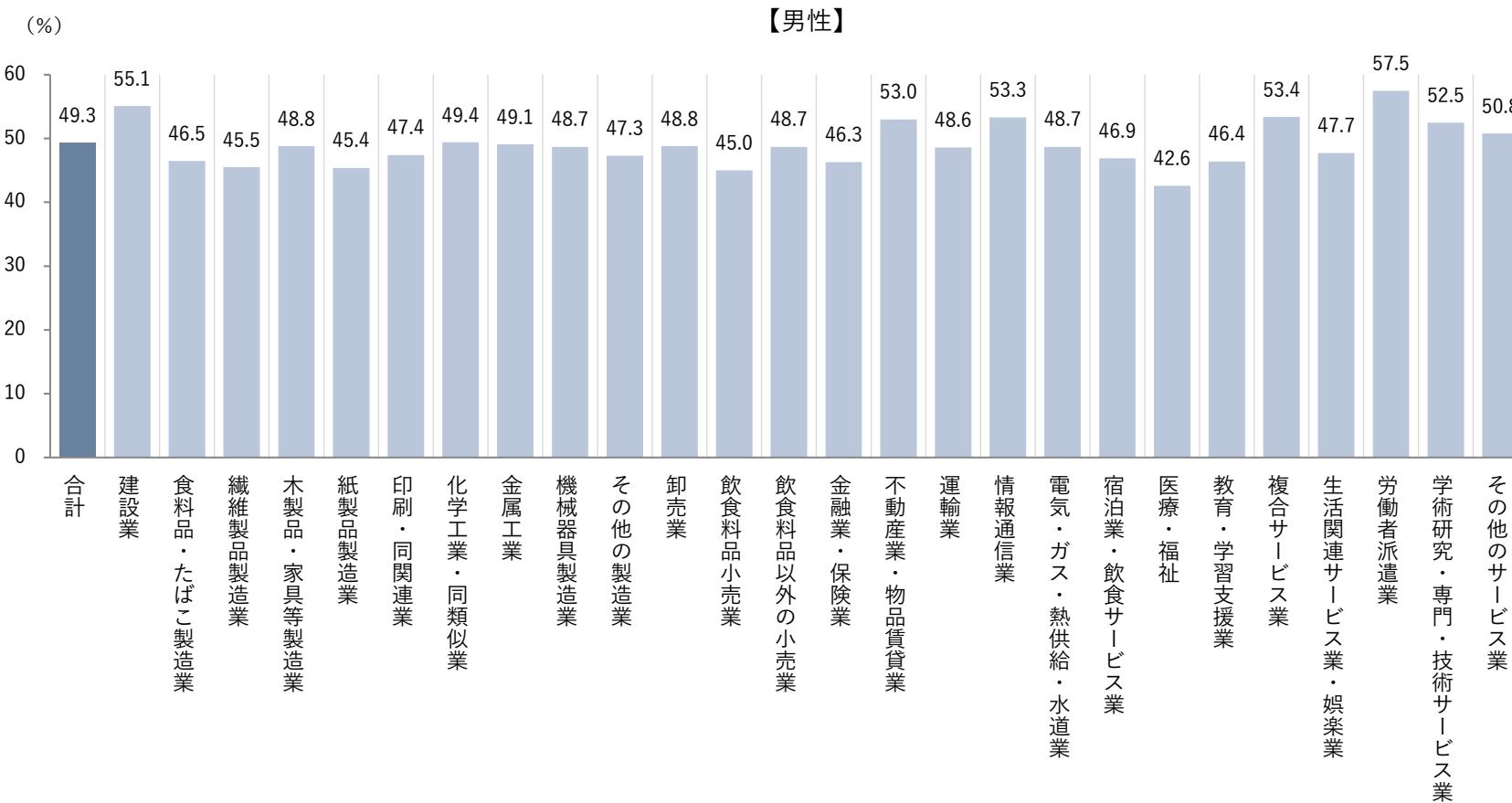
6. 20歳の時の体重から10kg以上増加している者の割合※6

- 「20歳の時の体重から10kg以上増加している」者の割合をみると、合計：43.8%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：56.3%、②建設業：51.1%、③情報通信業：46.8%となっている。一方で、低い割合を示しているのは、①医療・福祉：32.7%、②繊維製品製造業：36.3%、③宿泊業・飲食サービス業：36.5%となっている。

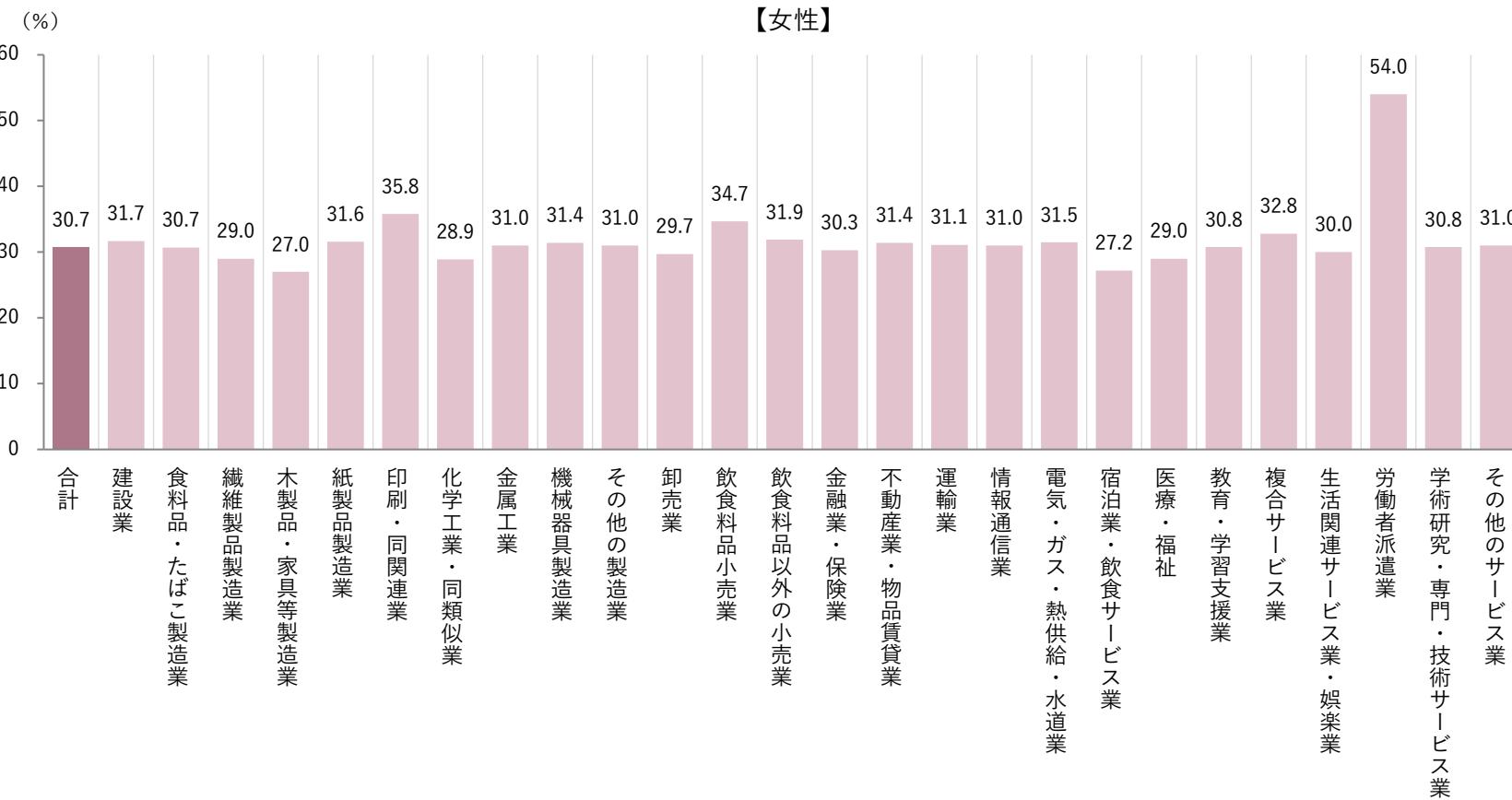


※6対象者数：297万5,015人（男性：209万1,657人、女性：88万3,358人）。未回答者を除く。なお、業態に該当する組合が存在しない「鉱石、採石業、砂利採取業」及び該当データの無い業態は含まれない。

○ 男性では合計：49.3%に対して、高い割合を示しているのは、①労働派遣業：57.5%、②建設業：55.1%、③複合サービス業：53.4%となっている。

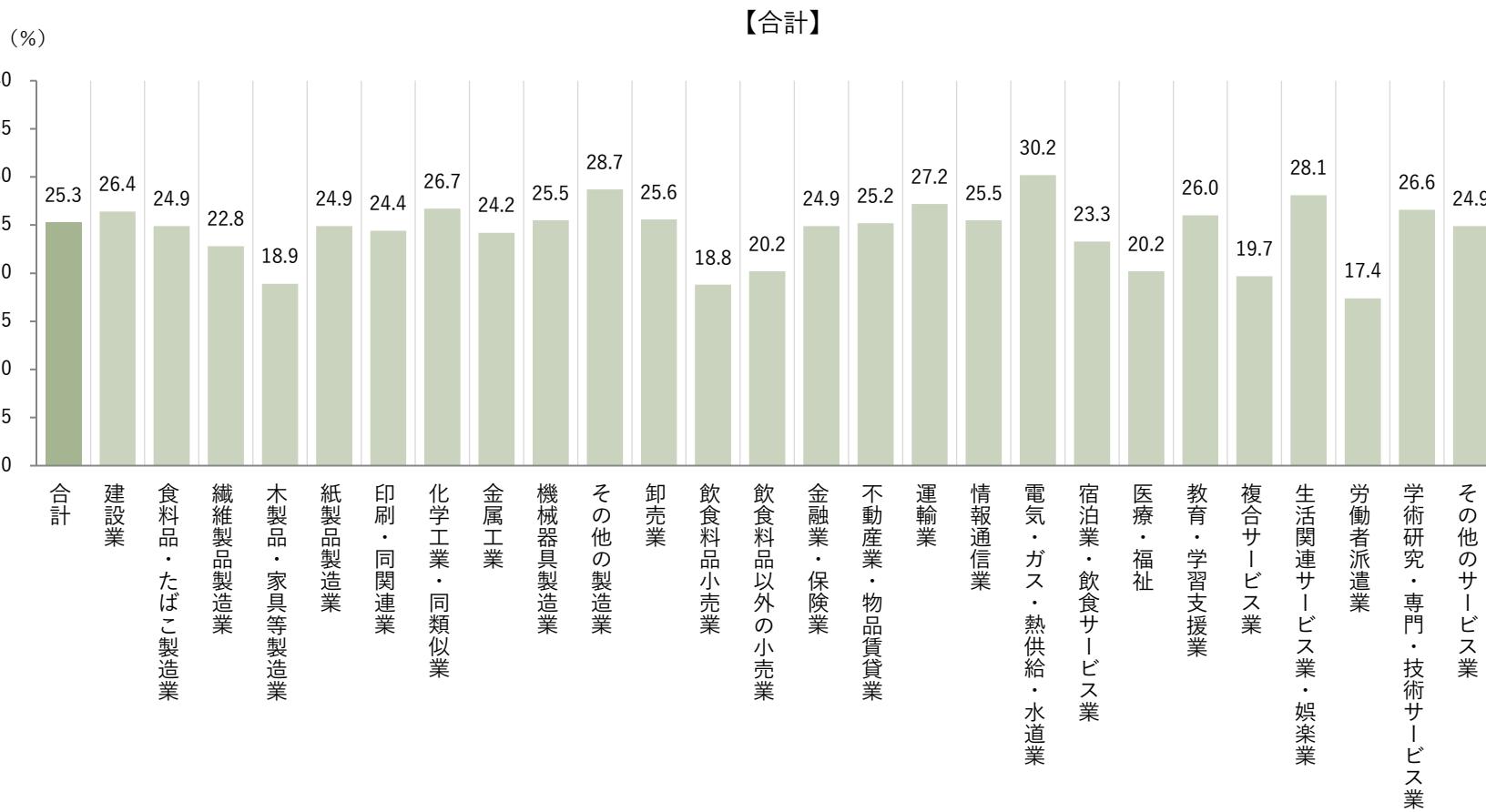


○ 女性では合計：30.7%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：54.0%、②印刷・同関連業：35.8%、③飲食料品小売業：34.7%となっている。



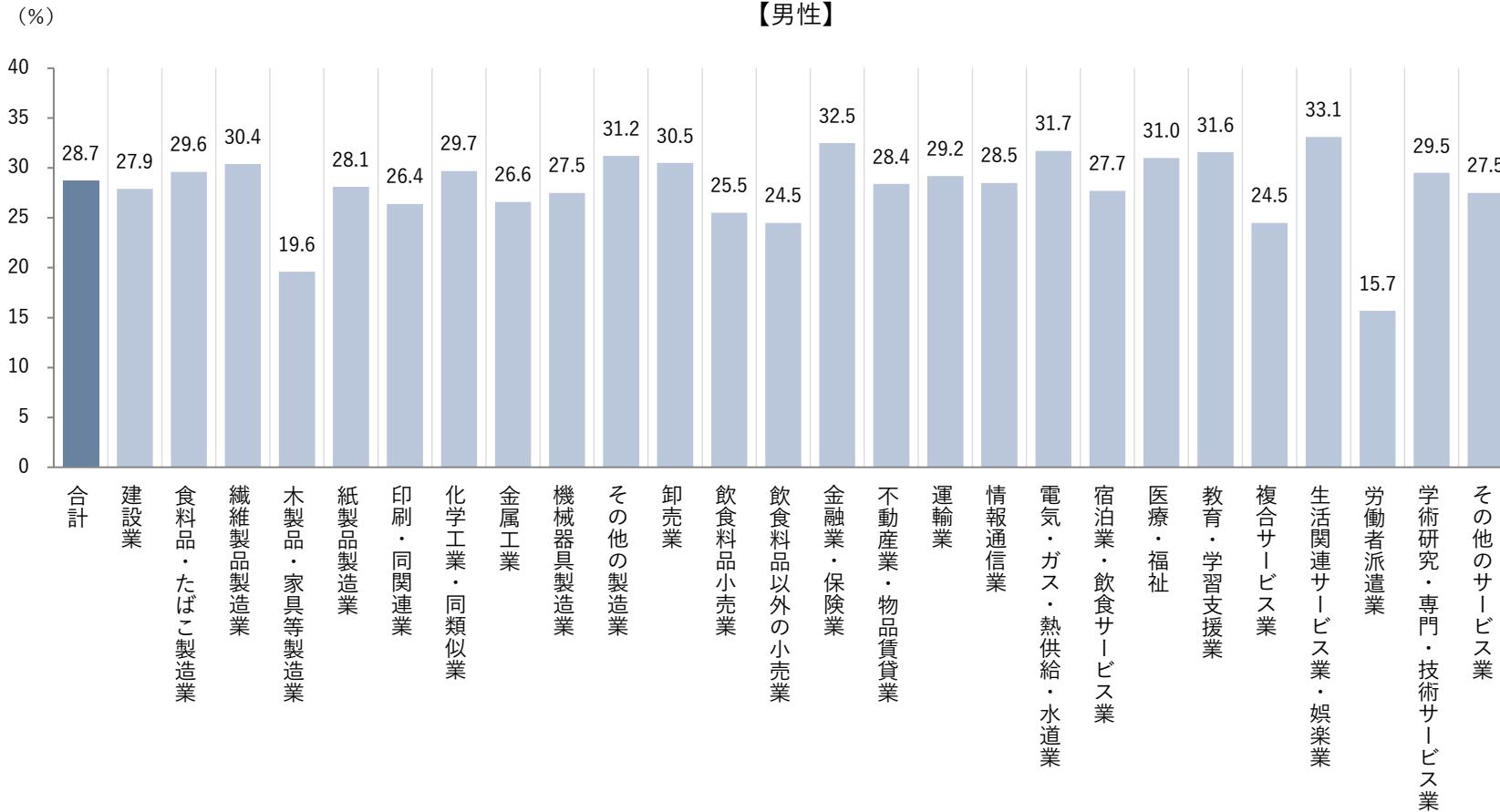
7. 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している者の割合※7

- 「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している」者の割合をみると、合計：25.3%に対して、高い割合を示しているのは、①電気・ガス・熱供給・水道業：30.2%、②その他の製造業：28.7%、③生活関連サービス業・娯楽業：28.1%となっている。一方で、低い割合を示しているのは、①労働者派遣業：17.4%、②飲食料品小売業：18.8%、③木製品・家具等製造業：18.9%となっている。

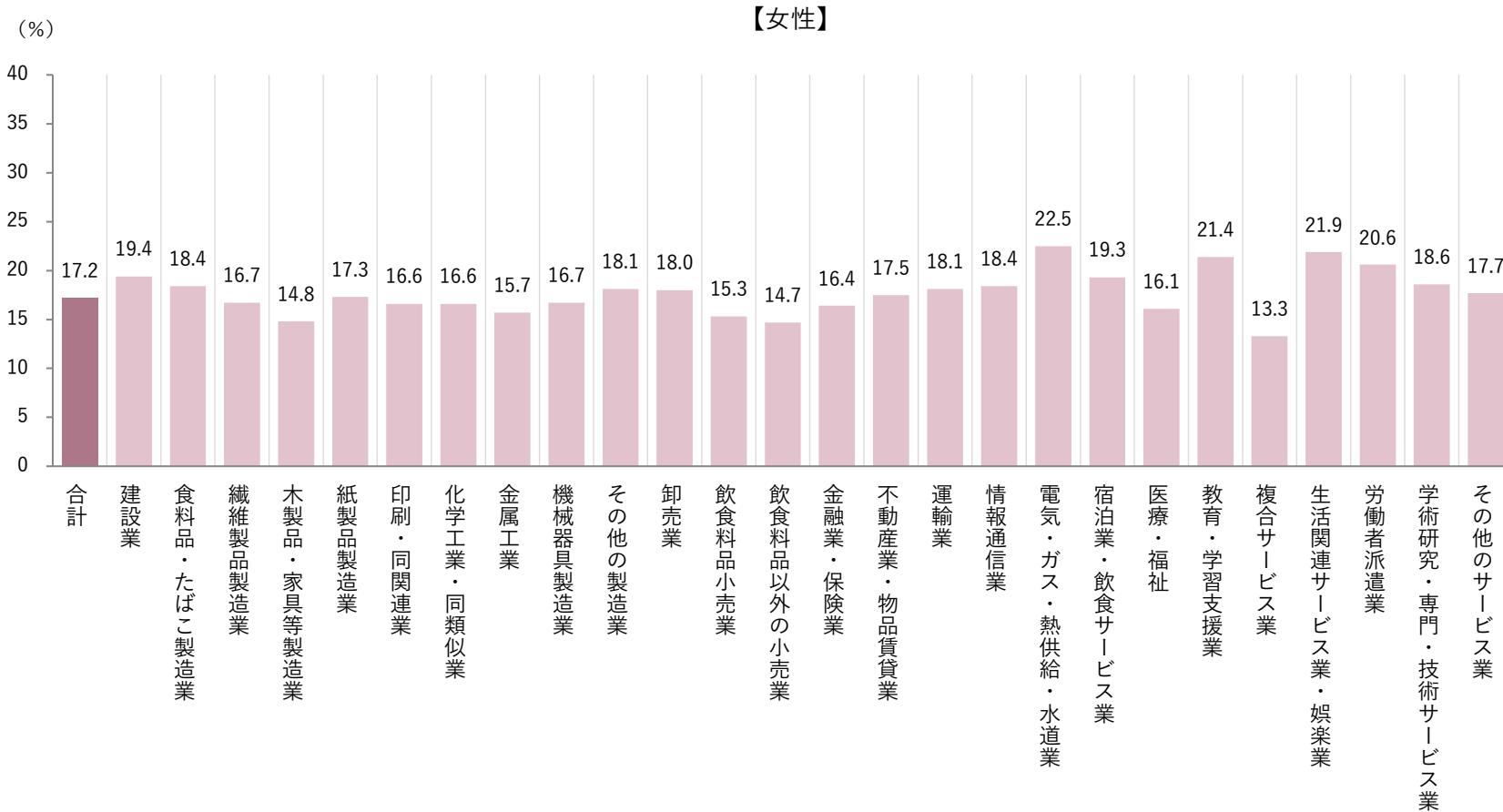


※7対象者数：298万2,067人（男性：209万7,906人、女性：88万4,161人）。未回答者を除く。なお、業態に該当する組合が存在しない「鉱石、採石業、砂利採取業」及び該当データの無い業態は含まれない。

○ 男性では合計：28.7%に対して、高い割合を示しているのは、①生活関連サービス業・娯楽業：33.1%、②金融業・保険業：32.5%、③電気・ガス・熱供給・水道業：31.7%となっている。

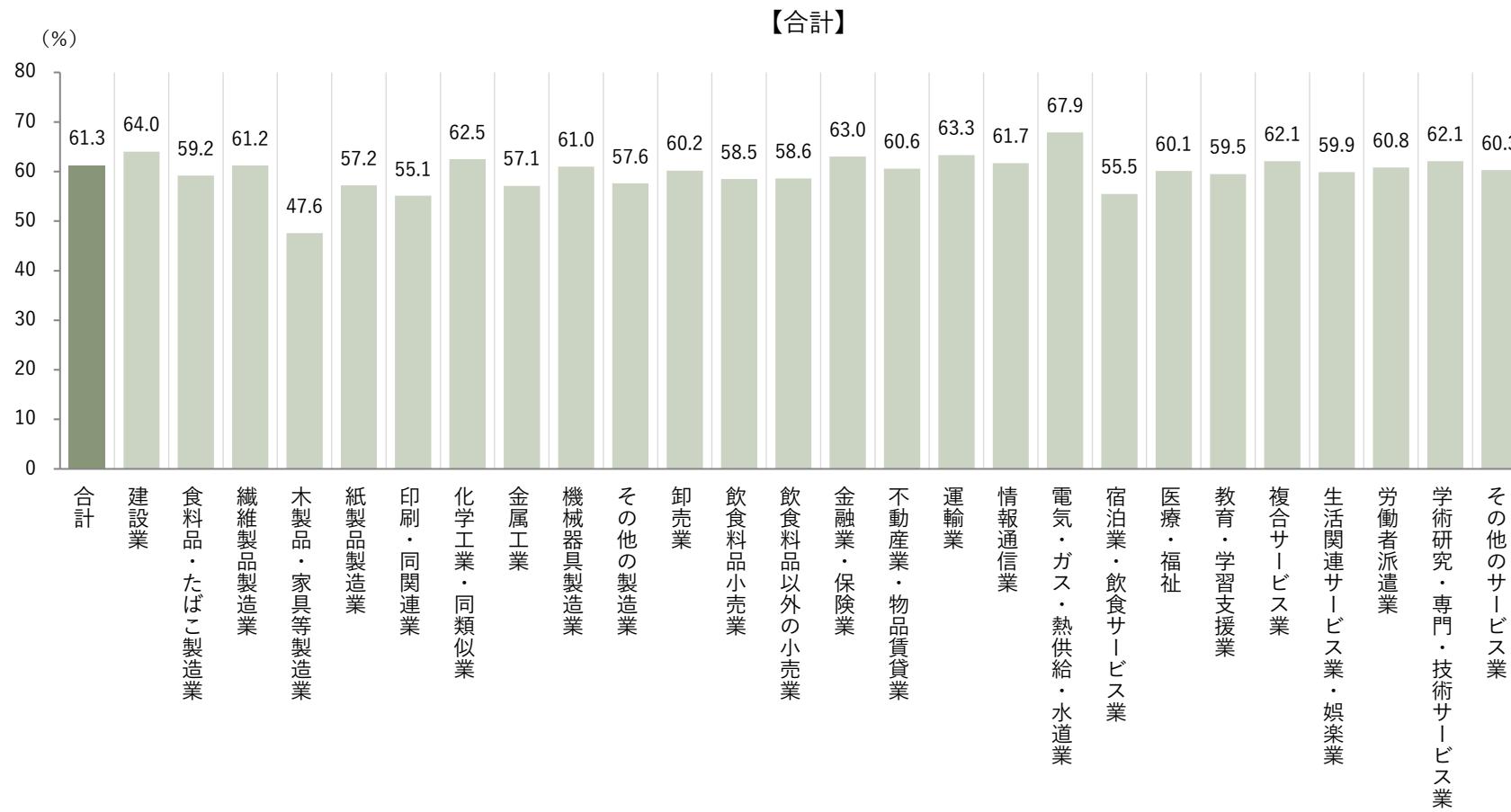


○ 女性では合計：17.2%に対して、高い割合を示しているのは、①電気・ガス・熱供給・水道業：22.5%、②生活関連サービス業・娯楽業：21.9%、③教育・学習支援業：21.4%となっている。



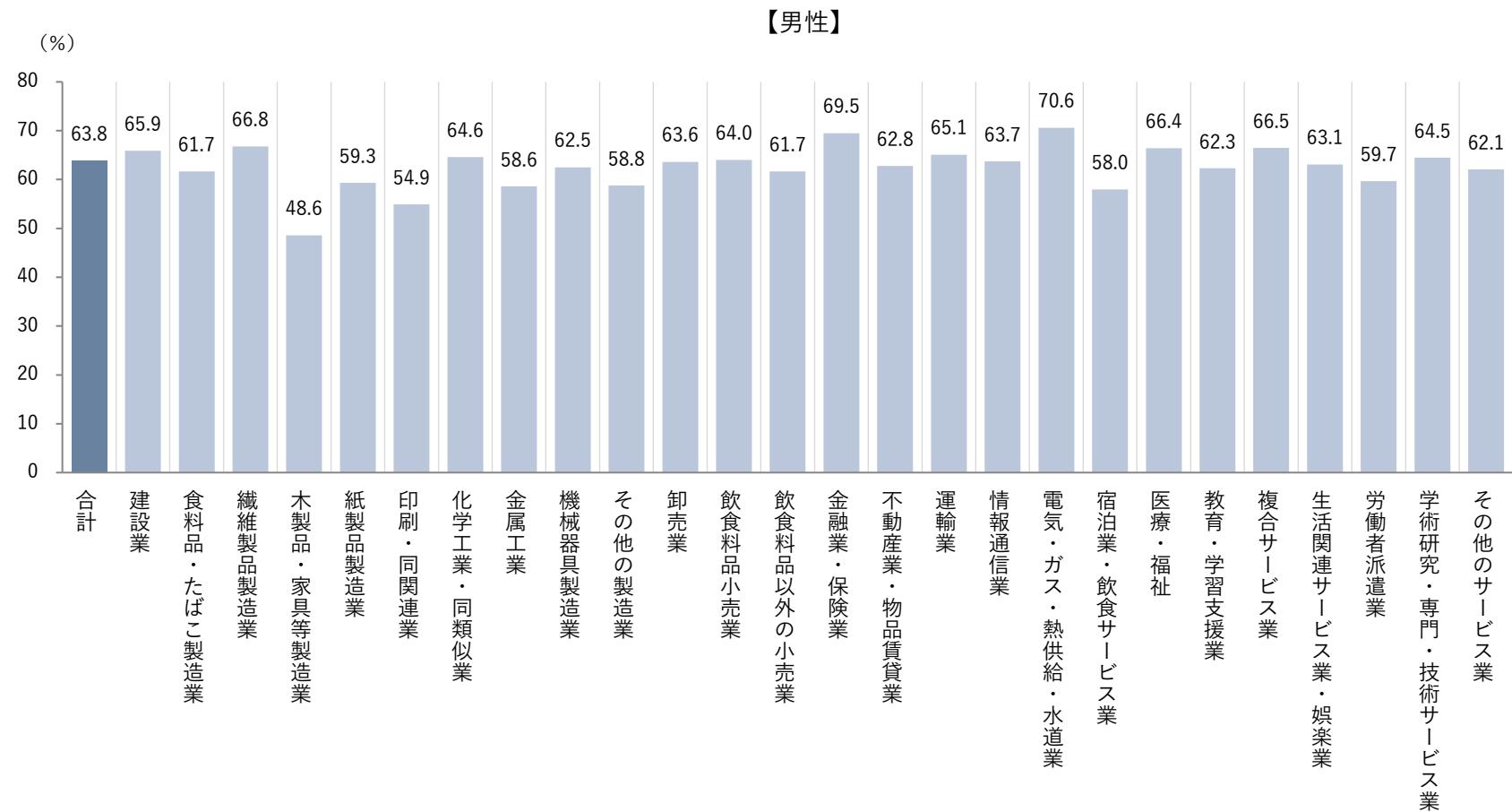
8. 睡眠で休養が十分とれている者の割合※8

- 「睡眠で休養が十分とれている」者の割合をみると、合計：61.3%に対して、高い割合を示しているのは、①電気・ガス・熱供給・水道業：67.9%、②建設業：64.0%、③運輸業：63.3%となっている。一方で、低い割合を示しているのは、①木製品・家具等製造業：47.6%、②印刷・同関連業：55.1%、③宿泊業・飲食サービス業：55.5%となっている。

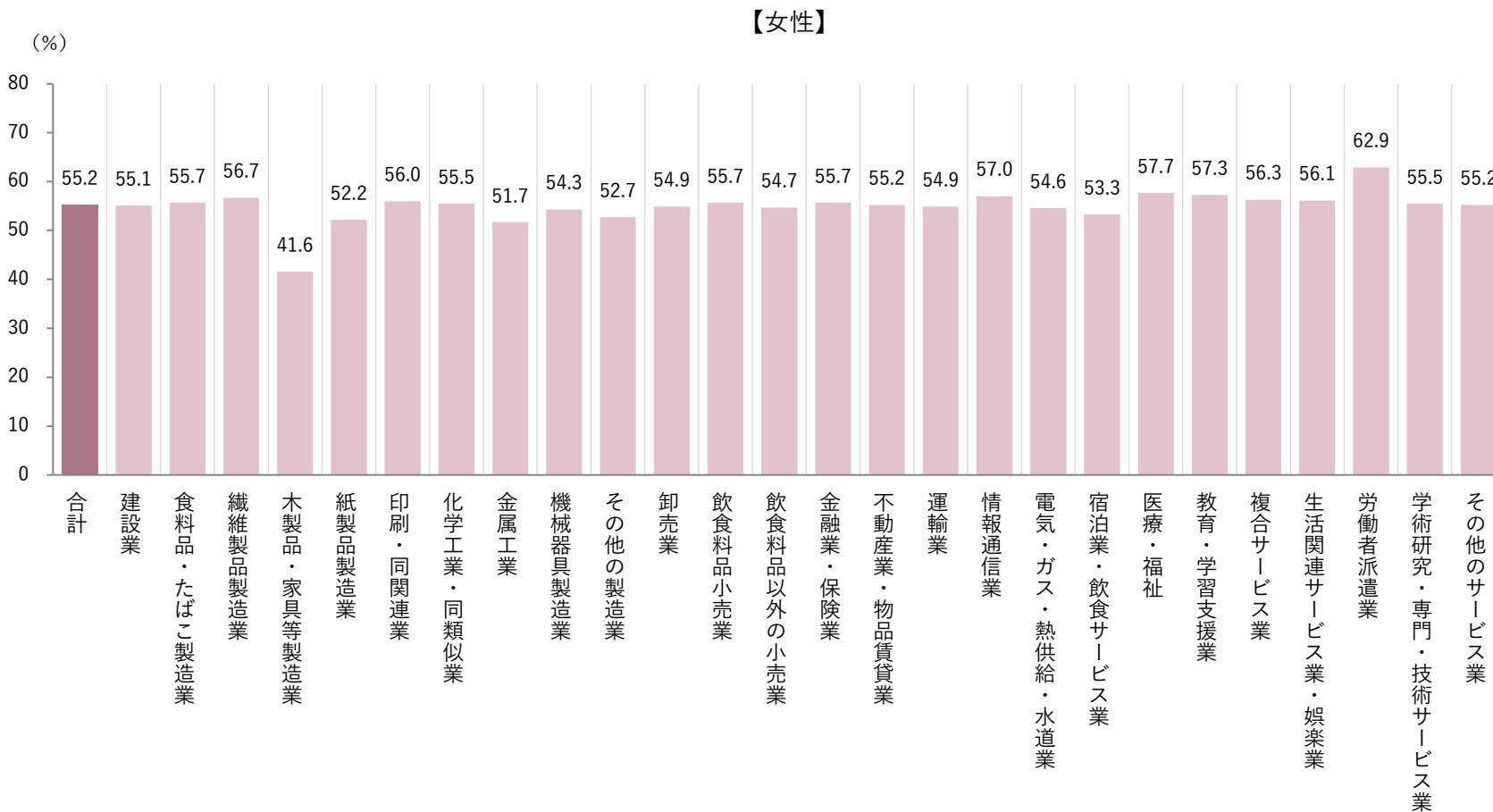


※8対象者数：298万2,737人（男性：209万9,232人、女性：88万3,505人）。未回答者を除く。なお、業態に該当する組合が存在しない「鉱石、採石業、砂利採取業」及び該当データの無い業態は含まれない。

○ 男性では合計：63.8%に対して、高い割合を示しているのは、①電気・ガス・熱供給・水道業：70.6%、②金融業・保険業：69.5%、③繊維製品製造業：66.8%となっている。



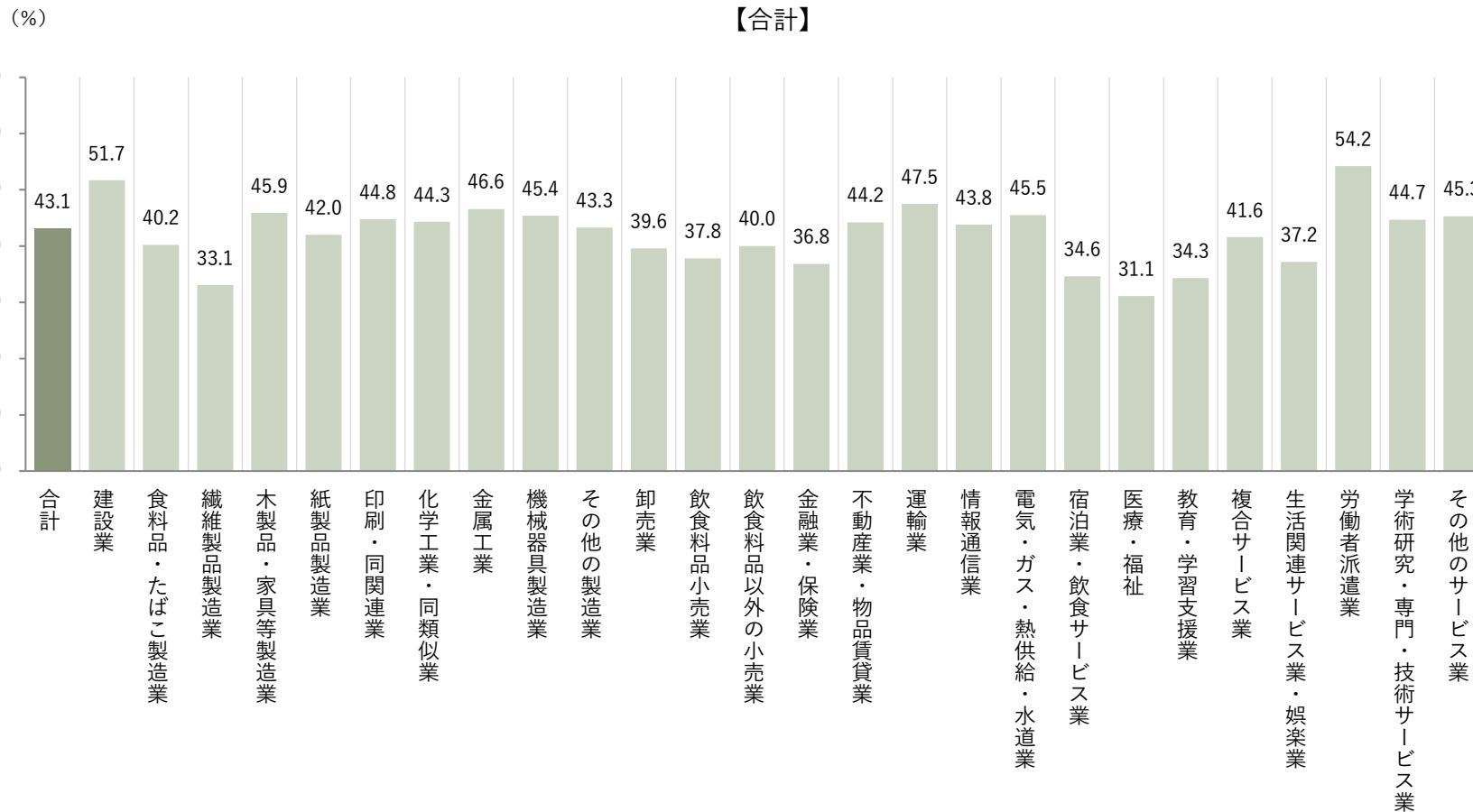
○ 女性では合計：55.2%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：62.9%、②医療・福祉：57.7%、③教育・学習支援業：57.3%となっている。



第二部【健康状態】

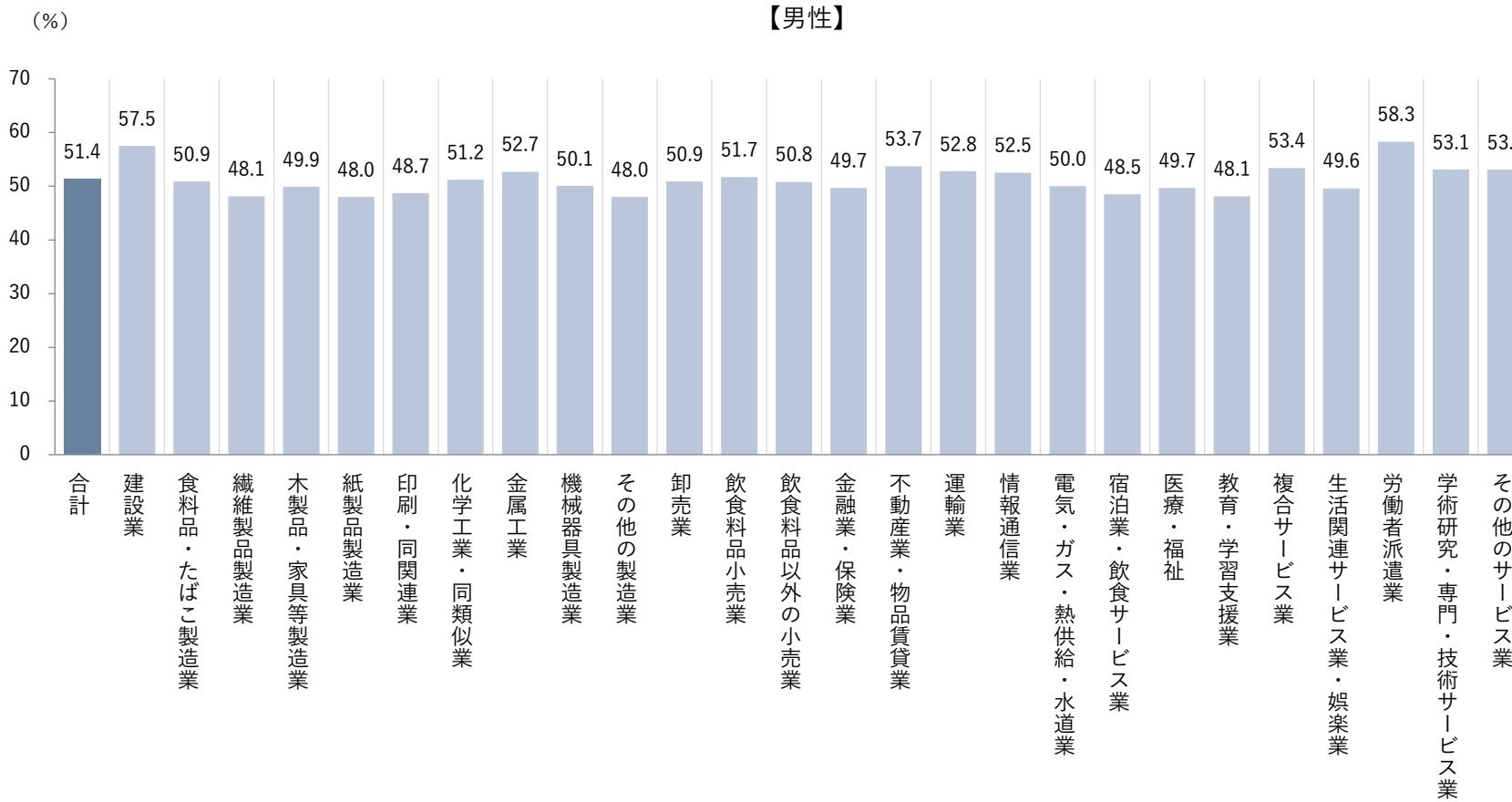
9. 肥満該当者の割合※9

- 「肥満」該当者の割合をみると、合計：43.1%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：54.2%、②建設業：51.7%、③運輸業：47.5%となっている。一方で、低い割合を示しているのは、①医療・福祉：31.1%、②繊維製品製造業：33.1%、③教育・学習支援業：34.3%となっている。

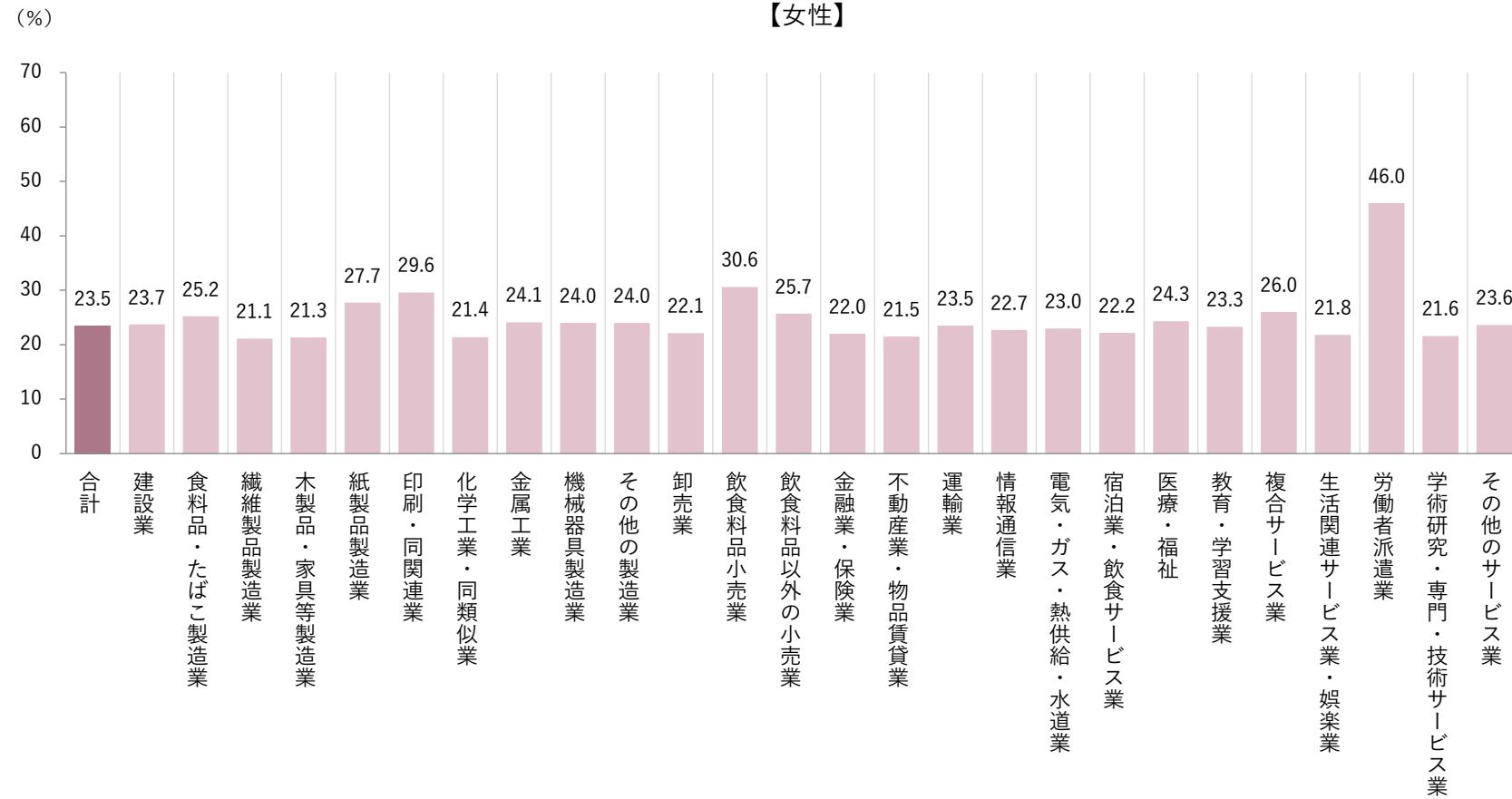


※9対象者数：308万8,449人（男性：216万8,998人、女性：91万9,451人）。未回答者を除く。なお、業態に該当する組合が存在しない「鉱石、採石業、砂利採取業」及び該当データの無い業態は含まれない。

- 男性では合計：51.4%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：58.3%、②建設業：57.5%、③不動産業・物品賃貸業：53.7%となっている。

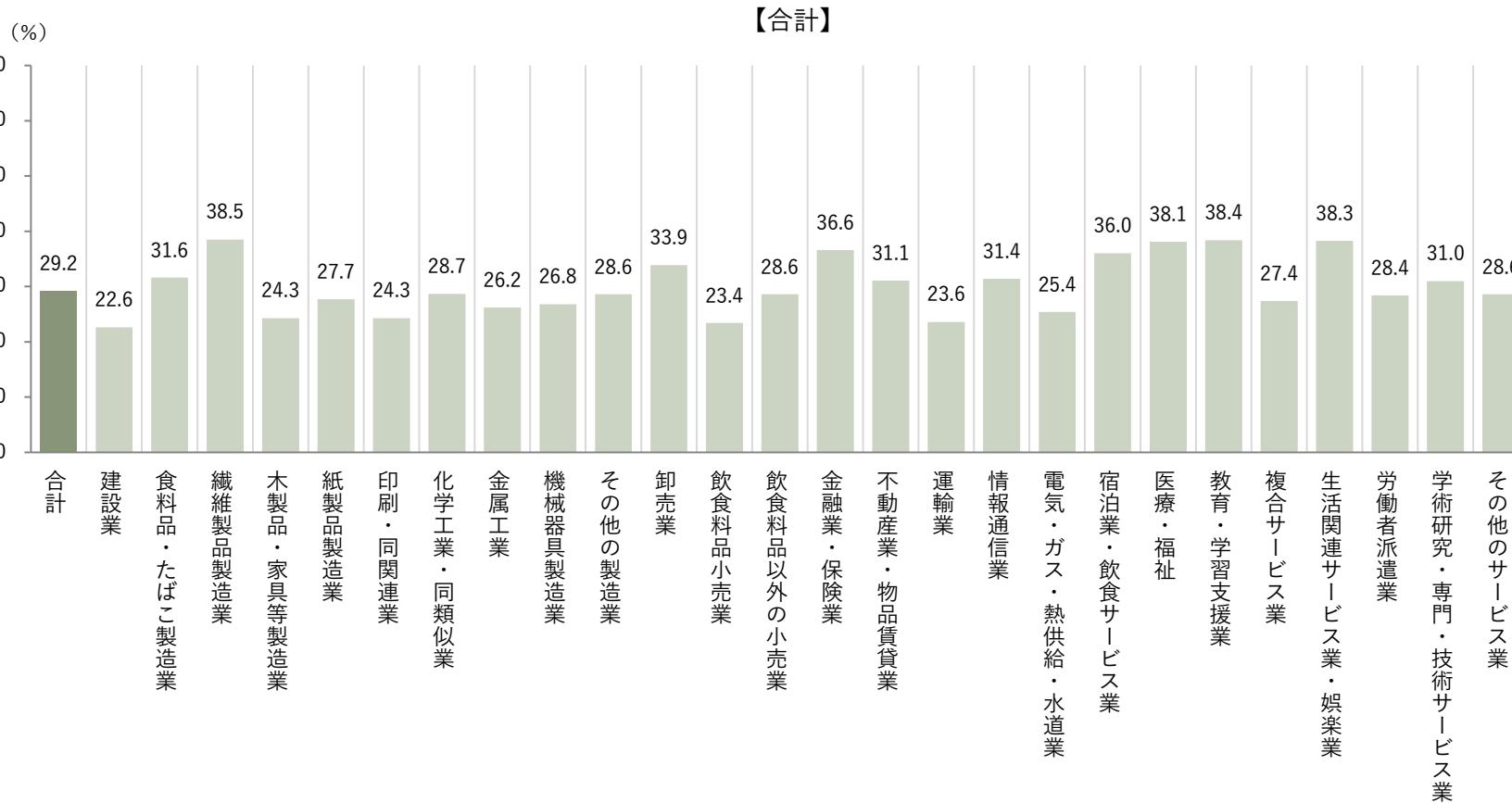


○ 女性では合計：23.5%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：46.0%、②飲食料品小売業：30.6%、③印刷・同関連業：29.6%となっている。



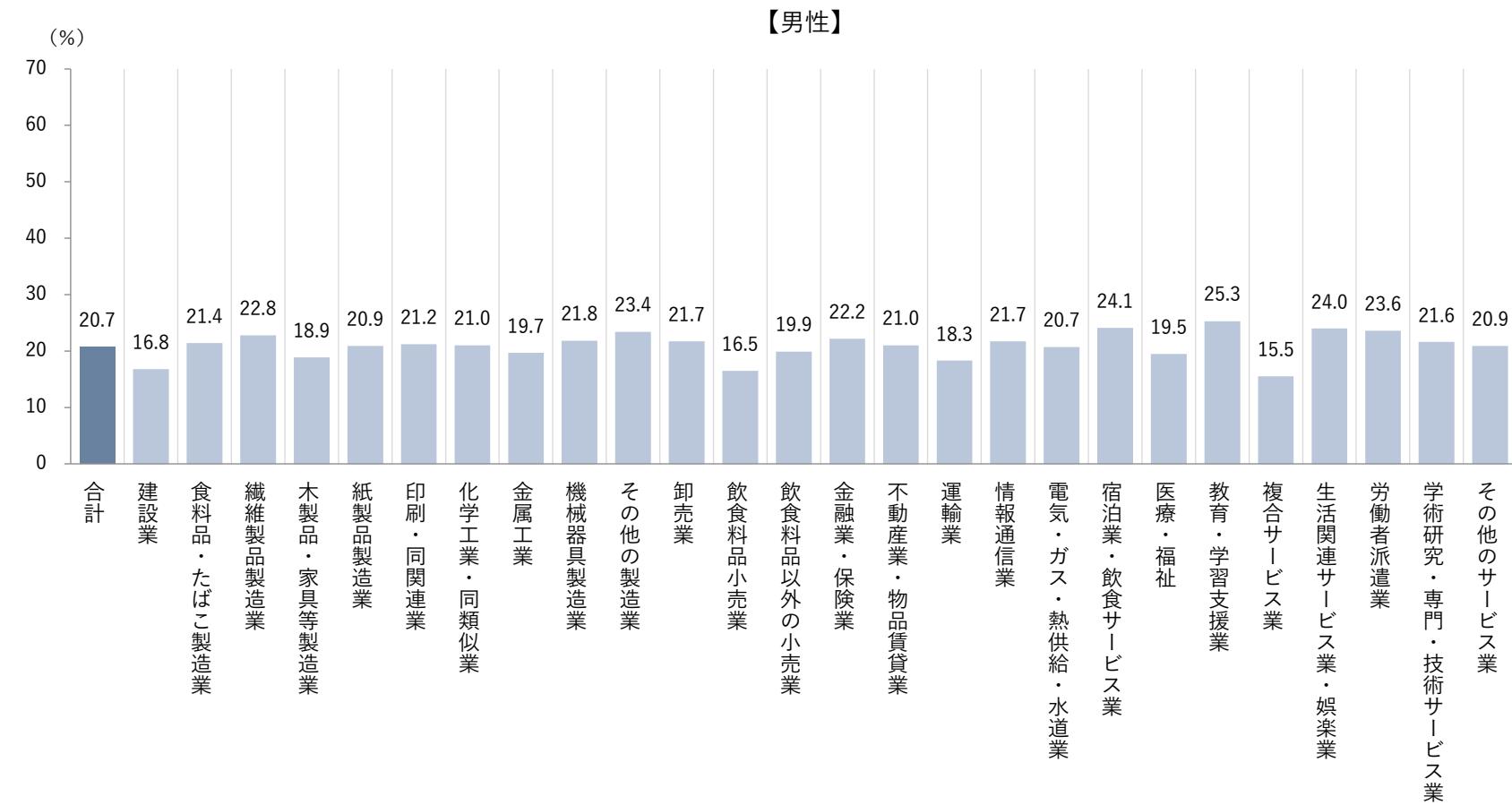
10. 健診検査値基準範囲内の該当者の割合※10

○「健診検査値（「血圧」、「脂質」、「血糖」、「肝機能」）について基準範囲内（リスクなし）の該当者の割合をみると、合計：29.2%に対して、高い割合を示しているのは、①繊維製品製造業：38.5%、②教育・学習支援業：38.4%、③生活関連サービス業・娯楽業：38.3%となっている。一方で、低い割合を示しているのは、①建設業：22.6%、②飲食料品小売業：23.4%、③運輸業：23.6%となっている。

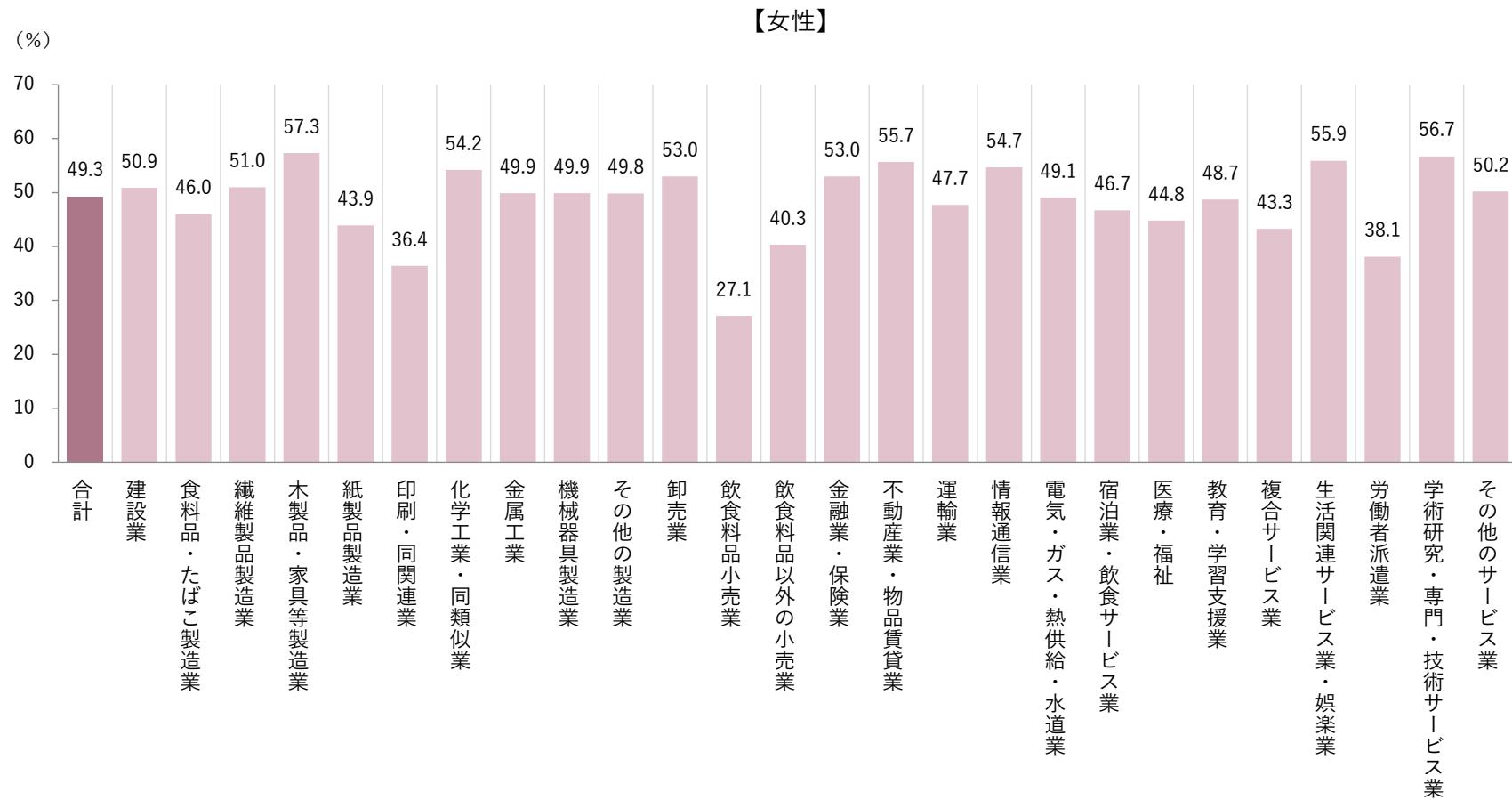


※10対象者数：308万2,475人（男性：216万4,475人、女性：91万8,000人）。未回答者を除く。なお、業態に該当する組合が存在しない「鉱石、採石業、砂利採取業」及び該当データの無い業態は含まれない。

- 男性では合計：20.7%に対して、高い割合を示しているのは、①教育・学習支援業：25.3%、②宿泊業・飲食サービス業：24.1%、③生活関連サービス業・娯楽業：24.0%となっている。

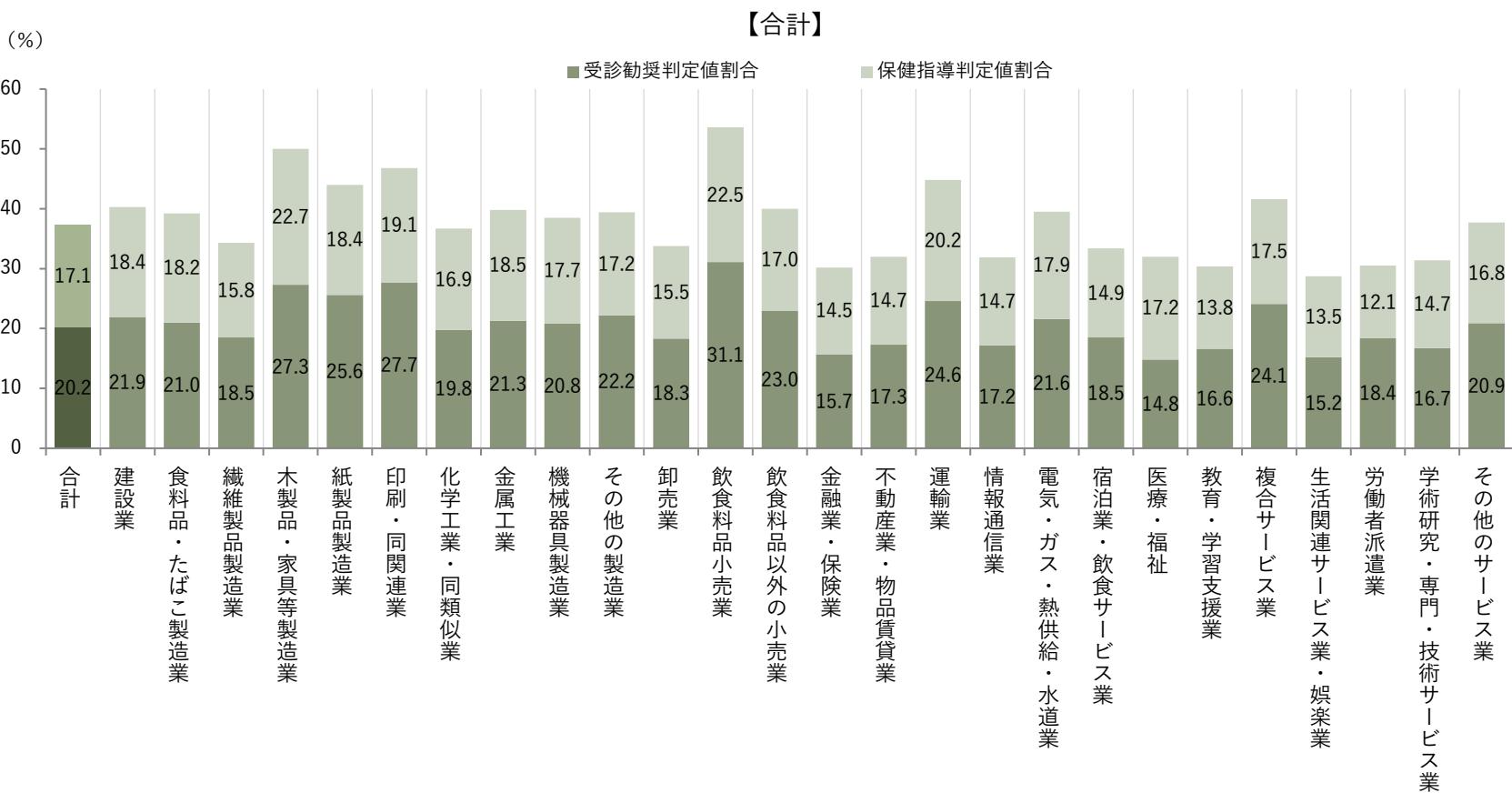


○ 女性では合計：49.3%に対して、高い割合を示しているのは、①木製品・家具等製造業：57.3%、②学術研究・専門・技術サービス業：56.7%、③生活関連サービス業・娯楽業：55.9%となっている。



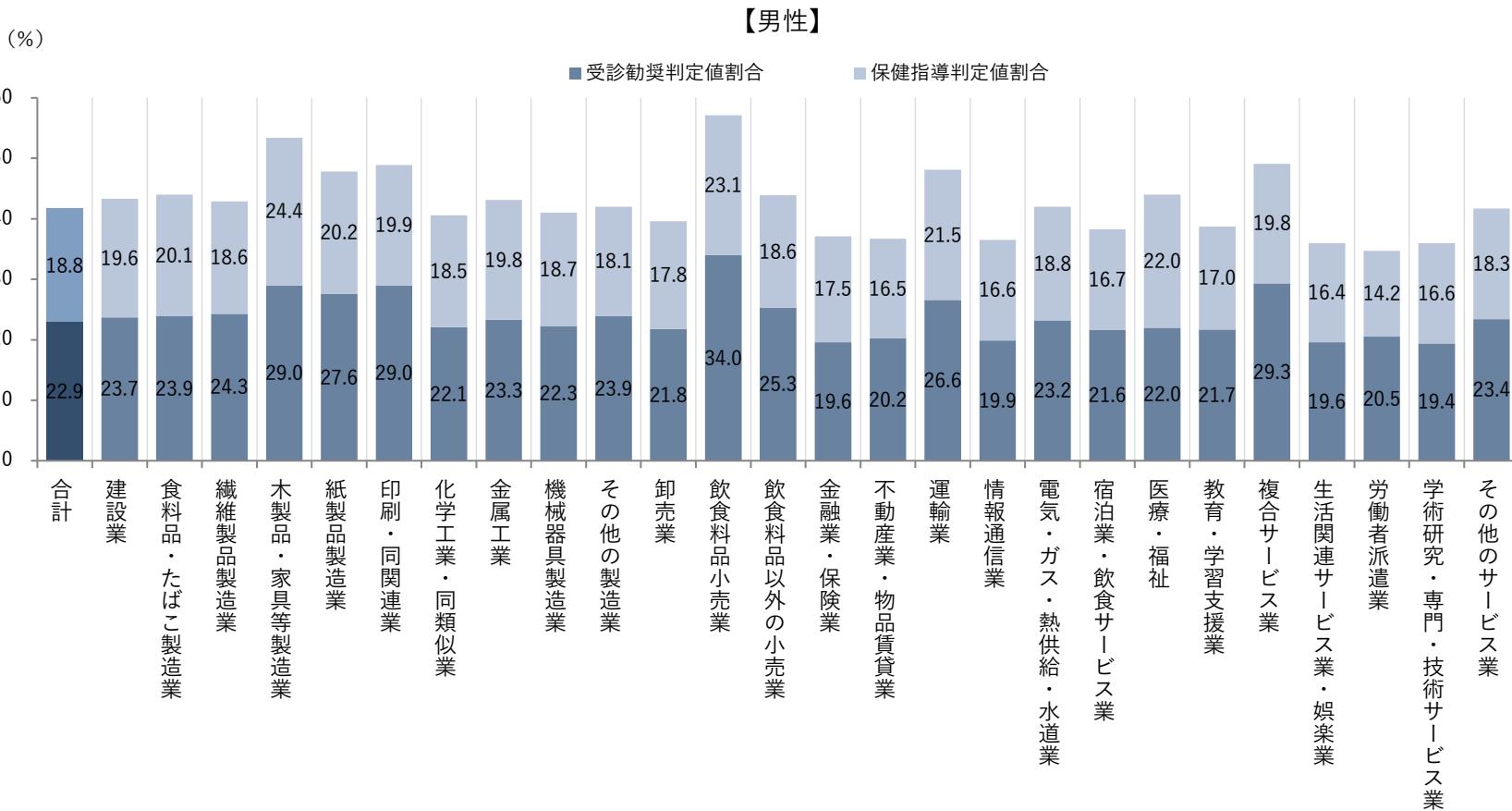
11. 血圧：受診勧奨及び保健指導判定値の該当者の割合※11

- 「血圧」について「受診勧奨判定値」の該当者の割合をみると、合計：20.2%に対して、高い割合を示しているのは、①飲食料品小売業：31.1%、②印刷・同関連業：27.7%、③木製品・家具等製造業：27.3%となっている。
- また、「保健指導判定値」の該当者の割合では、合計：17.1%に対して、高い割合を示しているのは、①木製品・家具等製造業：22.7%、②飲食料品小売業：22.5%、③運輸業：20.2%となっている。

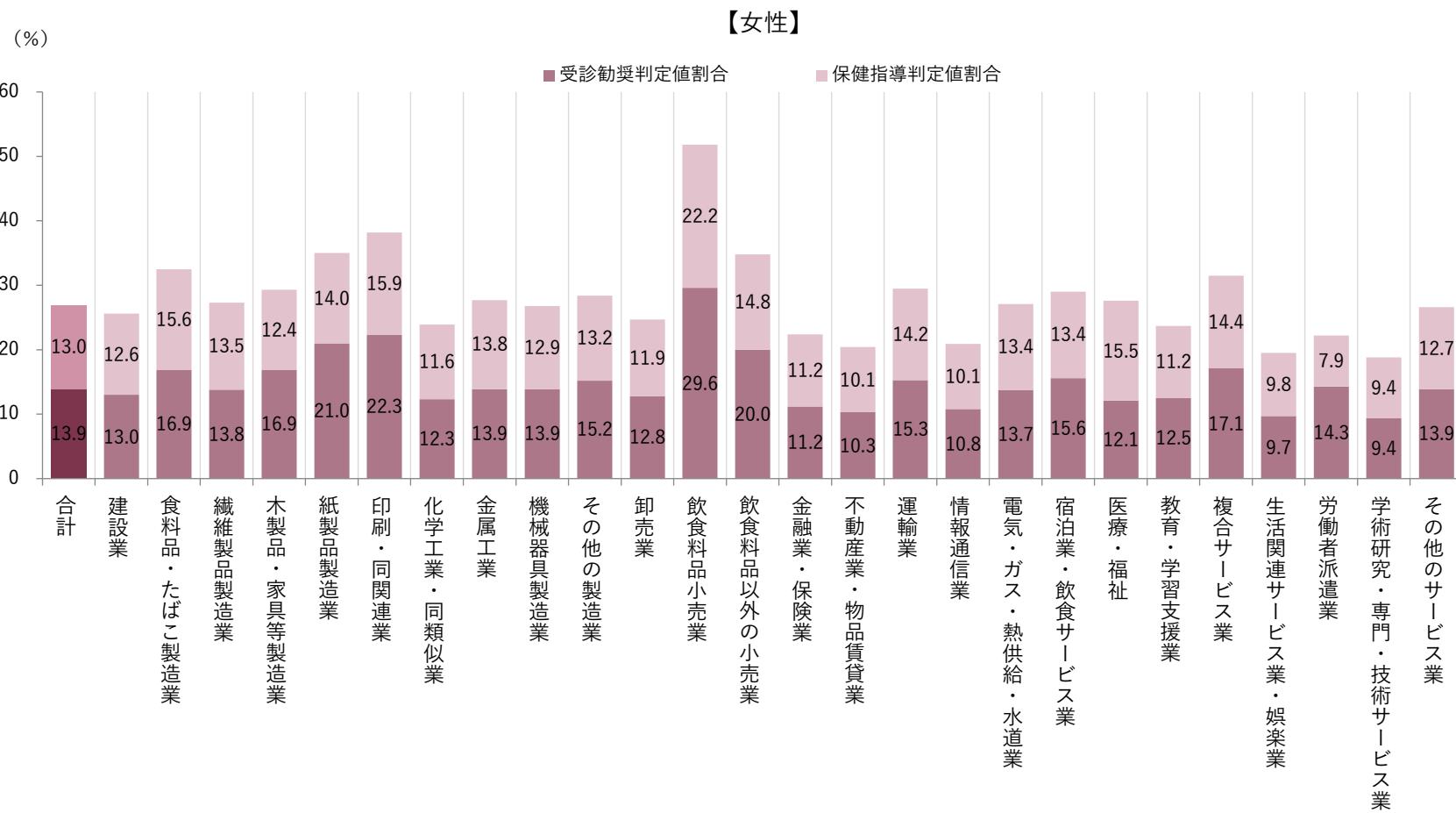


※11対象者数：308万9,525人（男性：216万9,328人、女性：92万197人）。未回答者を除く。なお、業態に該当する組合が存在しない「鉱石、採石業、砂利採取業」及び該当データの無い業態は含まれない。

- 男性では、「受診勧奨判定値」は合計：22.9%に対して、高い割合を示しているのは、①飲食料品小売業：34.0%、②複合サービス業：29.3%、③木製品・家具等製造業、印刷・同関連業：29.0%となっている。
- また、「保健指導判定値」は合計：18.8%に対して、高い割合を示しているのは、①木製品・家具等製造業：24.4%、②飲食料品小売業：23.1%、③医療・福祉：22.0%となっている。

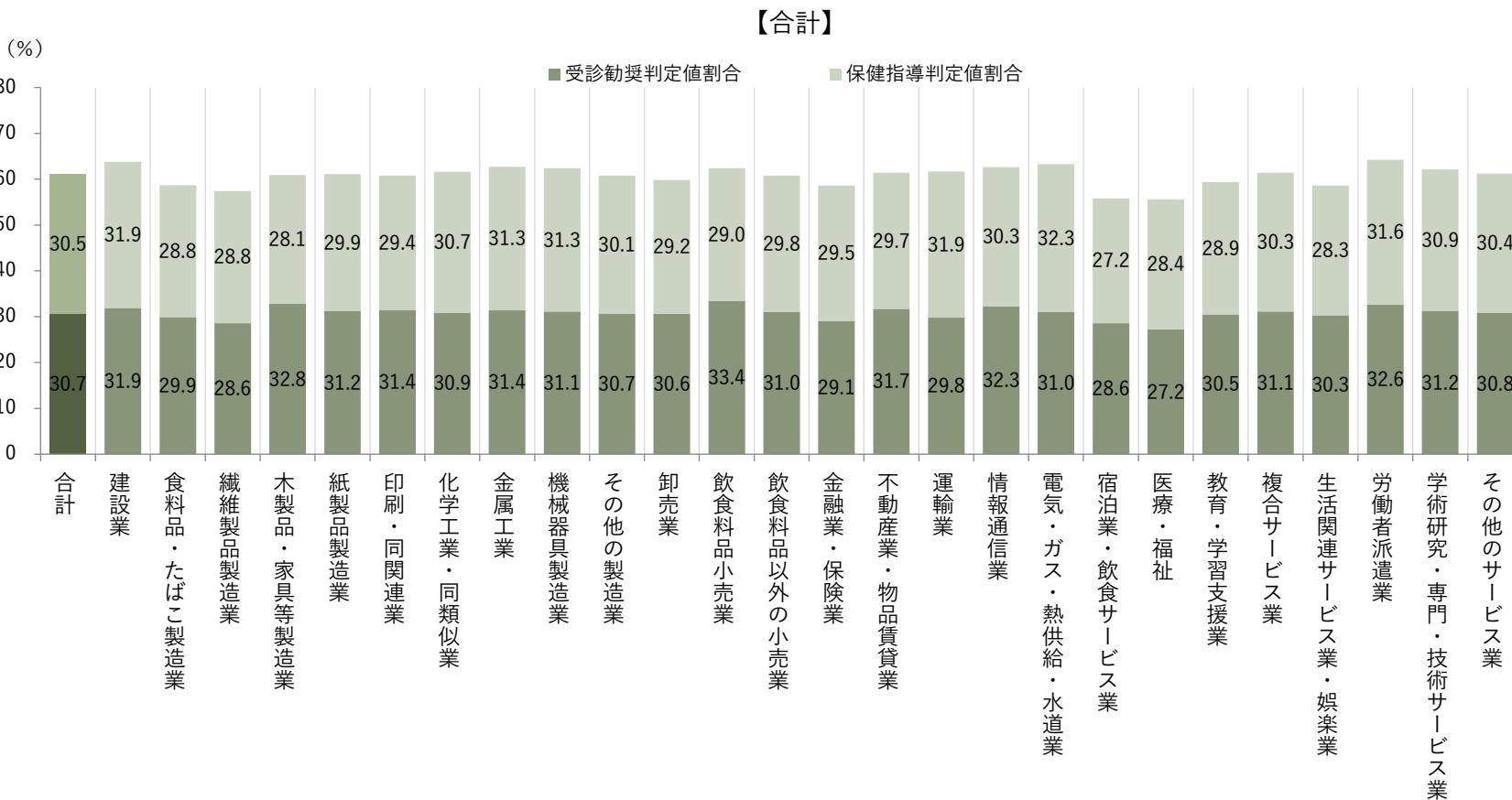


- 女性では、「受診勧奨判定値」は合計：13.9%に対して、高い割合を示しているのは、①飲食料品小売業：29.6%、②印刷・同関連業：22.3%、③紙製品製造業：21.0%となっている。
- また、「保健指導判定値」は合計：13.0%に対して、高い割合を示しているのは、①飲食料品小売業：22.2%、②印刷・同関連業：15.9%、③食料品・たばこ製造業：15.6%となっている。



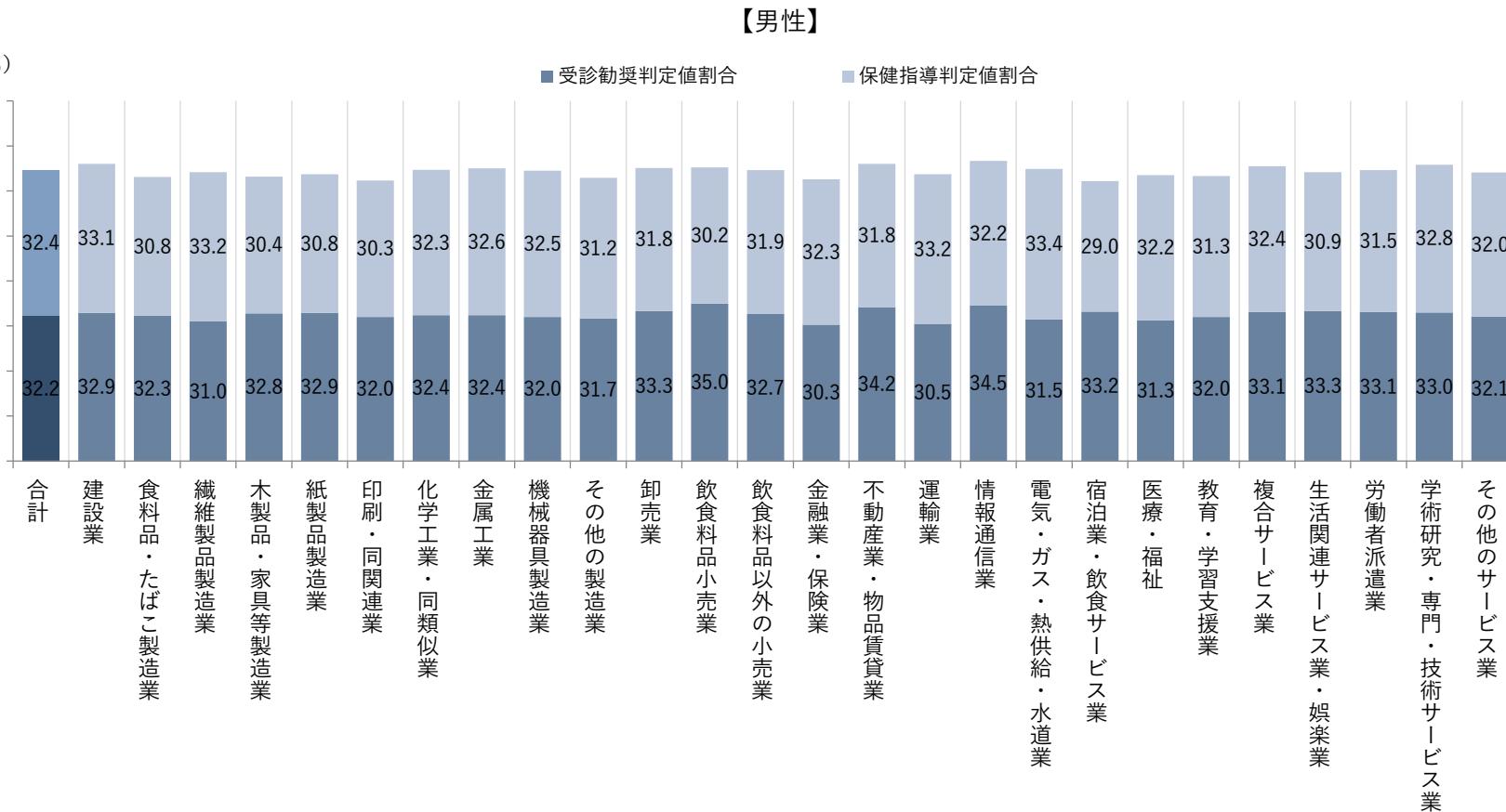
12. 脂質：受診勧奨及び保健指導判定値の該当者の割合※12

- 「脂質」について「受診勧奨判定値」は該当者の割合をみると、合計：30.7%に対して、高い割合を示しているのは、①飲食料品小売業：33.4%、②木製品・家具等製造業：32.8%、③労働派遣業：32.6%となっている。
- また、「保健指導判定値」は該当者の割合をみると、合計：30.5%に対して、高い割合を示しているのは、①電気・ガス・熱供給・水道業：32.3%、②建設業、運輸業：31.9%、③労働者派遣業：31.6%となっている。



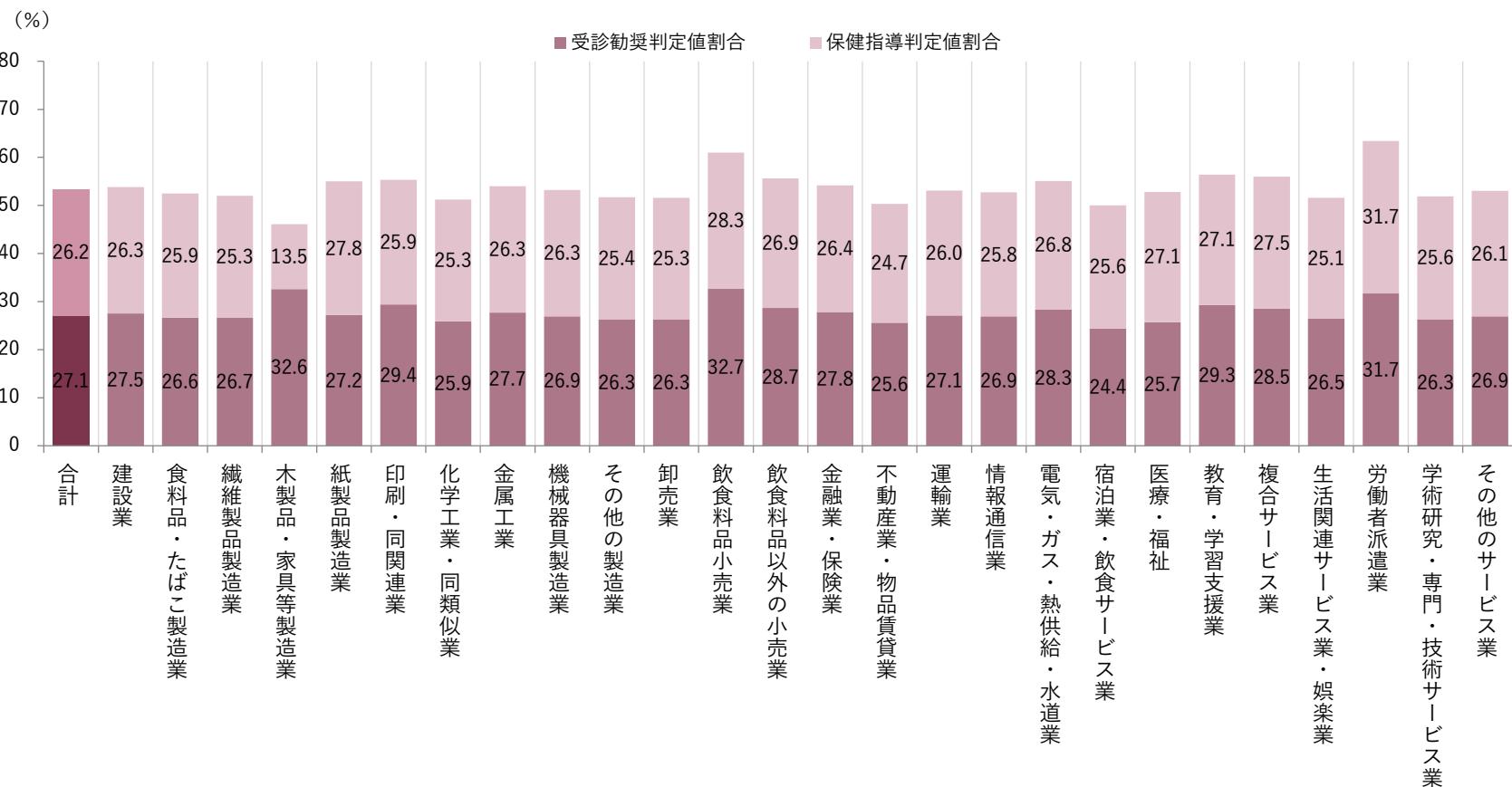
※12対象者数：308万8,744人（男性：216万8,753人、女性：91万9,991人）。未回答者を除く。なお、業態に該当する組合が存在しない「鉱石、採石業、砂利採取業」及び該当データの無い業態は含まれない。

- 男性では、「受診勧奨判定値」は合計：32.2%に対して、高い割合を示しているのは、①飲食料品小売業：35.0%、②情報通信業：34.5%、③不動産業・物品賃貸業：34.2%となっている。
- また、「保健指導判定値」は合計：32.4%に対して、高い割合を示しているのは、①電気・ガス・熱供給・水道業：33.4%、②繊維製品製造業、運輸業：33.2%、③建設業：33.1%となっている。



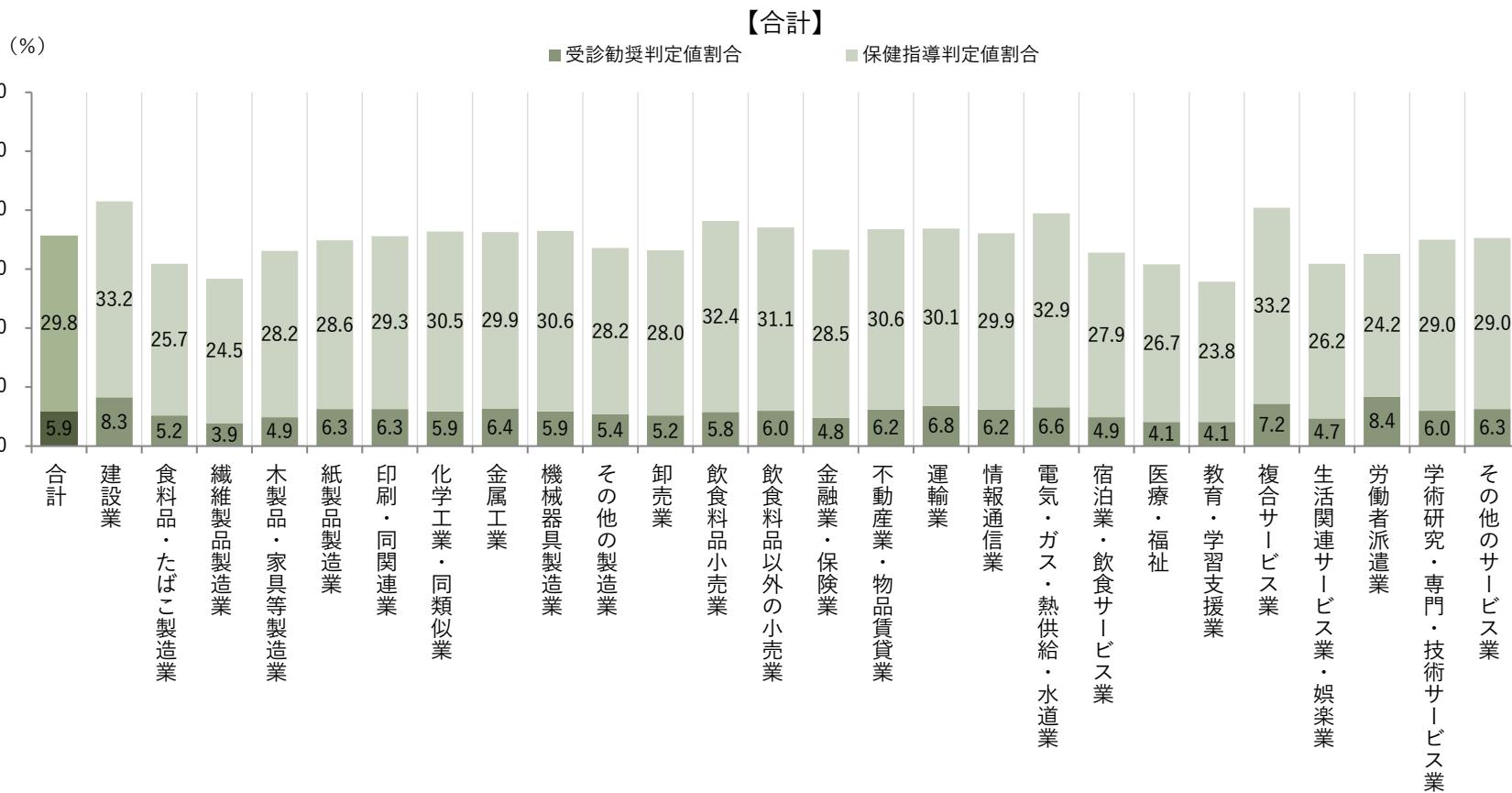
- 女性では、「受診勧奨判定値」は合計：27.1%に対して、高い割合を示しているのは、①飲食料品小売業：32.7%、②木製品・家具等製造業：32.6%、③労働者派遣業：31.7%となっている。
- また、「保健指導判定値」は合計26.2%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：31.7%、②飲食料品小売業：28.3%、③紙製品製造業：27.8%となっている。

【女性】



13. 血糖：受診勧奨及び保健指導判定値の該当者の割合※13

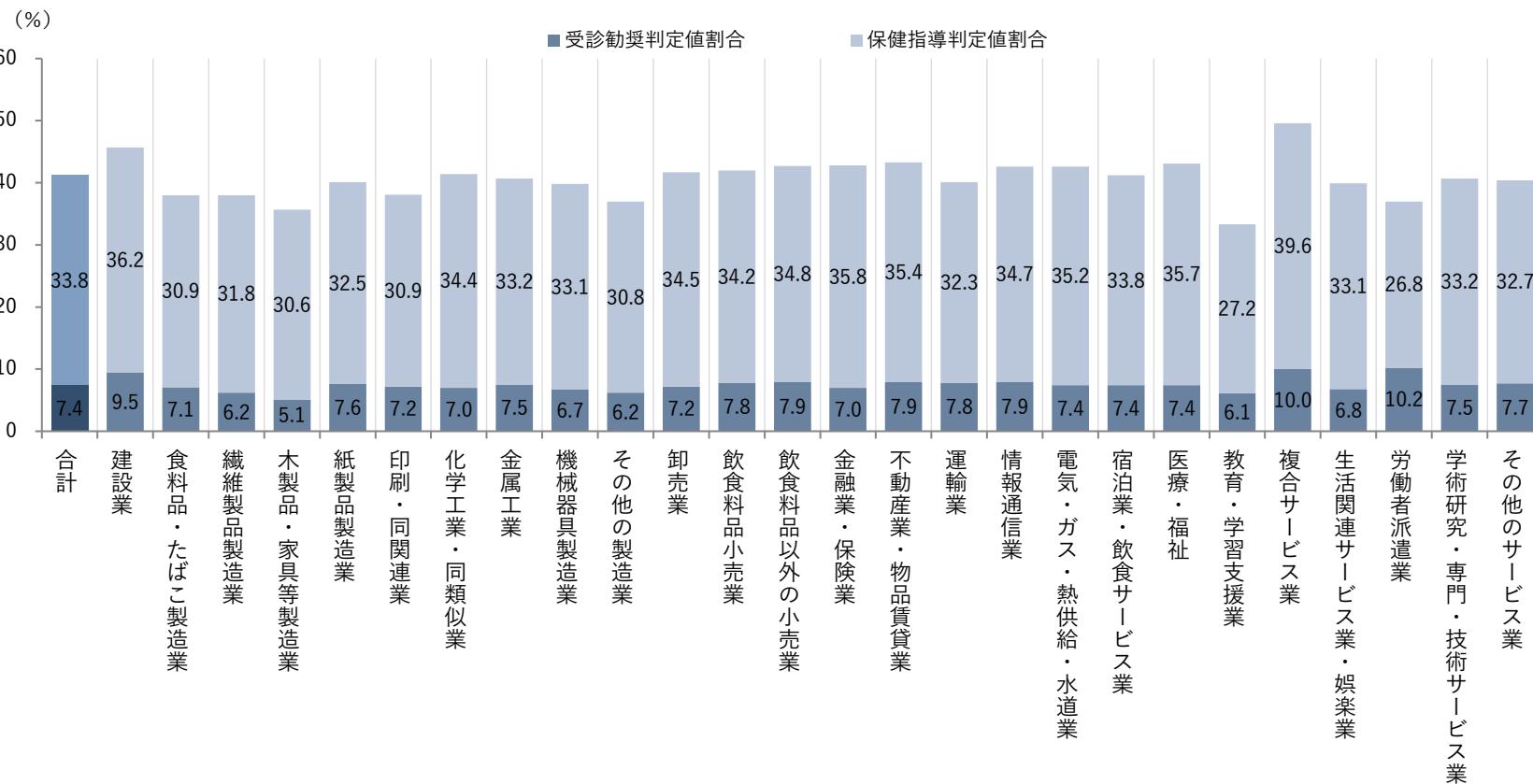
- 「血糖」について「受診勧奨判定値」の該当者の割合をみると、合計：5.9%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：8.4%、②建設業：8.3%、③複合サービス業：7.2%となっている。
- また、「保健指導判定値」の該当者の割合をみると、合計：29.8%に対して、高い割合を示しているのは、①建設業、複合サービス業：33.2%、②電気・ガス・熱供給・水道業：32.9%、③飲食料品小売業：32.4%となっている。



※13対象者数：308万4,094人（男性：216万5,226人、女性：91万8,868人）。未回答者を除く。なお、業態に該当する組合が存在しない「鉱石、採石業、砂利採取業」及び該当データの無い業態は含まれない。

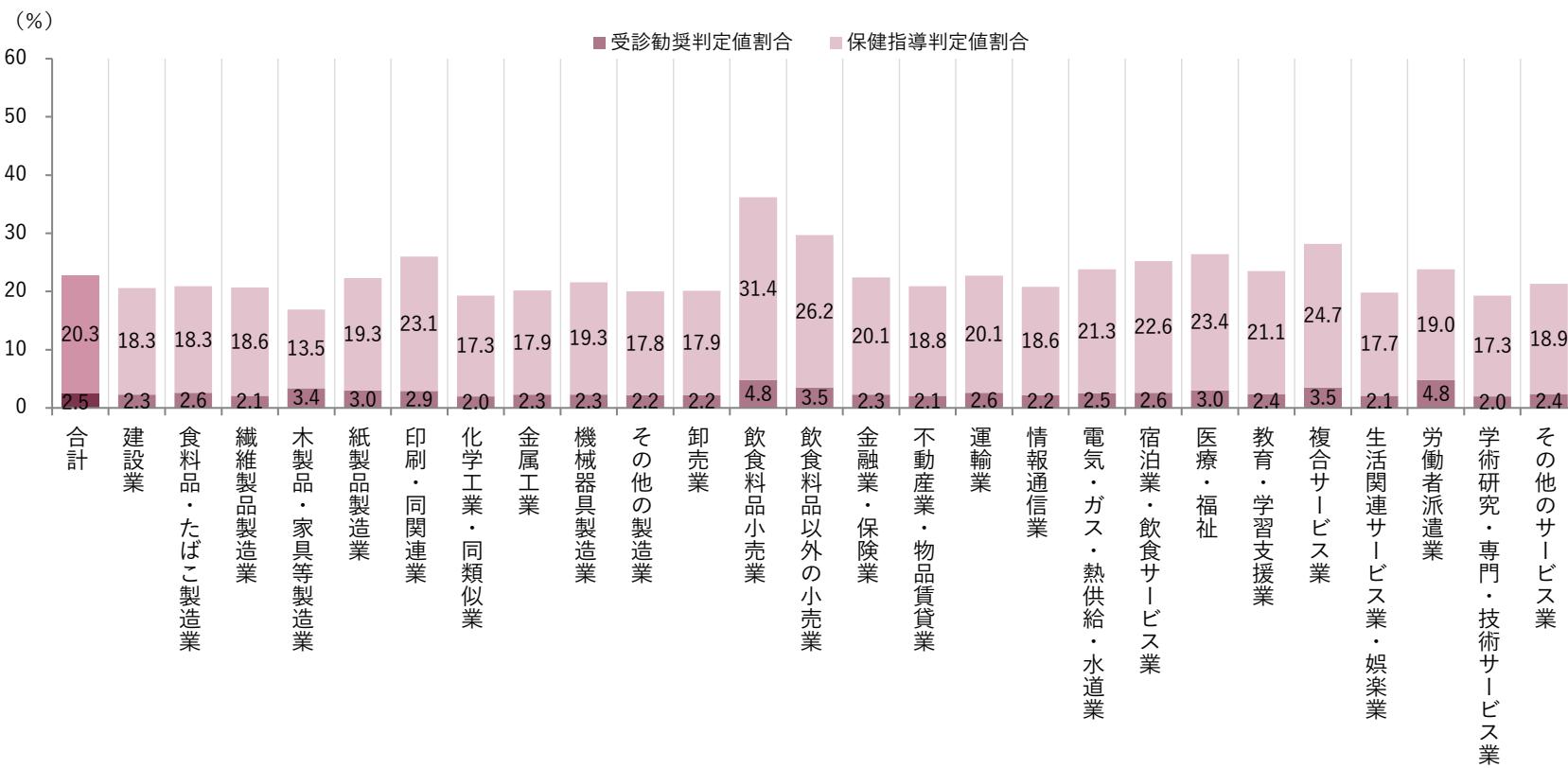
- 男性では、「受診勧奨判定値」は合計：7.4%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：10.2%、②複合サービス業：10.0%、③建設業：9.5%となっている。
- また、「保健指導判定値」は合計：33.8%に対して、高い割合を示しているのは、①複合サービス業：39.6%、②建設業：36.2%、③金融業・保険業：35.8%となっている。

【男性】



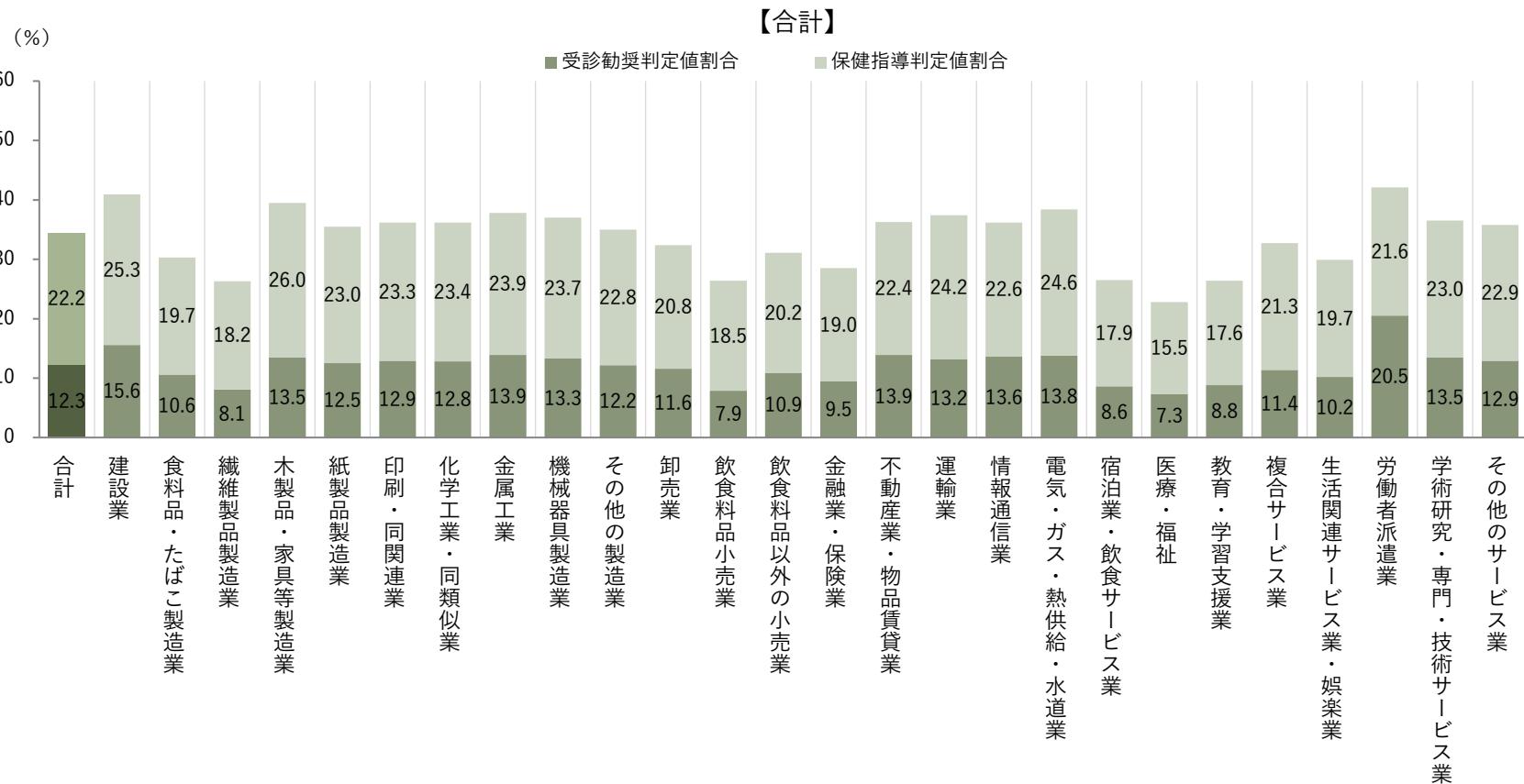
- 女性では、「受診勧奨判定値」は合計：2.5%に対して、高い割合を示しているのは、①飲食料品小売業、労働者派遣業：4.8%、②飲食料品以外の小売業、複合サービス業：3.5%、③木製品・家具等製造業：3.4%となっている。
- また、「保健指導判定値」は合計20.3%に対して、高い割合を示しているのは、①飲食料品小売業：31.4%、②飲食料品以外の小売業：26.2%、③複合サービス業：24.7%となっている。

【女性】



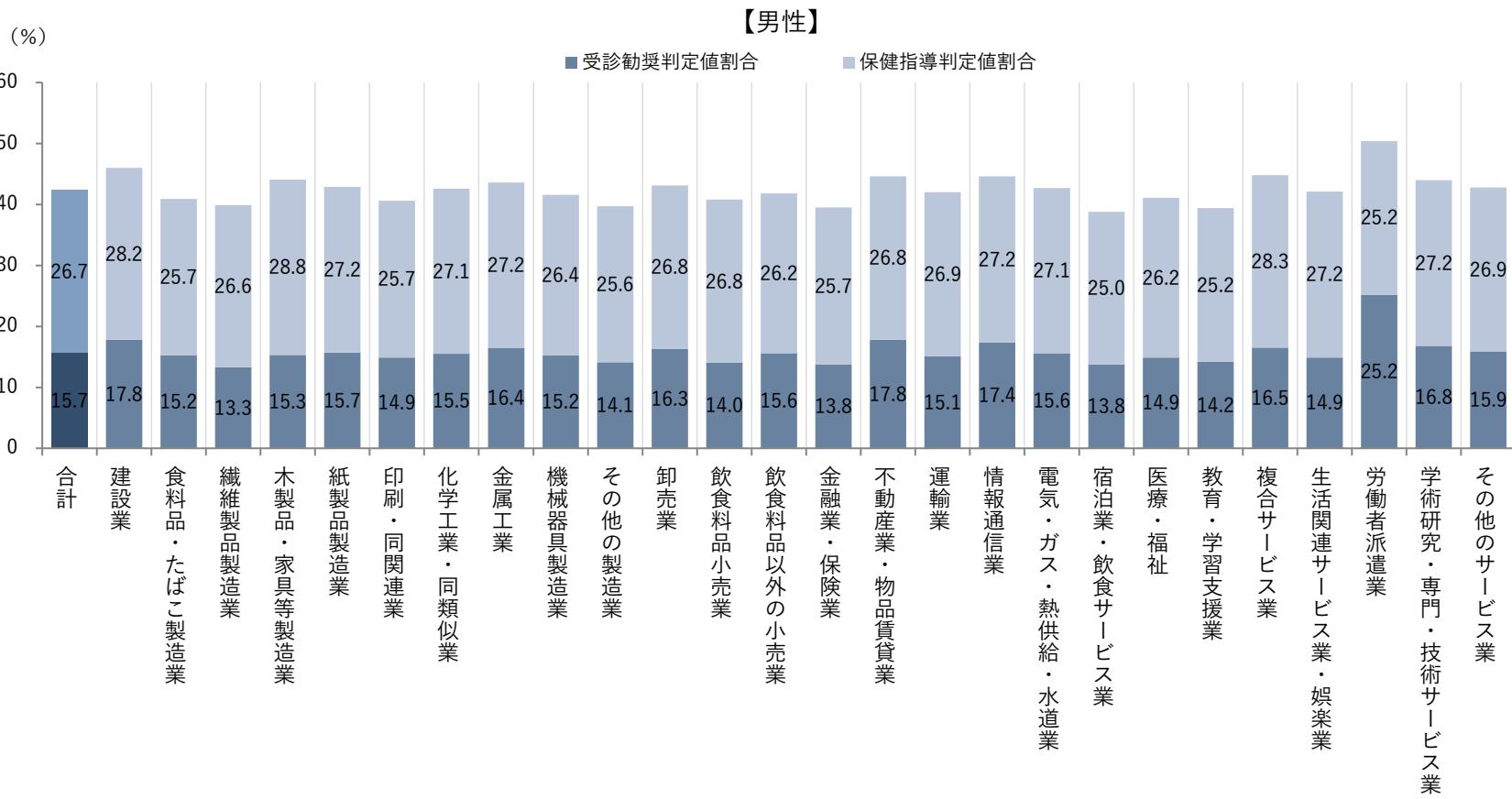
14. 肝機能：受診勧奨及び保健指導判定値の該当者の割合※14

- 「肝機能」について「受診勧奨判定値」の該当者の割合をみると、合計：12.3%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：20.5%、②建設業：15.6%、③金属工業、不動産業・物品賃貸業：13.9%となっている。
- また、「保健指導判定値」の該当者の割合をみると、合計：22.2%に対して、高い割合を示しているのは、①木製品・家具等製造業：26.0%、②建設業：25.3%、③電気・ガス・熱供給・水道業：24.6%となっている。



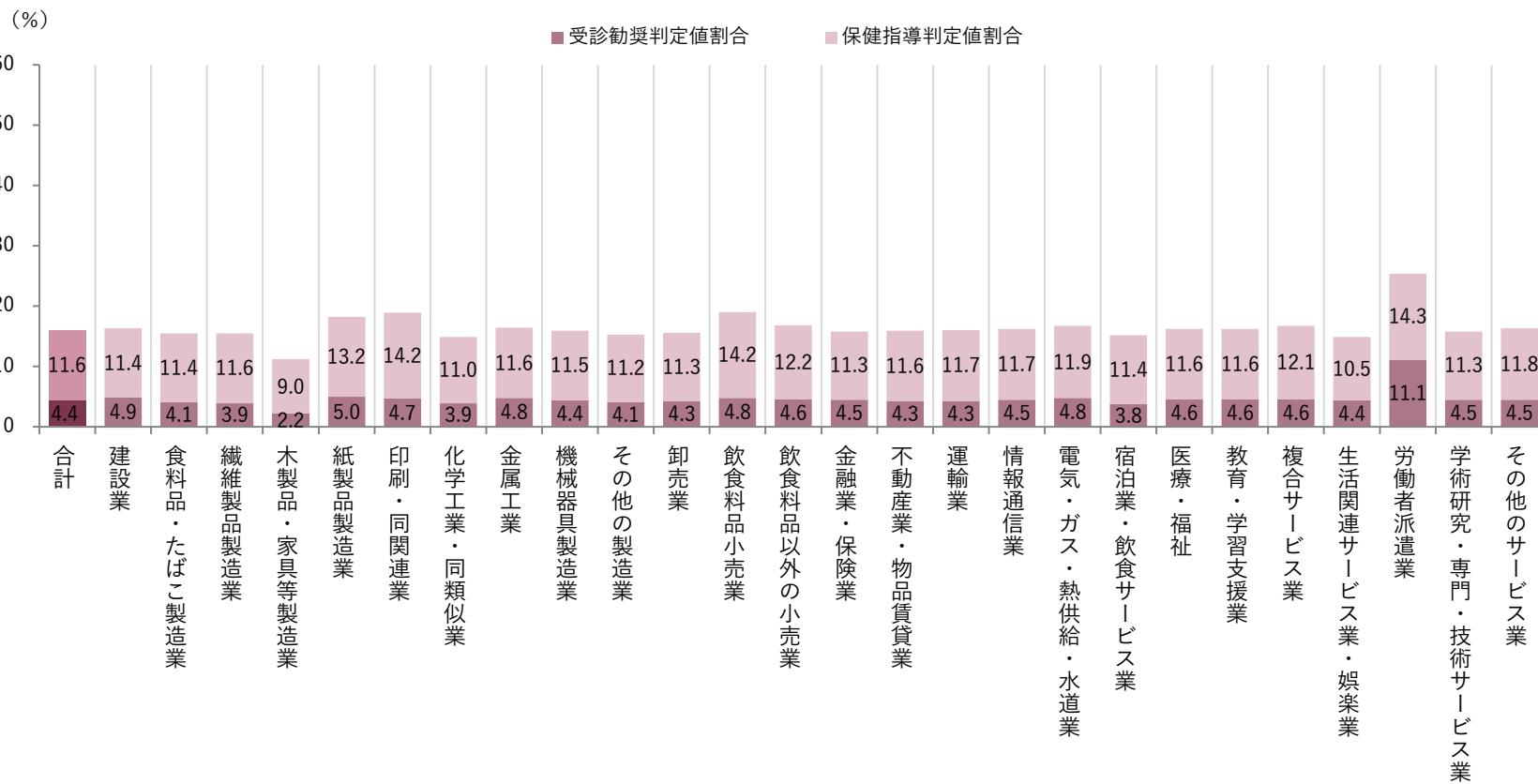
※14対象者数：308万8,872人（男性：216万8,856人、女性：92万16人）。未回答者を除く。なお、業態に該当する組合が存在しない「鉱石、採石業、砂利採取業」及び該当データの無い業態は含まれない。

- 男性では、「受診勧奨判定値」は合計：15.7%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：25.2%、②建設業、不動産業・物品貯蔵業：17.8%、③情報通信業：17.4%となっている。
- また、「保健指導判定値」は合計：26.7%に対して、高い割合を示しているのは、①木製品・家具等製造業：28.8%、②複合サービス業：28.3%、③建設業：28.2%となっている。



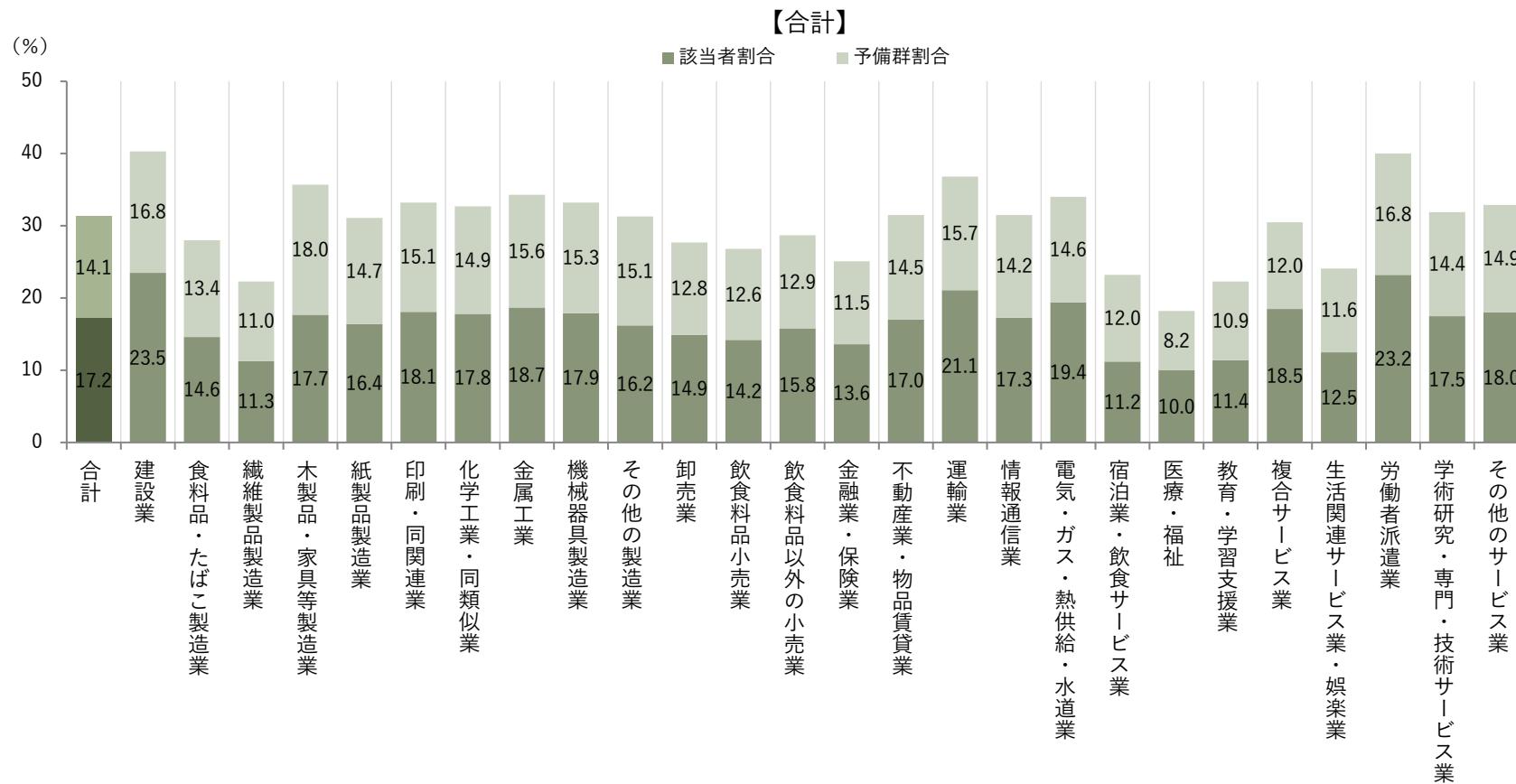
- 女性では、「受診勧奨判定値」は合計：4.4%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：11.1%、②紙製品製造業：5.0%、③建設業：4.9%となっている。
- また、「保健指導判定値」は合計：11.6%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：14.3%、②印刷・同関連業、飲食料品小売業：14.2%、③紙製品製造業：13.2%となっている。

【女性】



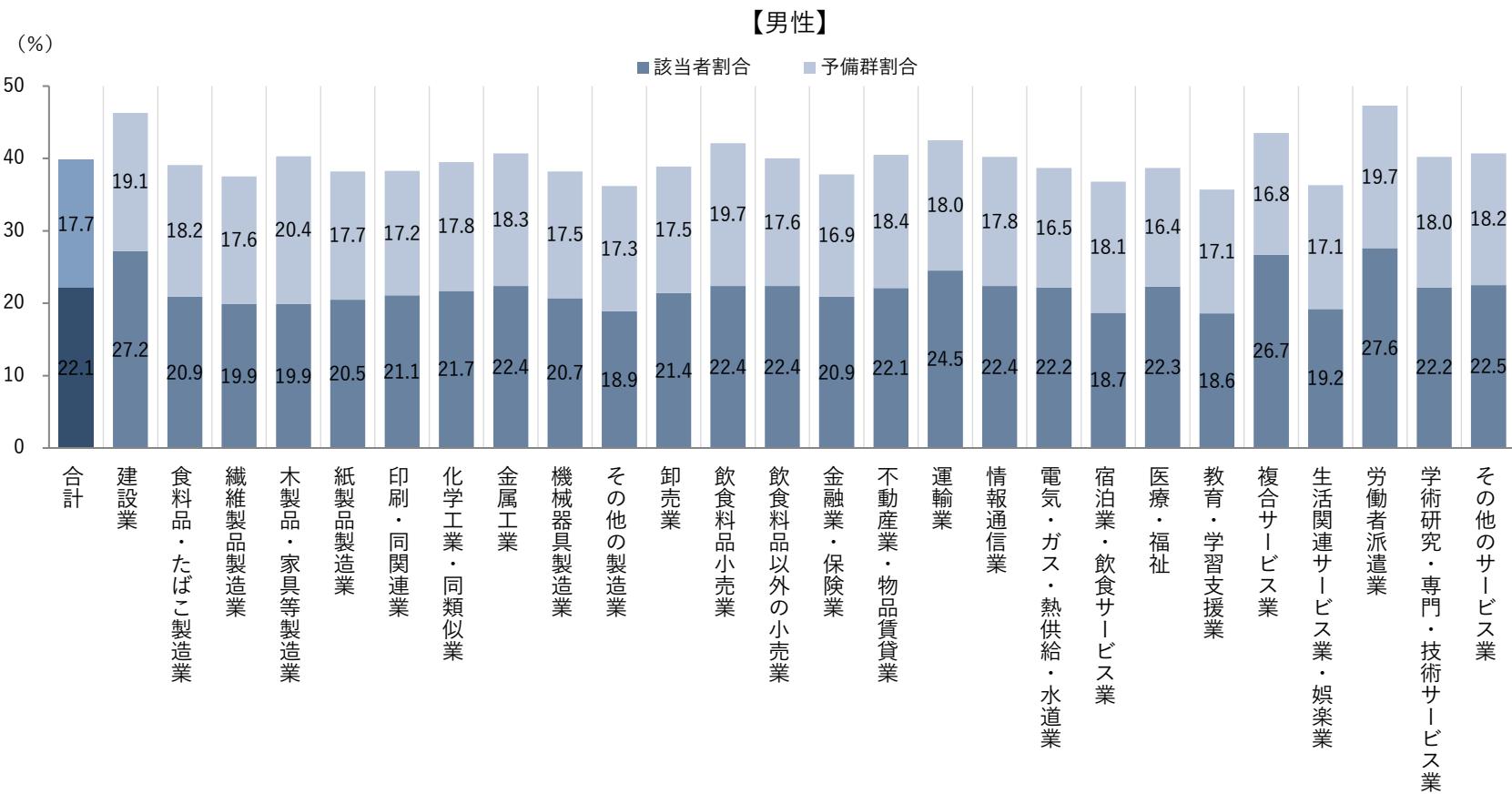
15. メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合※15

- 「メタボリックシンドローム」該当者の割合をみると、合計：17.2%に対して、高い割合を示しているのは、①建設業：23.5%、②労働者派遣業：23.2%、③運輸業：21.1%となっている。
- また、「予備群」の割合をみると、合計：14.1%に対して、高い割合を示しているのは、①木製品・家具等製造業：18.0%、②建設業、労働者派遣業：16.8%、③運輸業：15.7%となっている。



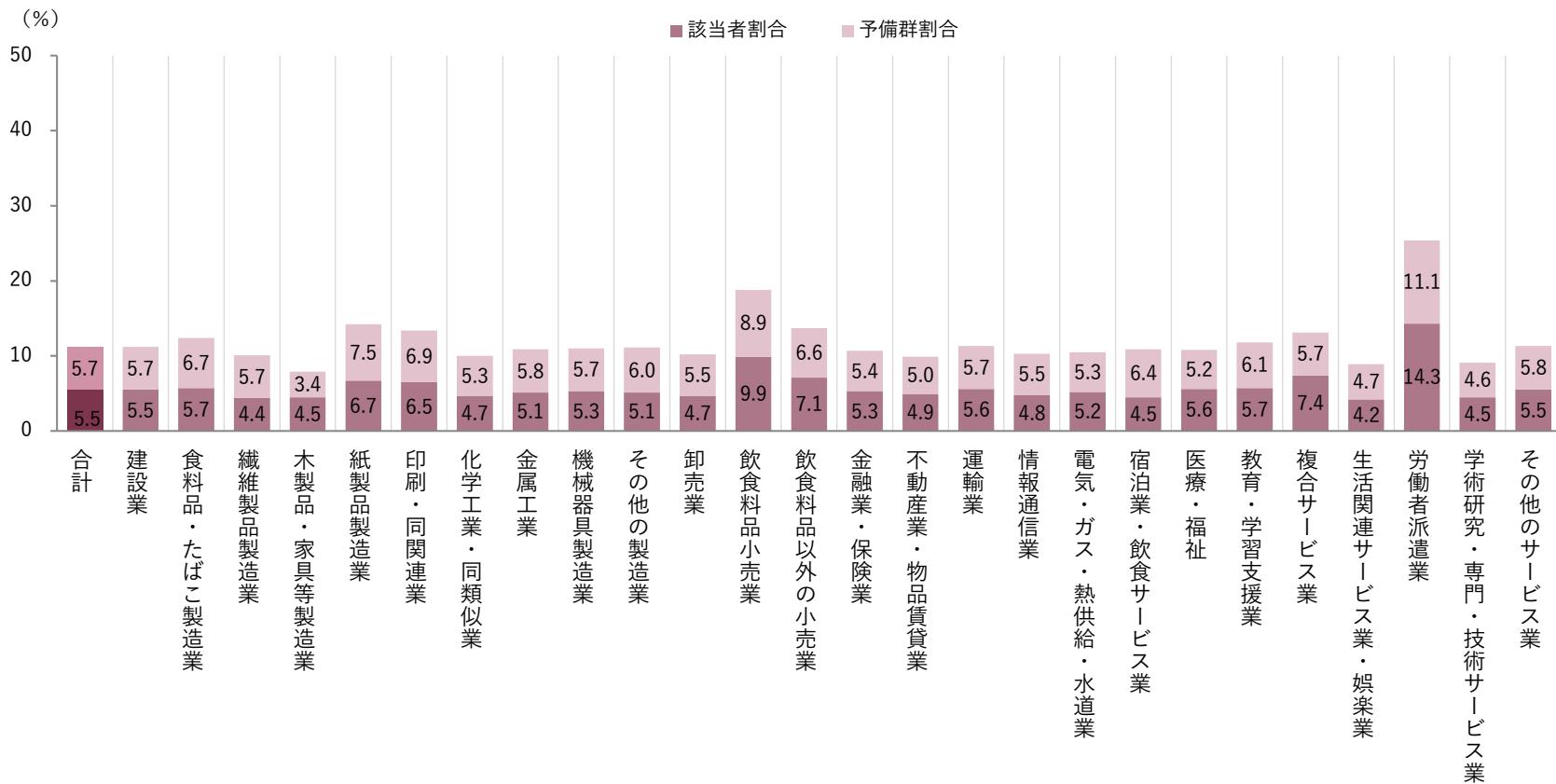
※15対象者数：308万8,472人（男性：216万9,005人、女性：91万9,467人）。未回答者を除く。なお、業態に該当する組合が存在しない「鉱石、採石業、砂利採取業」及び該当データの無い業態は含まれない。

- 男性では、「該当者」は合計：22.1%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：27.6%、②建設業：27.2%、③複合サービス業：26.7%となっている。
- また、「予備群」は合計：17.7%に対して、高い割合を示しているのは、①木製品・家具等製造業：20.4%、②飲食料品小売業、労働者派遣業：19.7%、③建設業：19.1%となっている。



- 女性では、「該当者」の合計：5.5%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：14.3%、②飲食料品小売業：9.9%、③複合サービス業：7.4%となっている。
- また、「予備群」の合計：5.7%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：11.1%、②飲食料品小売業：8.9%、③紙製品製造業：7.5%となっている。

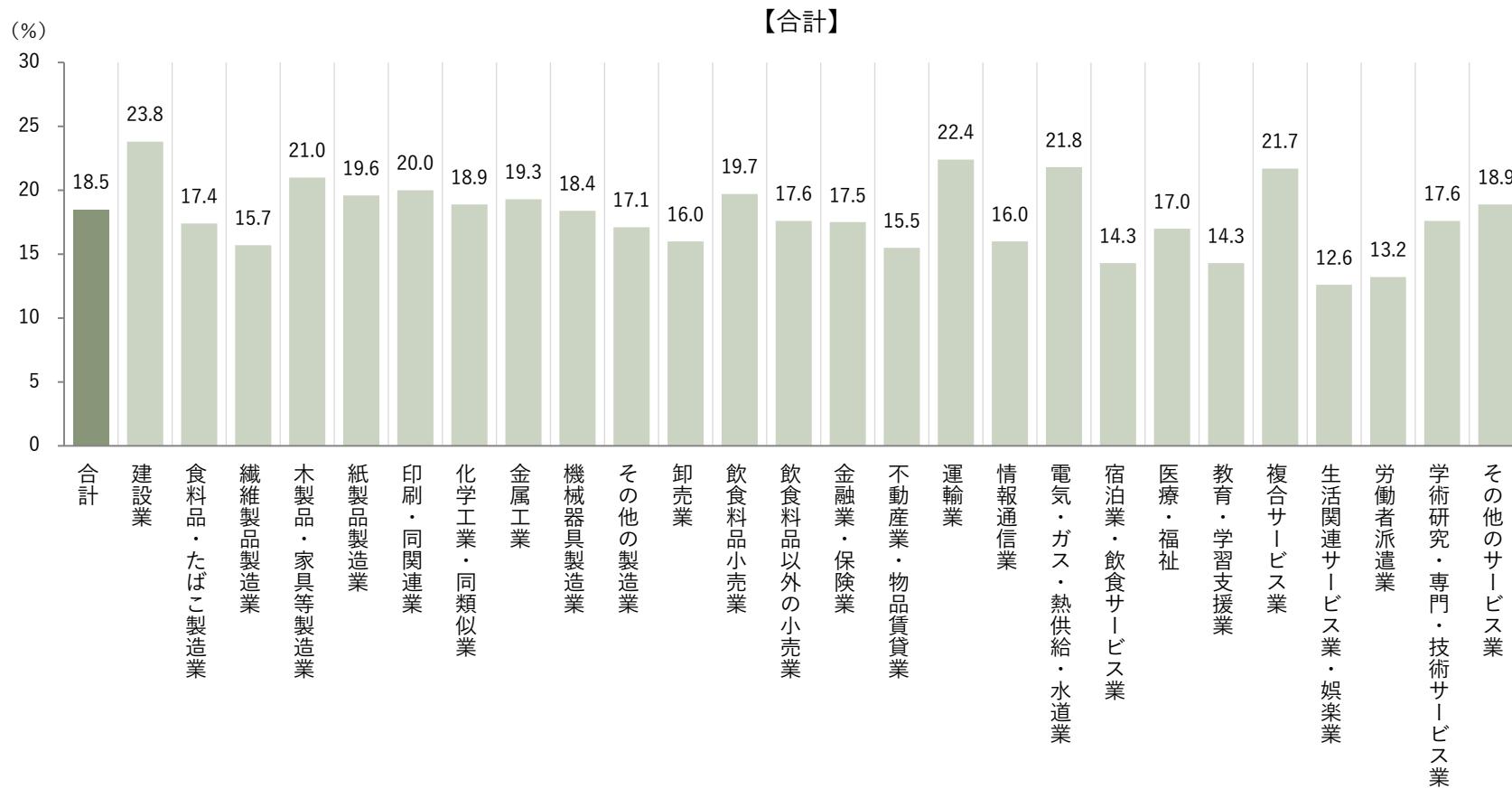
【女性】



第三部【医療受診状況】

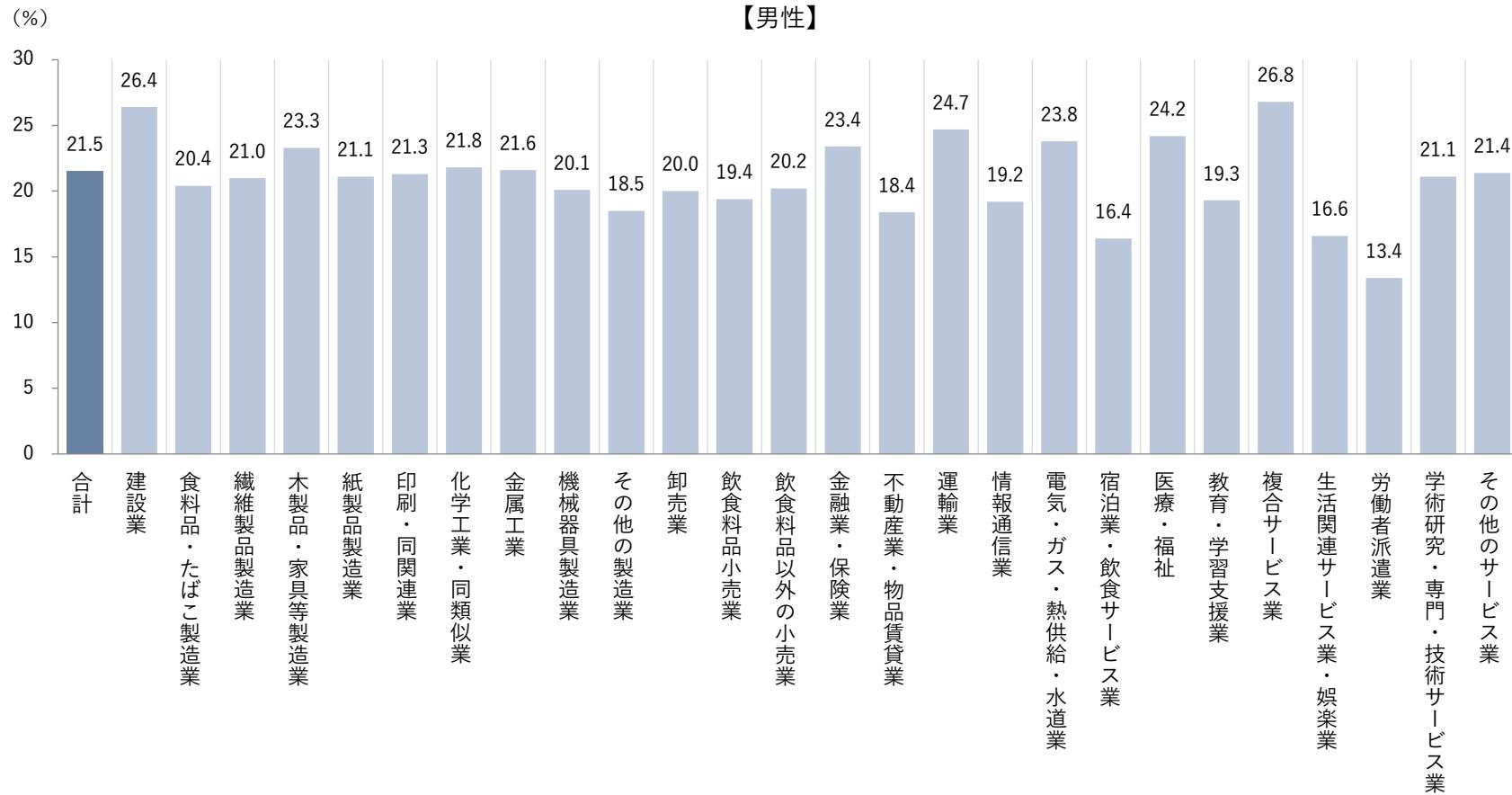
16. 血圧を下げる薬を使用している者の割合^{※16}

○「血圧を下げる薬」を使用している者の割合をみると、合計：18.5%に対して、高い割合を示しているのは、①建設業：23.8%、②運輸業：22.4%、③電気・ガス・熱供給・水道業：21.8%となっている。一方で、低い割合を示しているのは、①生活関連サービス業・娯楽業：12.6%、②労働者派遣業：13.2%、③宿泊業・飲食サービス業、教育・学習支援業：14.3%となっている。

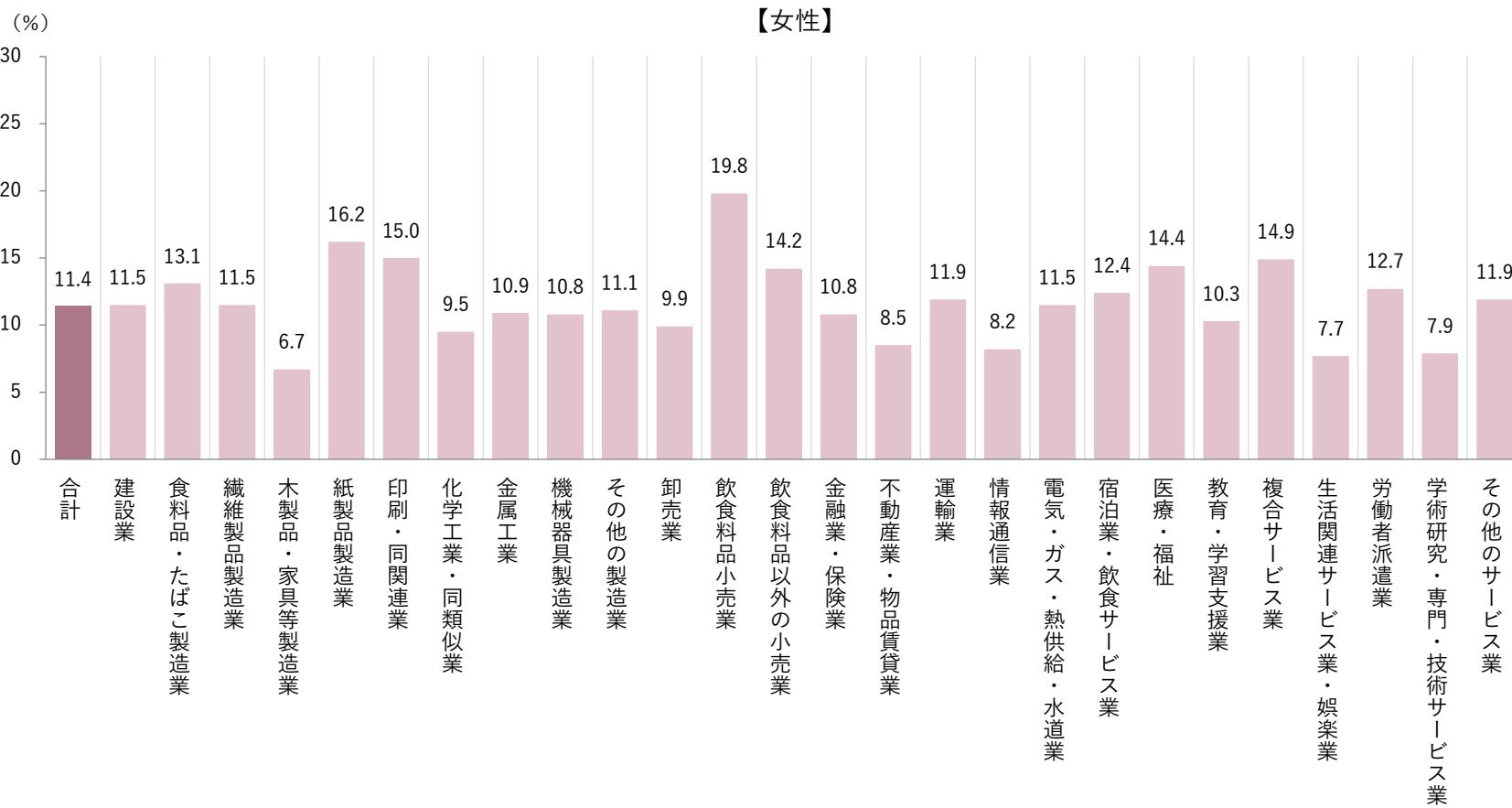


※16対象者数：308万8,861人（男性：216万8,804人、女性：92万57人）。未回答者を除く。なお、業態に該当する組合が存在しない「鉱石、採石業、砂利採取業」及び該当データの無い業態は含まれない。

○ 男性では合計：21.5%に対して、高い割合を示しているのは、①複合サービス業：26.8%、②建設業：26.4%、③運輸業：24.7%となって いる。

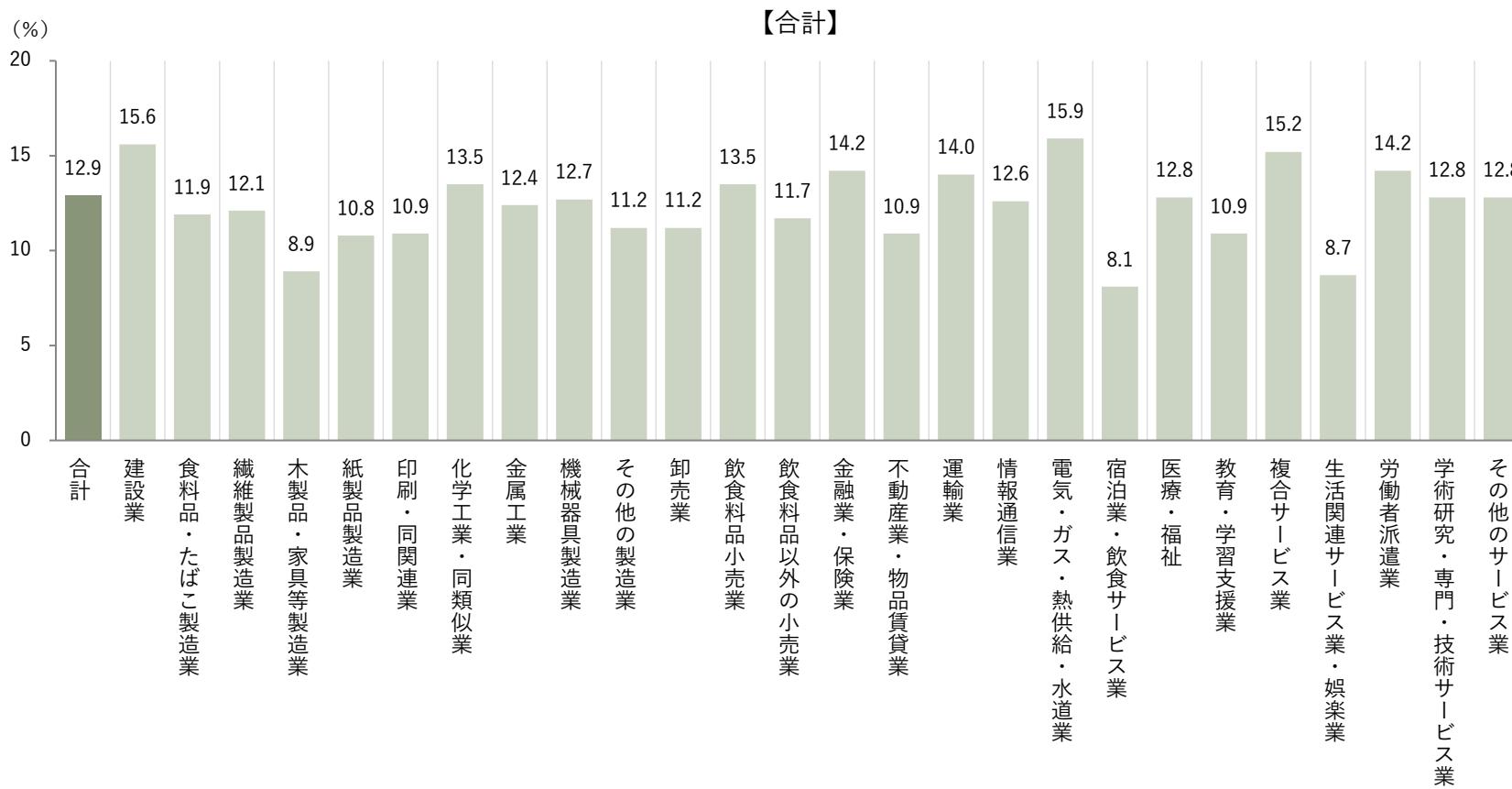


○ 女性では合計：11.4%に対して、高い割合を示しているのは、①飲食料品小売業：19.8%、②紙製品製造業：16.2%、③印刷・同関連業：15.0%となっている。



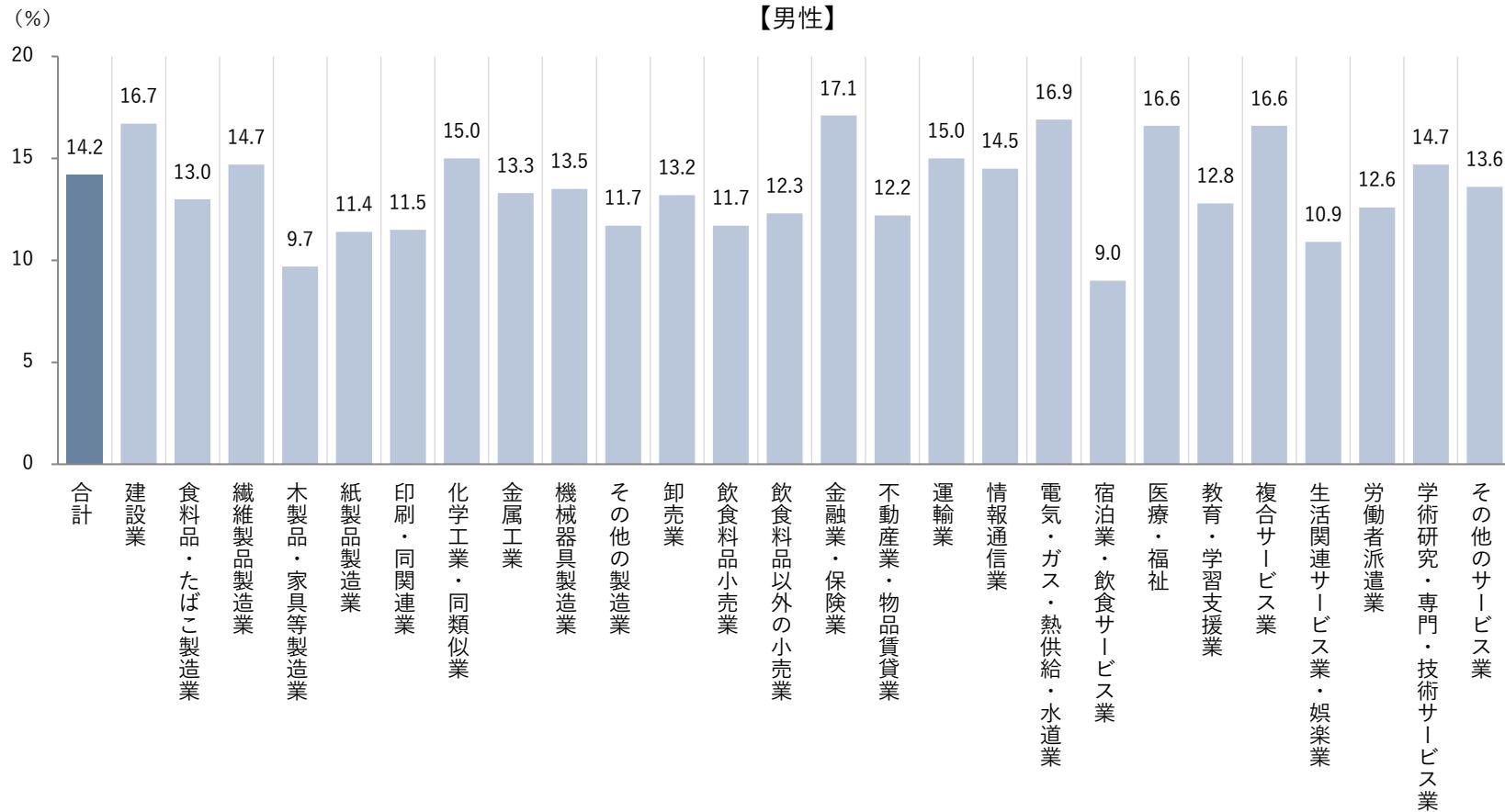
17. コレステロールを下げる薬を使用している者の割合※17

- 「コレステロールを下げる薬」を使用している者の割合をみると、合計：12.9%に対して、高い割合を示しているのは、①電気・ガス・熱供給・水道業：15.9%、②建設業：15.6%、③複合サービス業：15.2%となっている。一方で、低い割合を示しているのは、①宿泊業・飲食サービス業：8.1%、②生活関連サービス業・娯楽業：8.7%、③木製品・家具等製造業：8.9%となっている。

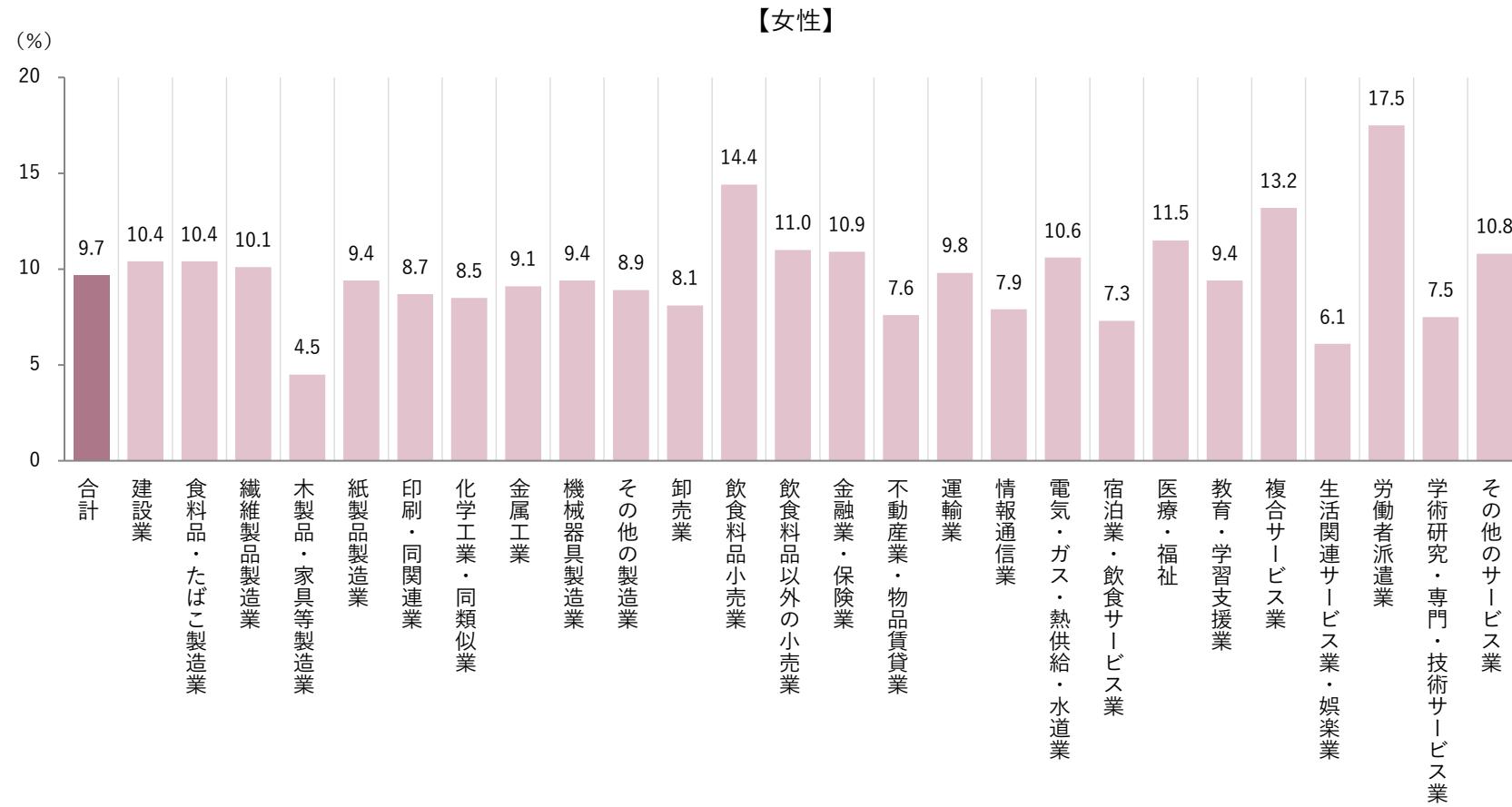


※17 対象者数：308万8,846人（男性：216万8,793人、女性：92万53人）。未回答者を除く。なお、業態に該当する組合が存在しない「鉱石、採石業、砂利採取業」及び該当データの無い業態は含まれない。

○ 男性では合計：14.2%に対して、高い割合を示しているのは、①金融業・保険業：17.1%、②電気・ガス・熱供給・水道業：16.9%、③建設業：16.7%となっている。

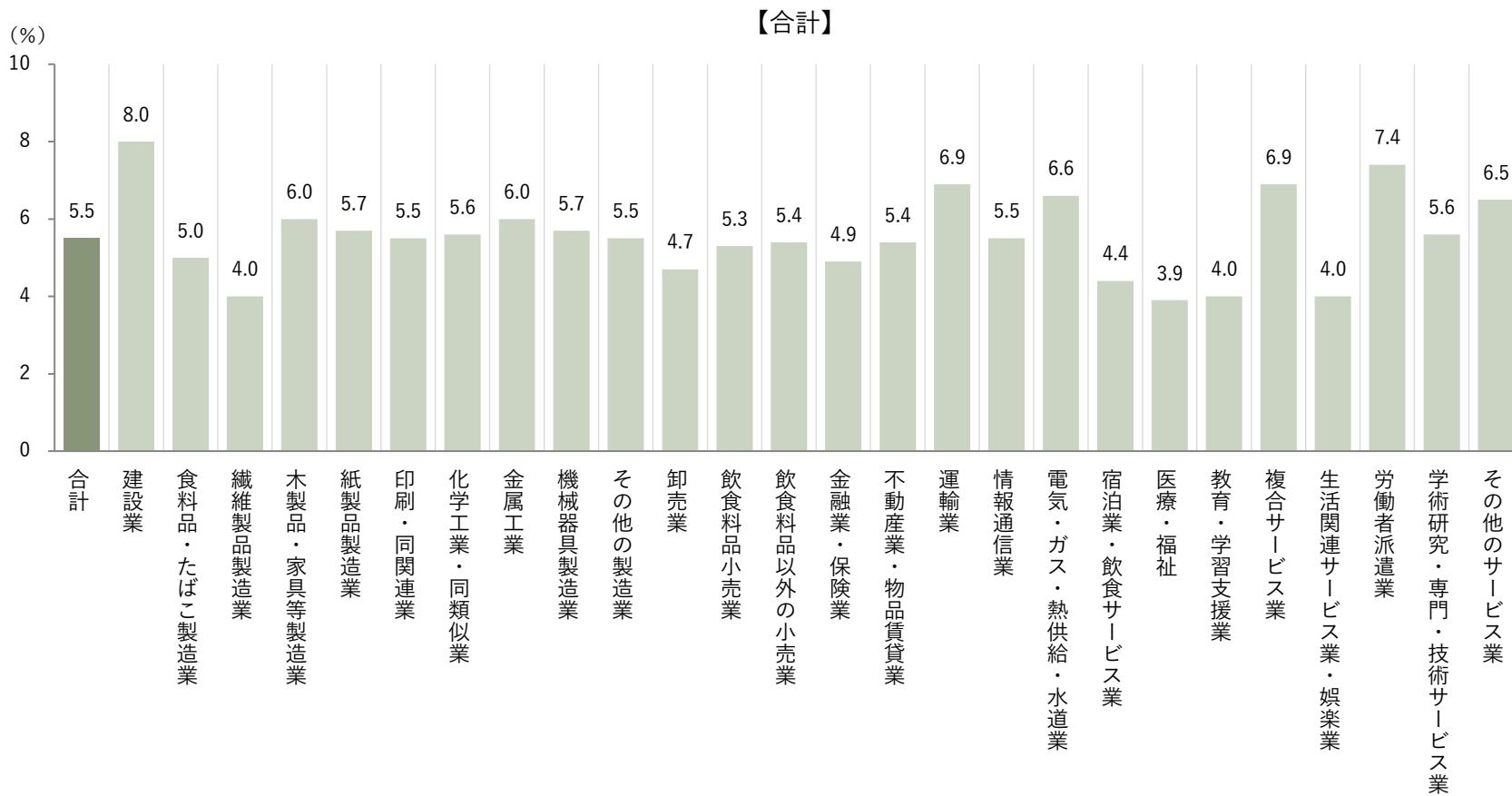


○ 女性では合計：9.7%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：17.5%、②飲食料品小売業：14.4%、③複合サービス業：13.2%となっている。



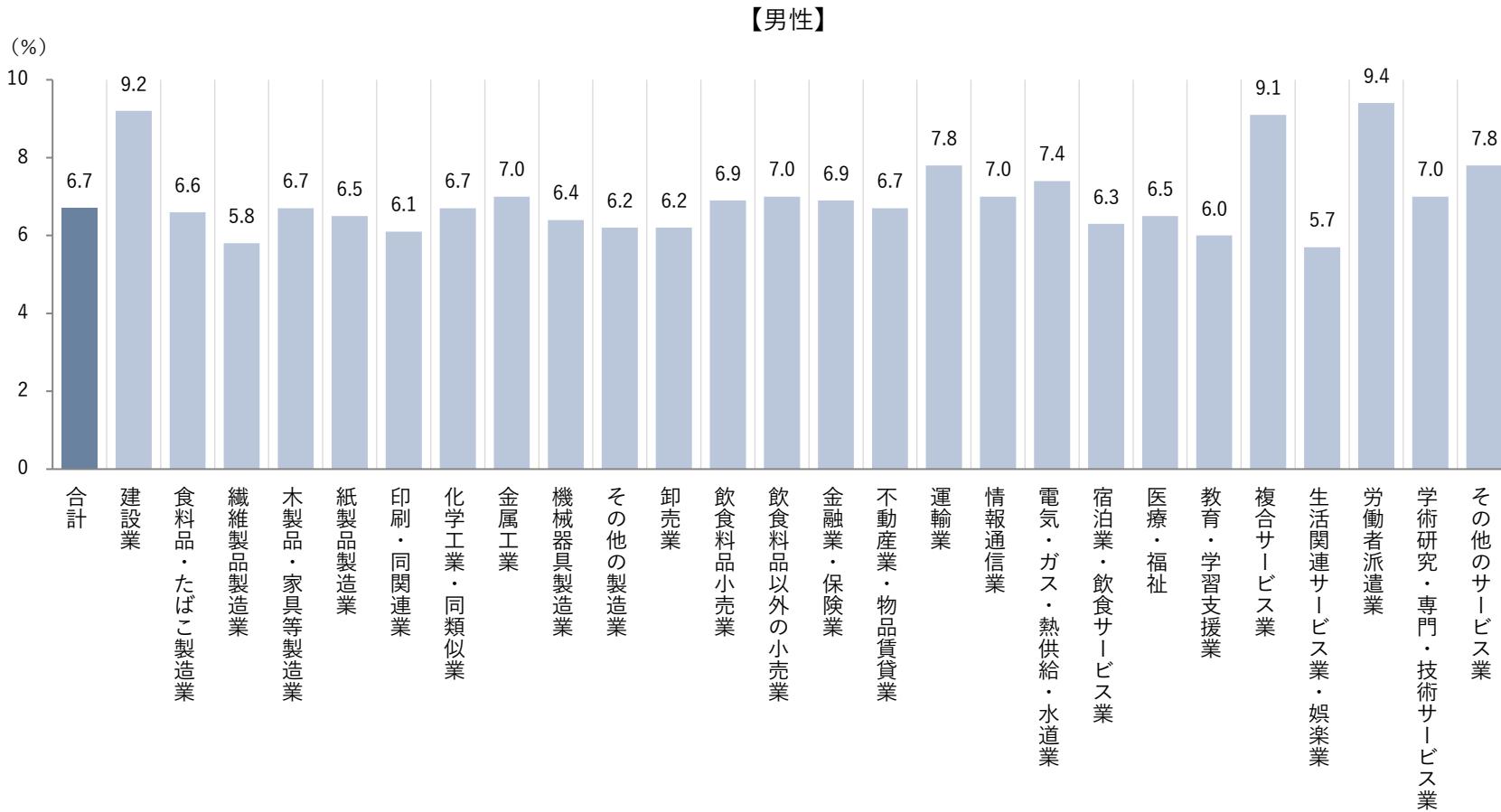
18. インスリン注射または血糖を下げる薬を使用している者の割合※18

- 「インスリン注射または血糖を下げる薬」を使用している者の割合をみると、合計：5.5%に対して、高い割合を示しているのは、①建設業：8.0%、②労働者派遣業：7.4%、③運輸業、複合サービス業：6.9%となっている。一方で、低い割合を示しているのは、①医療・福祉：3.9%、②繊維製品製造業、教育・学習支援業、生活関連サービス業・娯楽業：4.0%、③宿泊業・飲食サービス業：4.4%となっている。



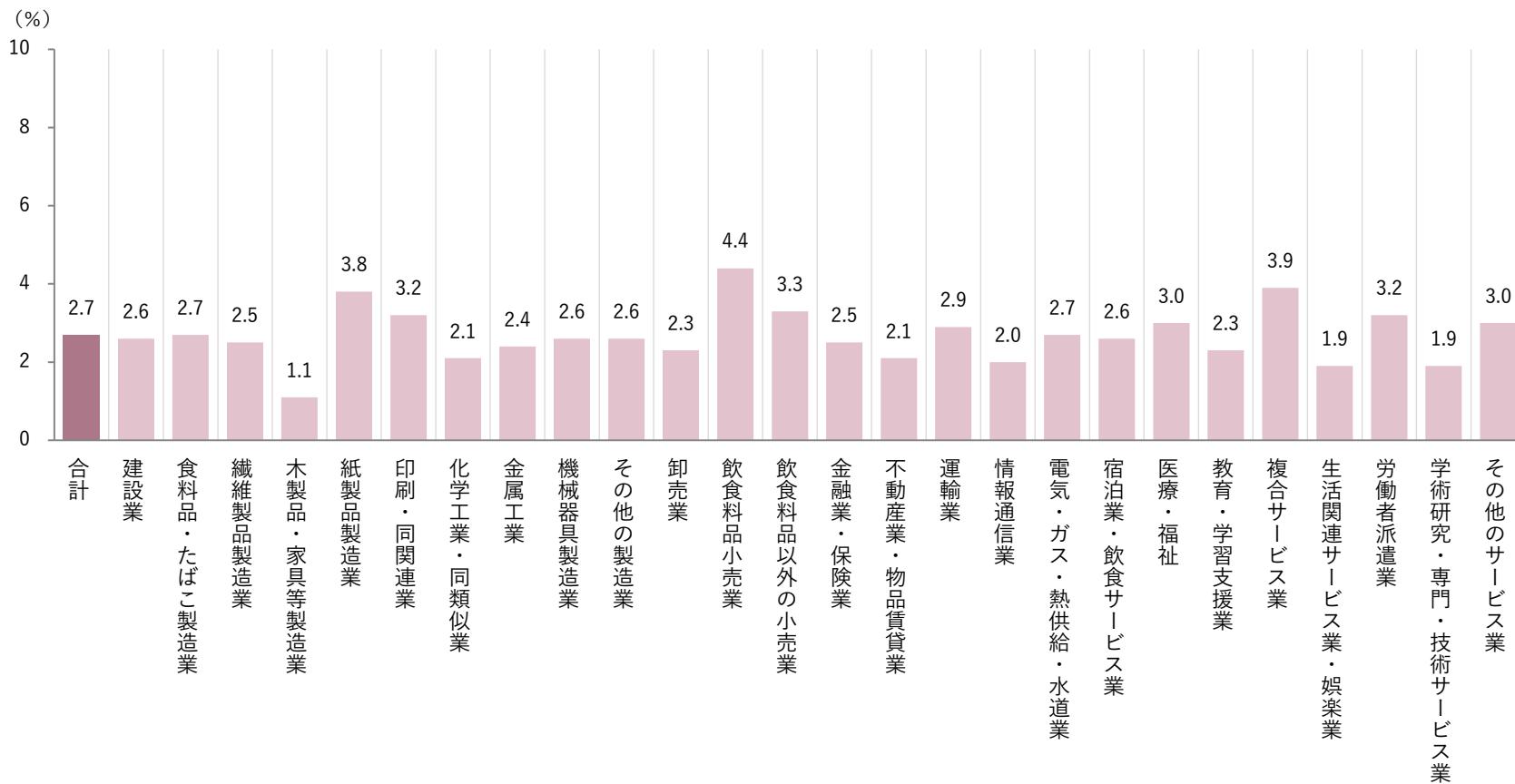
※18対象者数：344万2,176人（男性：237万188人、女性：107万1,988人）。未回答者を除く。なお、業態に該当する組合が存在しない「鉱石、採石業、砂利採取業」及び該当データの無い業態は含まれない。

○ 男性では合計：6.7%に対して、高い割合を示しているのは、①労働者派遣業：9.4%、②建設業：9.2%、③複合サービス業：9.1%となっている。



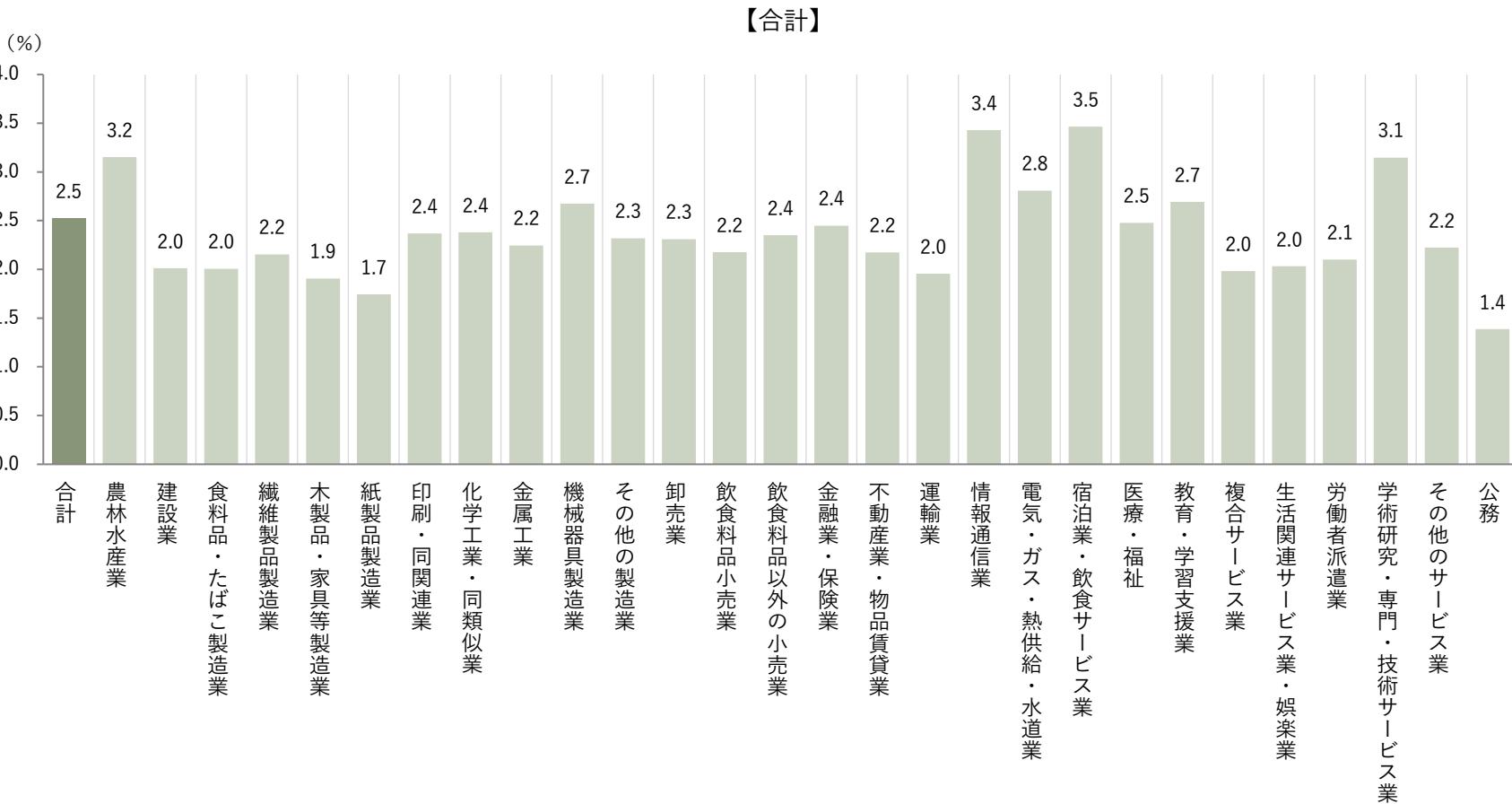
○ 女性では合計：2.7%に対して、高い割合を示しているのは、①飲食料品小売業：4.4%、②複合サービス業：3.9%、③紙製品製造業：3.8%となっている。

【女性】



19. 気分（感情）障害（躁うつ病を含む）の入院外の受診者割合※19（年間平均）

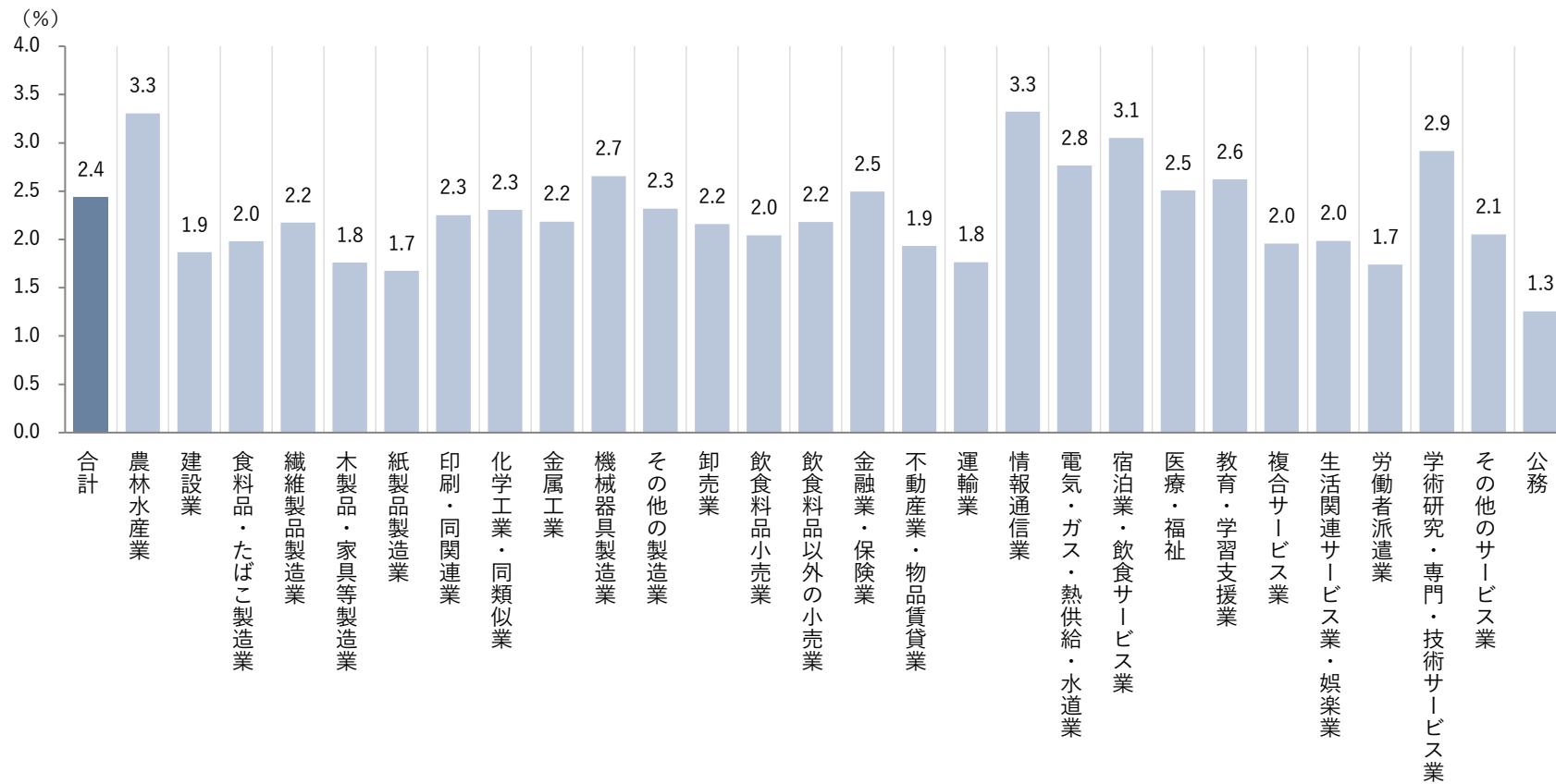
- 「気分（感情）障害（躁うつ病を含む）」の被保険者に占める入院外の受診者割合（年間平均）をみると、合計：2.5%に対して、高い割合を示しているのは、①宿泊業・飲食サービス業：3.5%、②情報通信業：3.4%、③農林水産業：3.2%となっている。一方で、低い割合を示しているのは、①公務：1.4%、②紙製品製造業：1.7%、③木製品・家具等製造業：1.9%となっている。



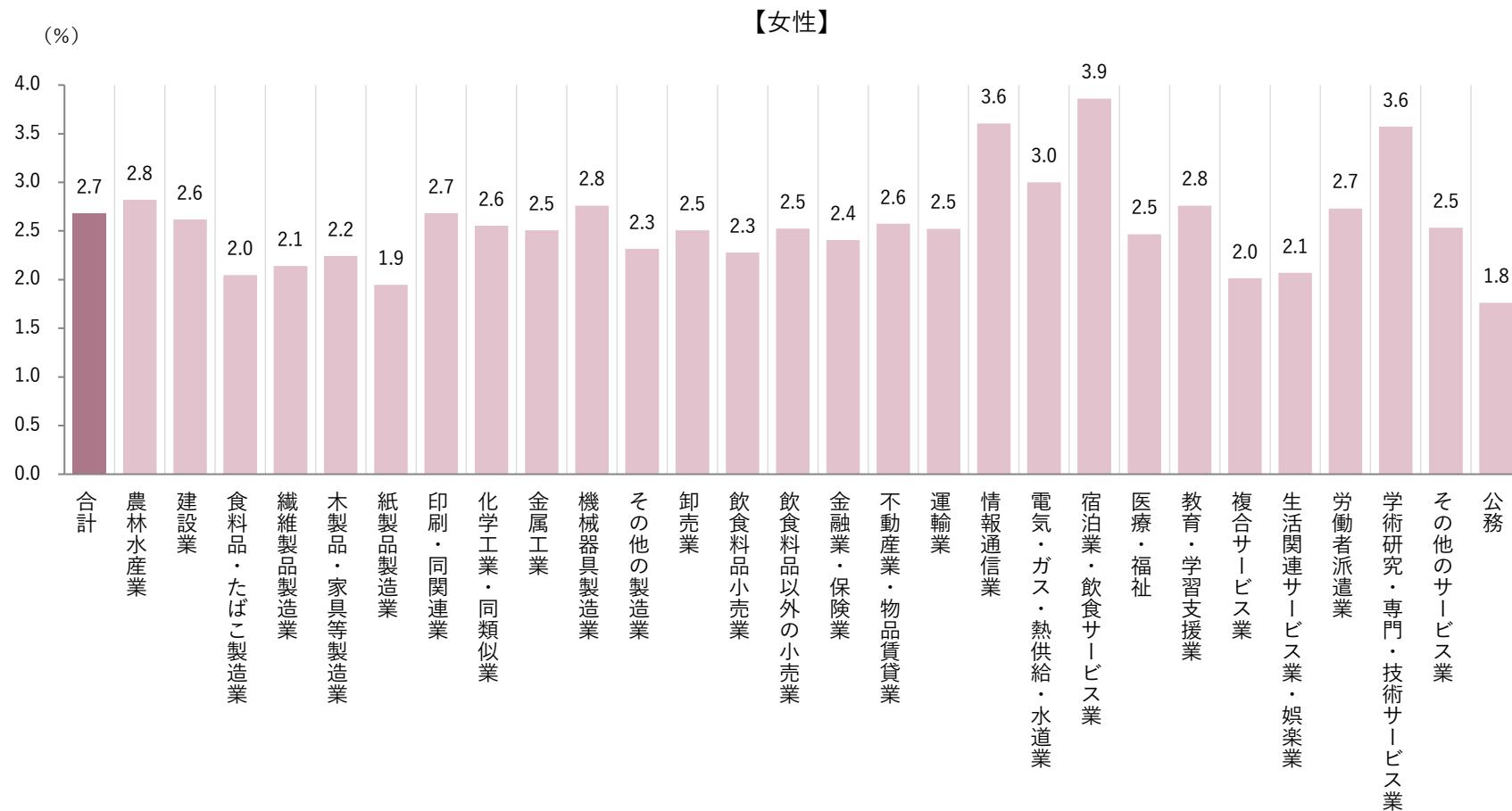
※19 割合を算出する際に用いた受診者数は、月別の受診者数の累積を12ヶ月で除した年間平均受診者数であり、受診者割合は、年間平均加入者に占める年間平均受診者数の割合である。また、データが無い業態については集計の対象外とする（以下、同じ）。なお、対象レセプトデータについてはp.2を参照。

○ 男性では合計：2.4%に対して、高い割合を示しているのは、①農林水産業、情報通信業：3.3%、②宿泊業・飲食サービス業：3.1%、③学術研究・専門・技術サービス業：2.9%となっている。

【男性】

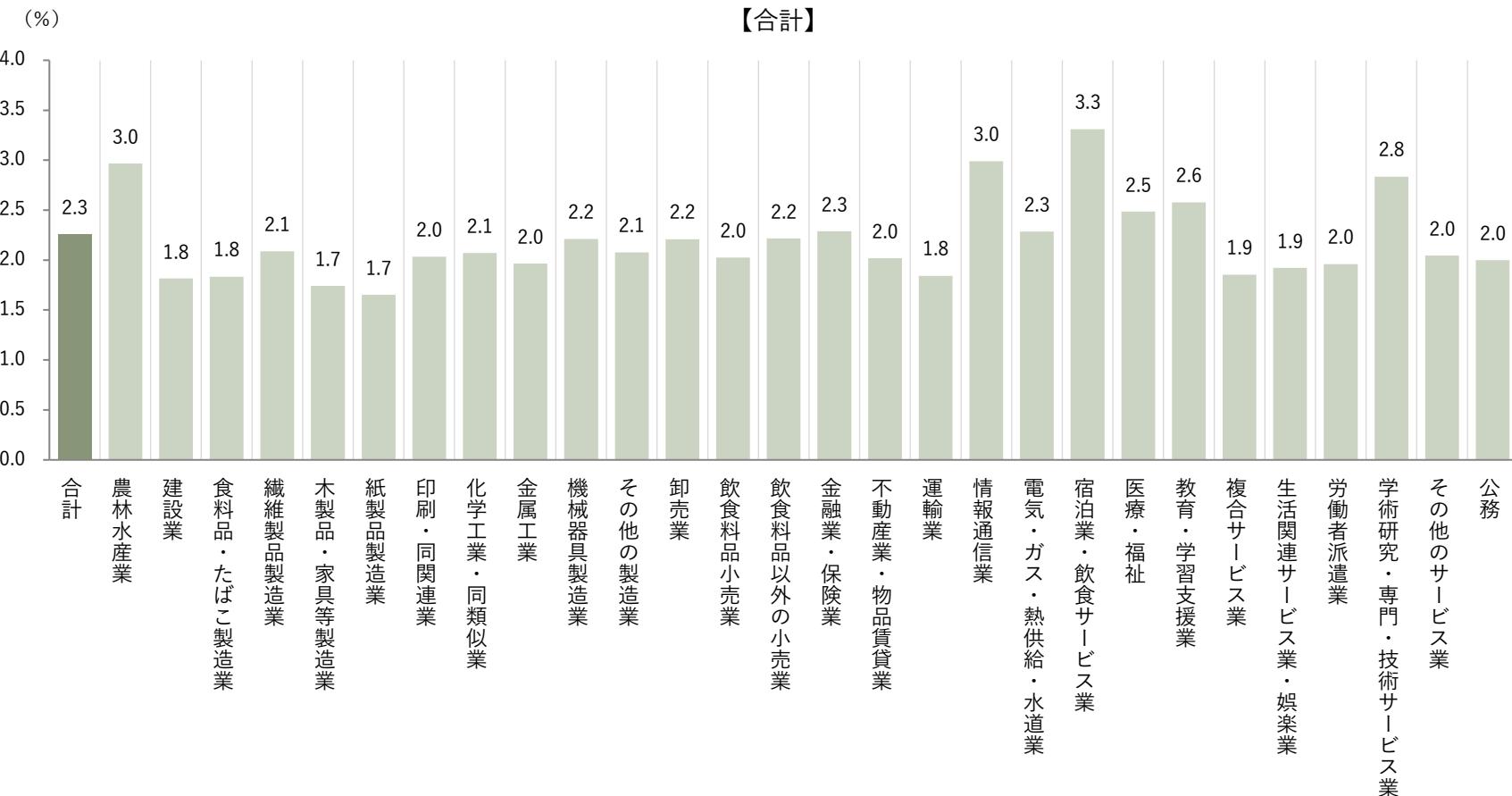


○ 女性では合計：2.7%に対して、高い割合を示しているのは、①宿泊業・飲食サービス業：3.9%、②情報通信業、学術研究・専門・技術サービス業：3.6%、③電気・ガス・熱供給・水道業：3.0%となっている。

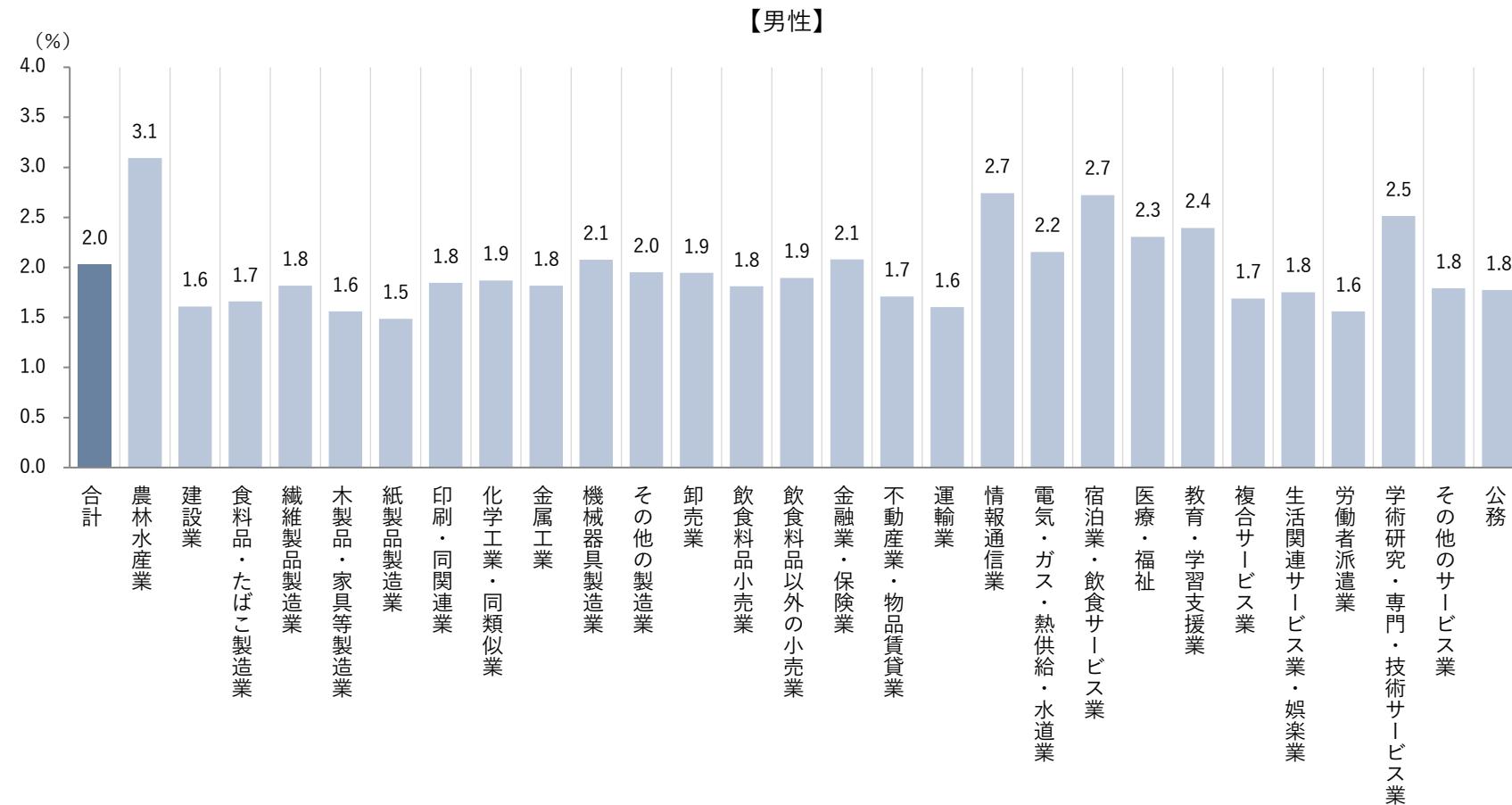


20. 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害の入院外の受診者割合（年間平均）

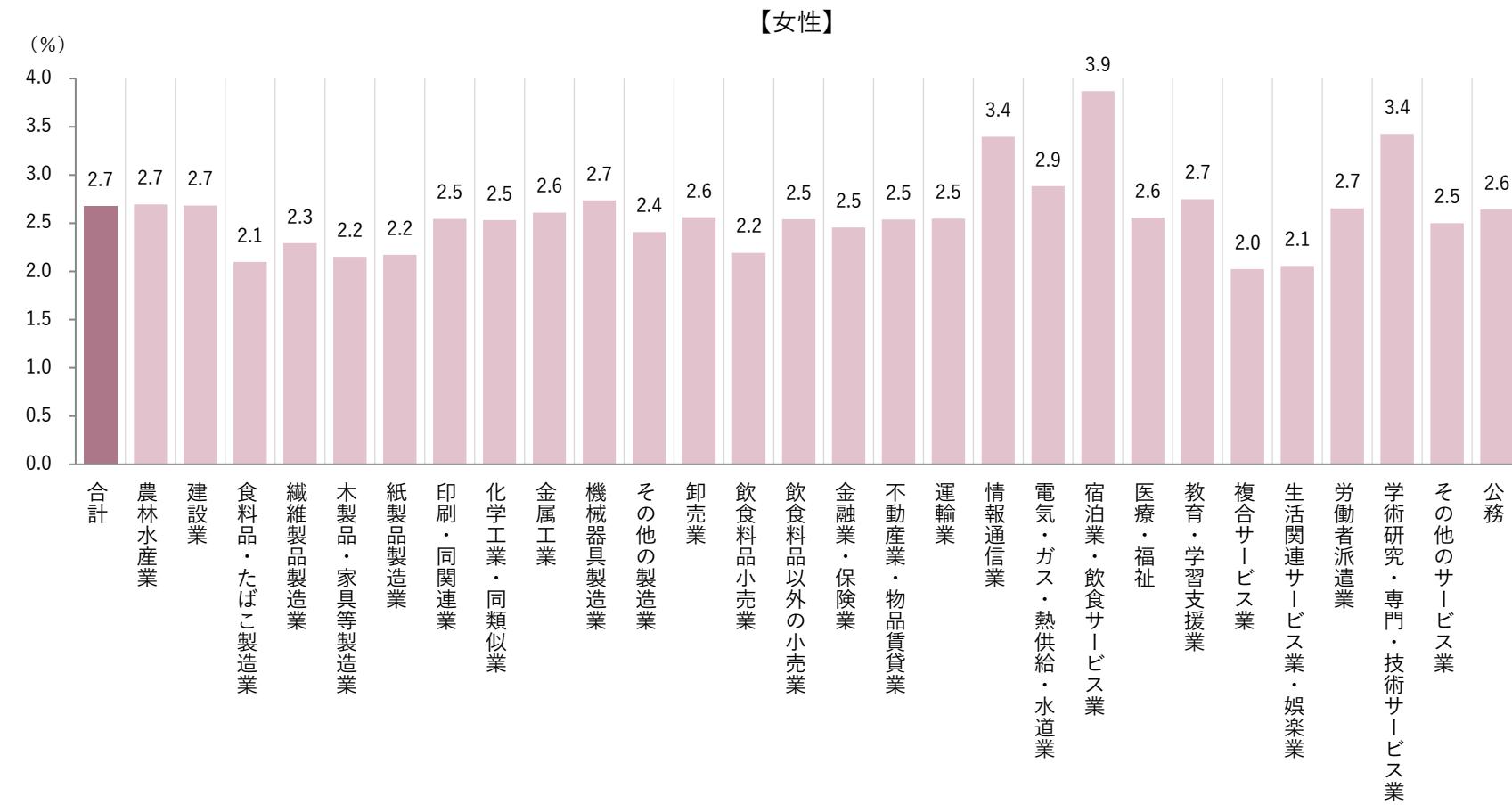
○ 「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の被保険者に占める入院外の受診者割合（年間平均）をみると、合計：2.3%に対して、高い割合を示しているのは、①宿泊業・飲食サービス業：3.3%、②農林水産業、情報通信業：3.0%、③学術研究・専門・技術サービス業：2.8%となっている。一方で、低い割合を示しているのは、①木製品・家具等製造業、紙製品製造業：1.7%、②建設業、食料品・たばこ製造業、運輸業：1.8%、③複合サービス業、生活関連サービス業・娯楽業：1.9%となっている。



- 男性では合計：2.0%に対して、高い割合を示しているのは、①農林水産業：3.1%、②情報通信業、宿泊業・飲食サービス業：2.7%、③学術研究・専門・技術サービス業：2.5%となっている。

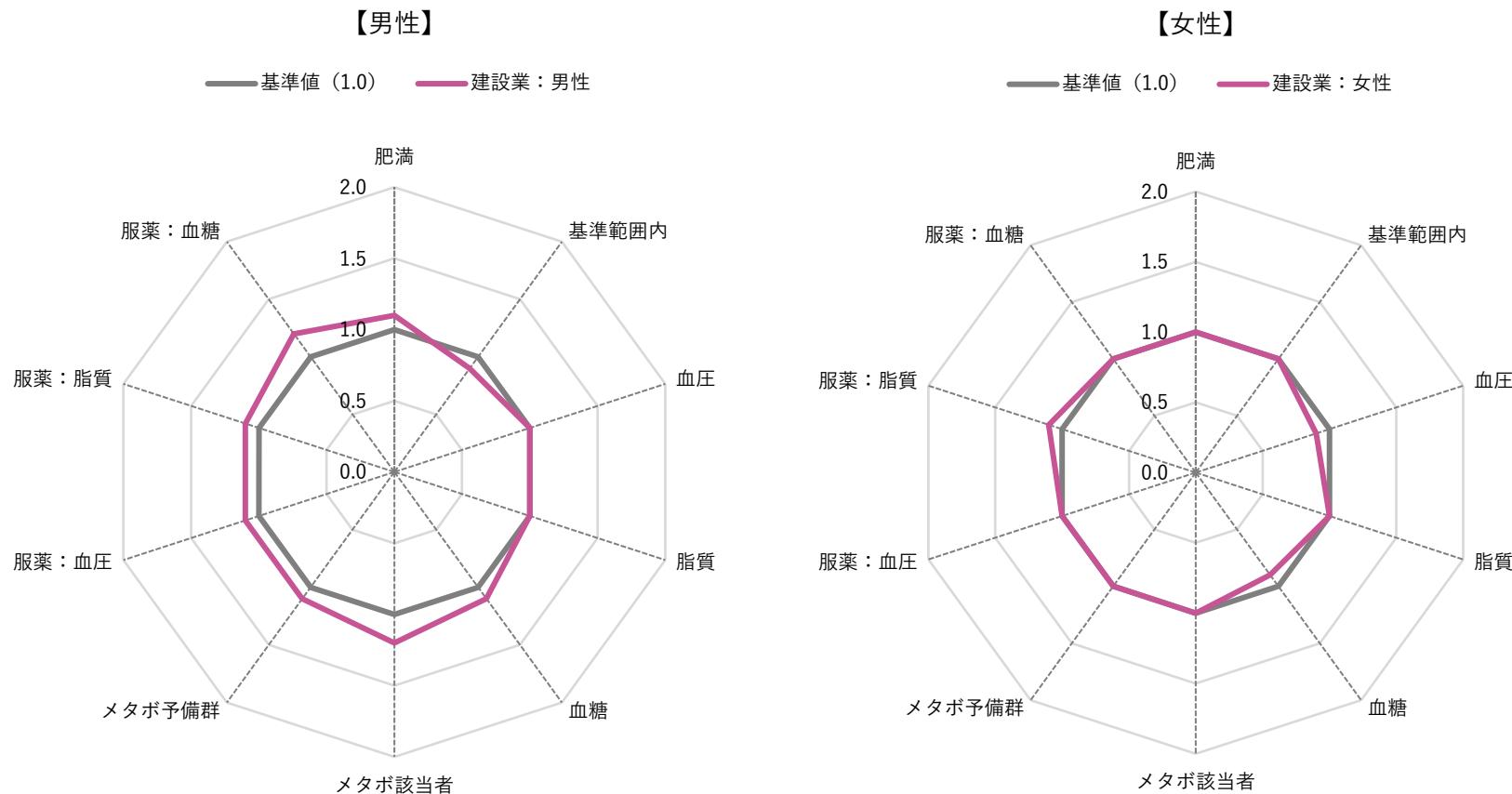


○ 女性では合計：2.7%に対して、高い割合を示しているのは、①宿泊業・飲食サービス業：3.9%、②情報通信業、学術研究・専門・技術サービス業：3.4%、③電気・ガス・熱供給・水道業：2.9%となっている。



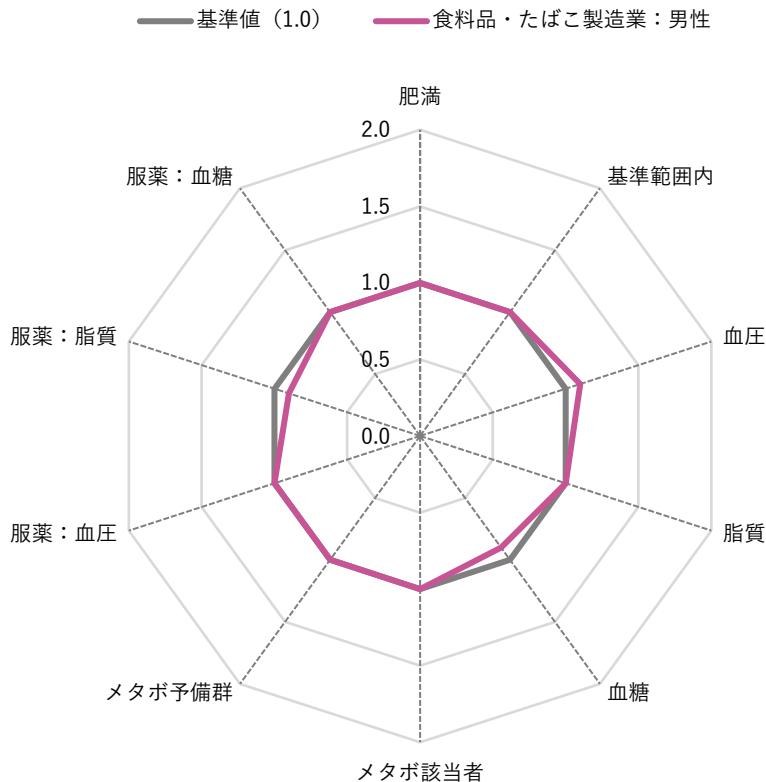
第四部【健診検査値及び問診回答・業態別年齢調整指数レーダーチャート】

【建設業】

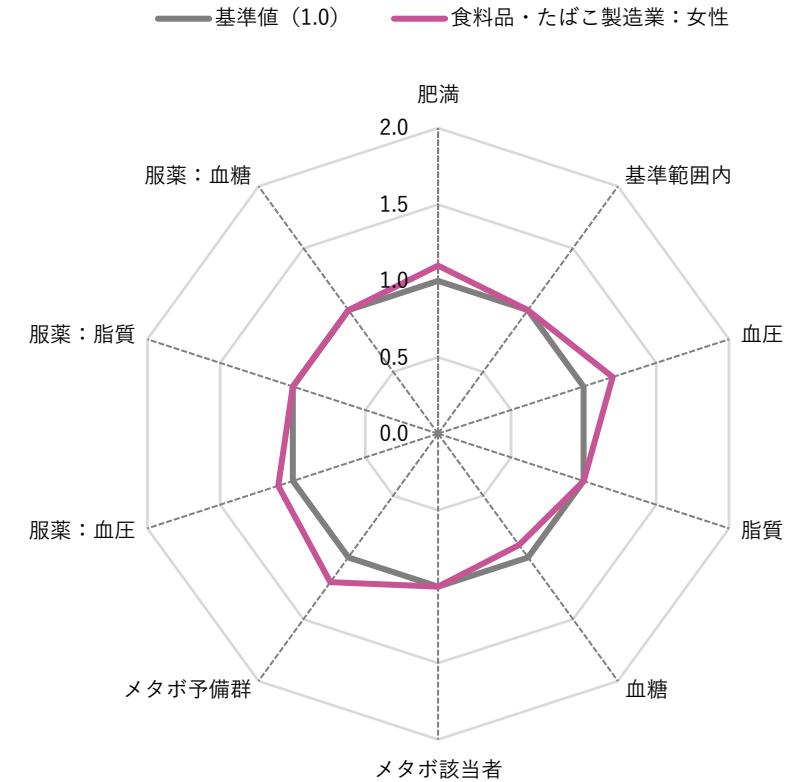


【食料品・たばこ製造業】

【男性】

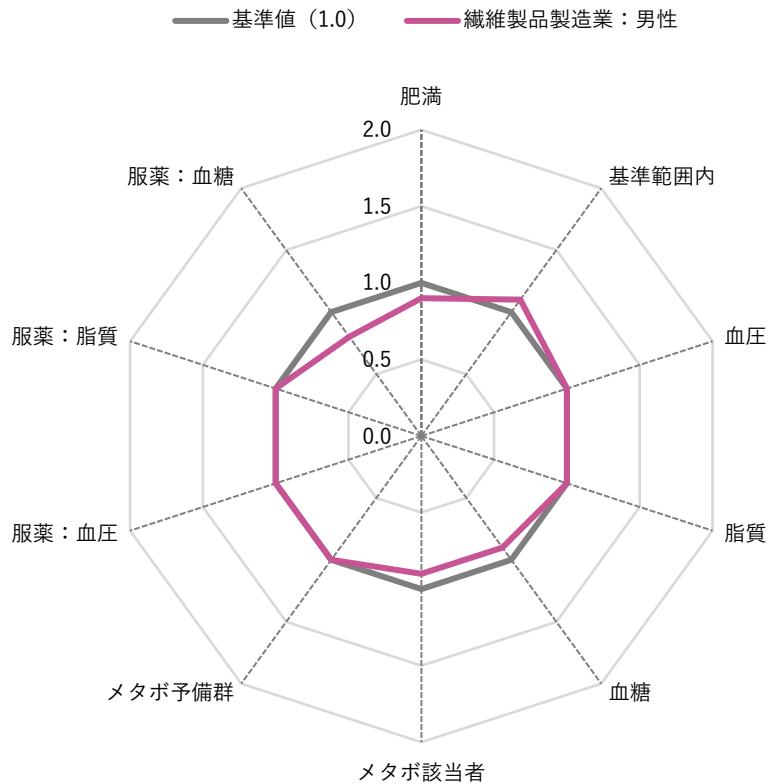


【女性】

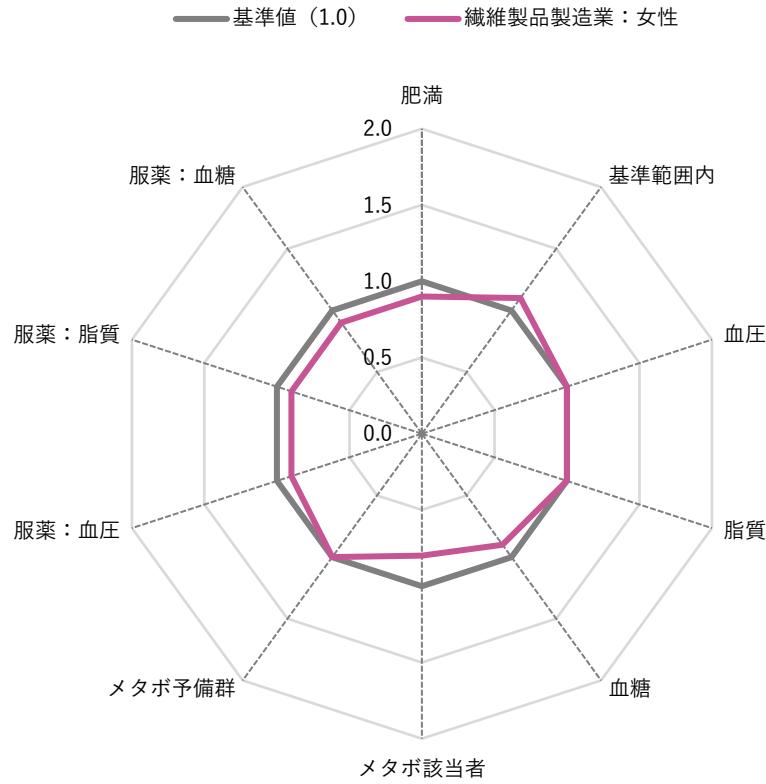


【繊維製品製造業】

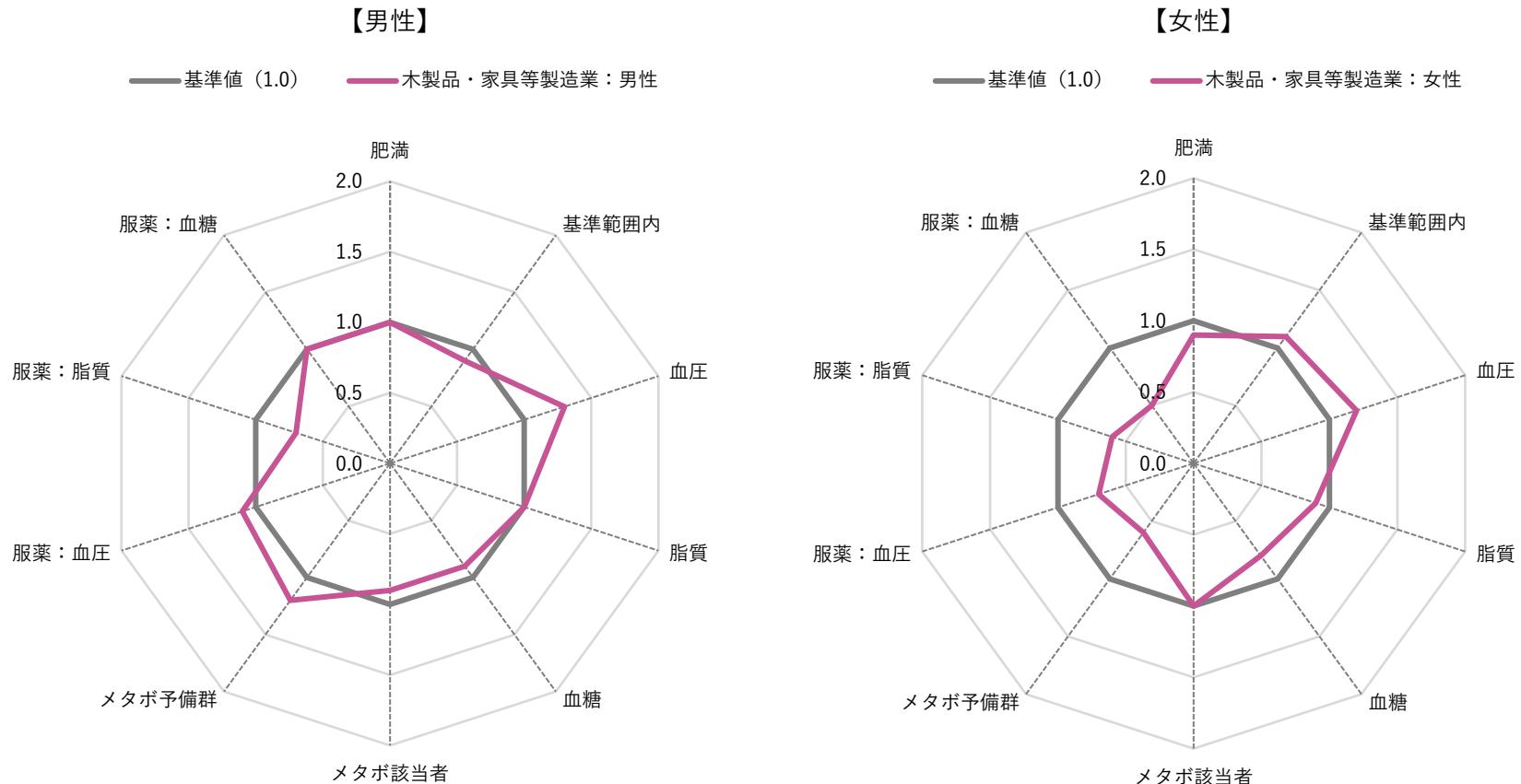
【男性】



【女性】

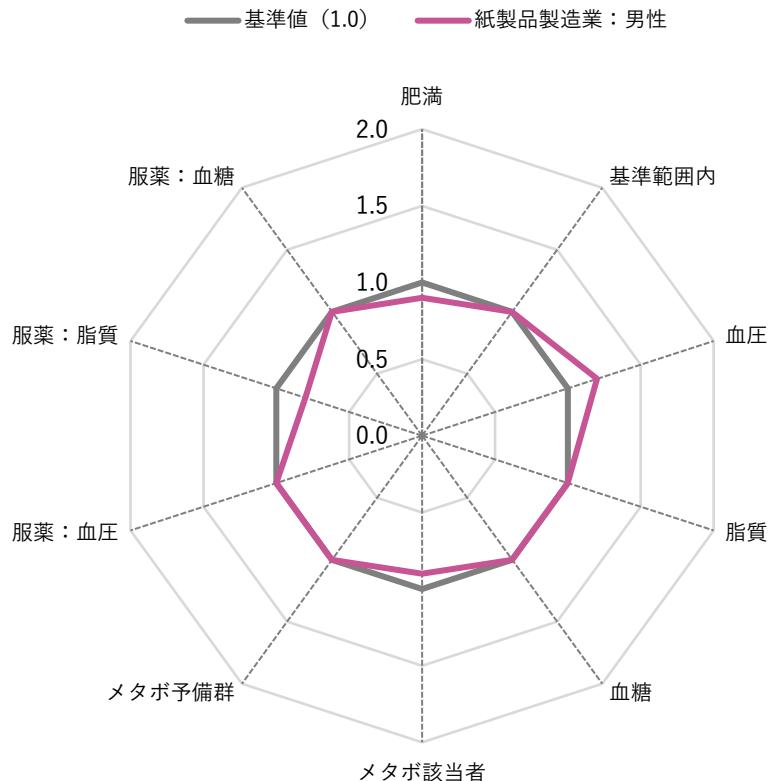


【木製品・家具等製造業】

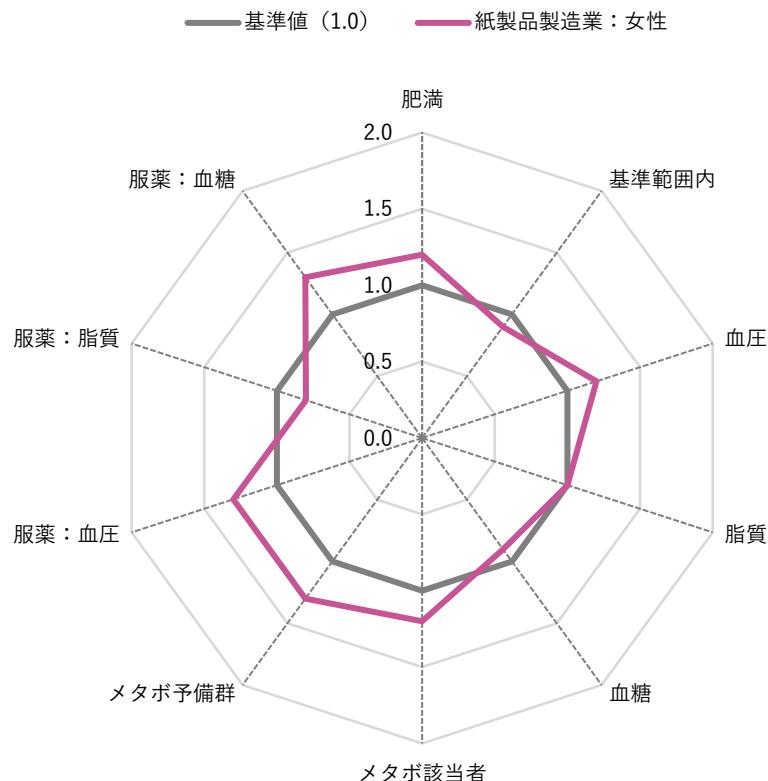


【紙製品製造業】

【男性】

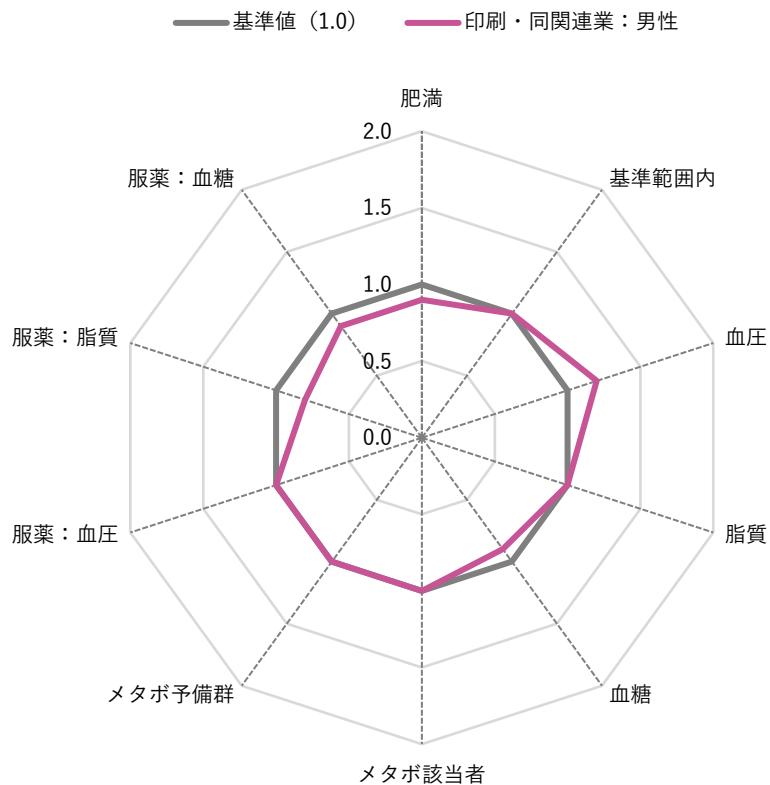


【女性】

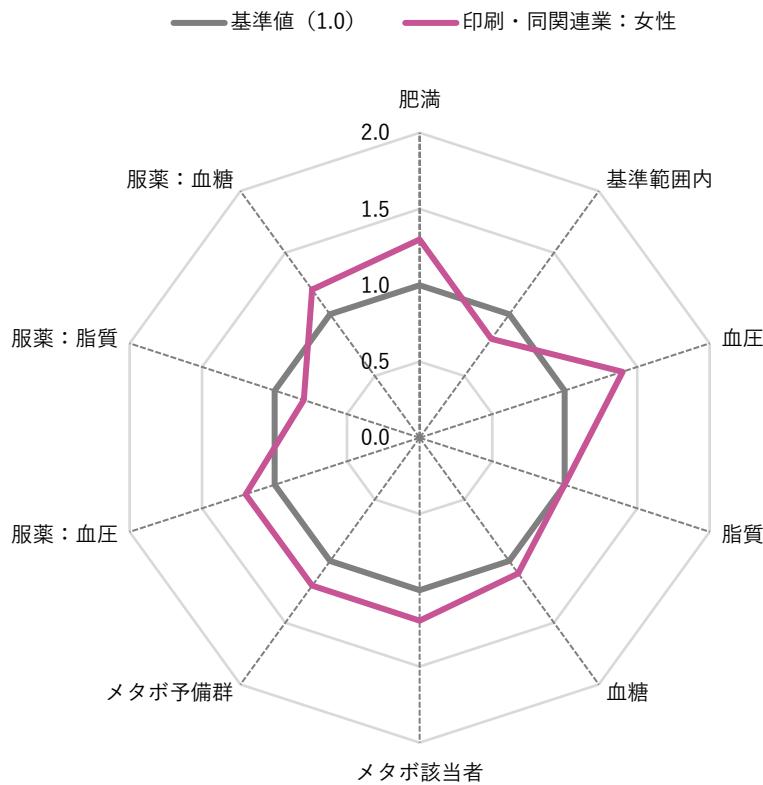


【印刷・同関連業】

【男性】

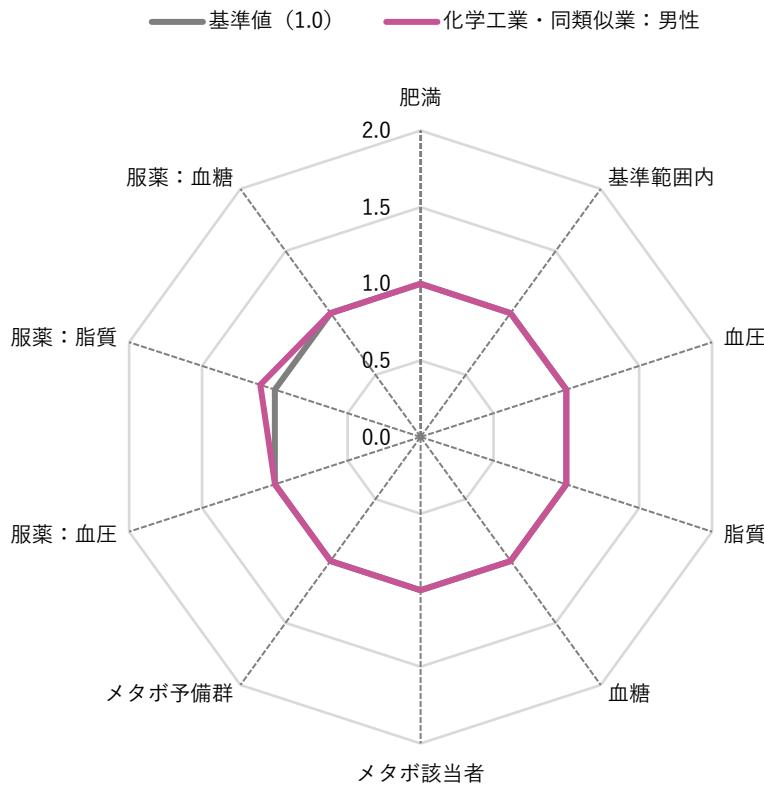


【女性】

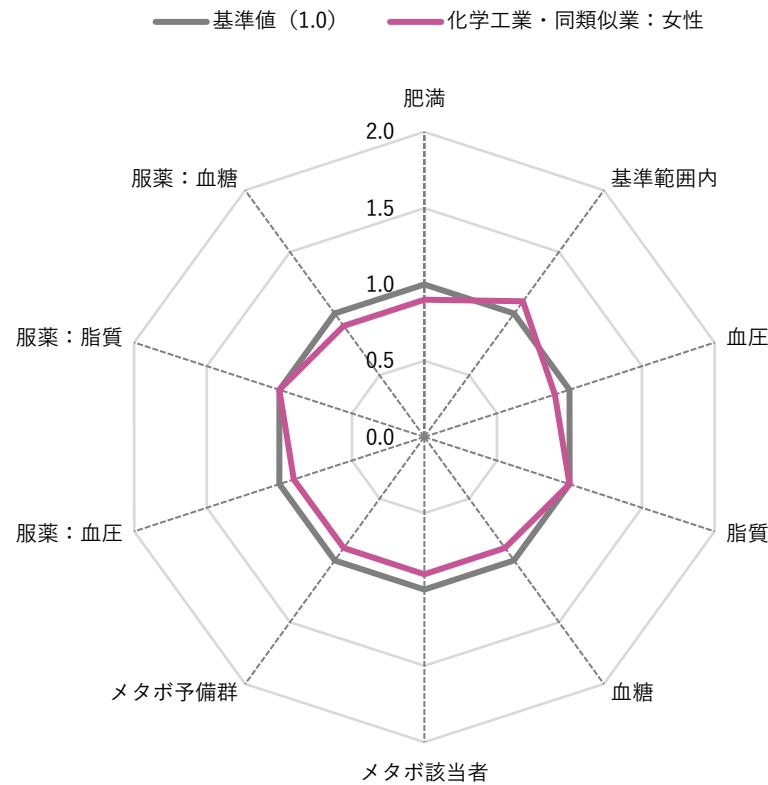


【化学工業・同類似業】

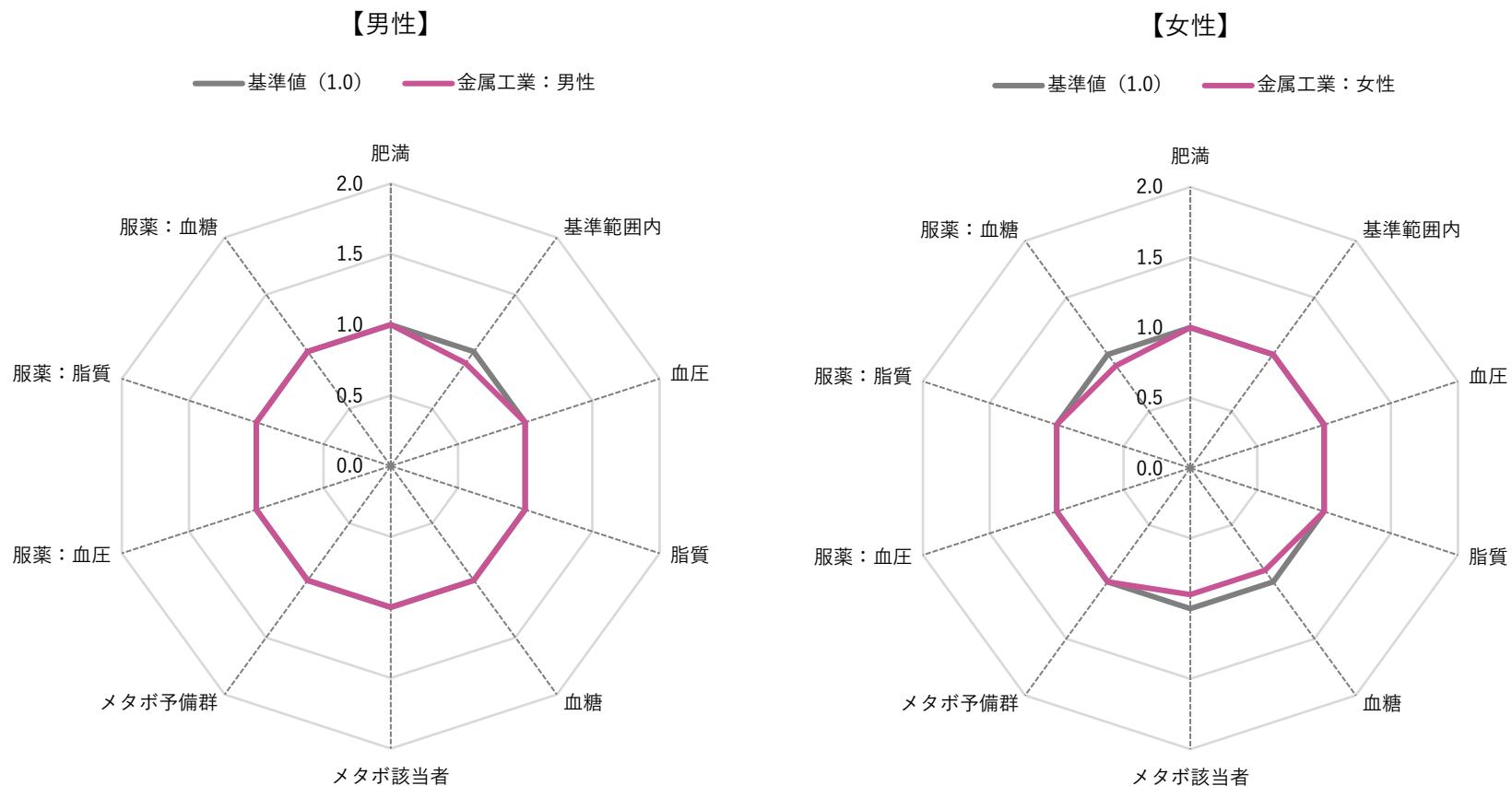
【男性】



【女性】

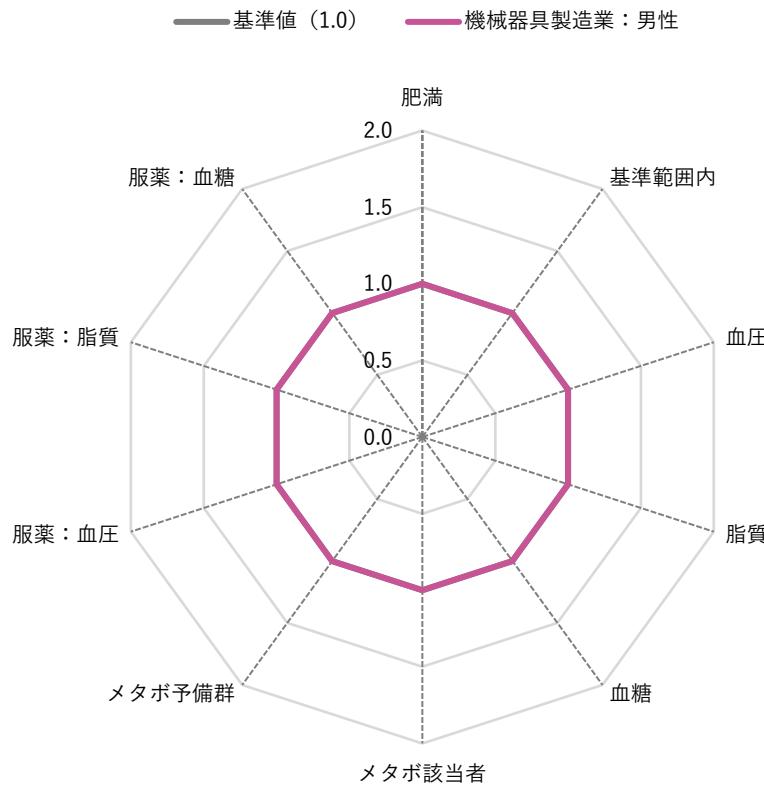


【金属工業】

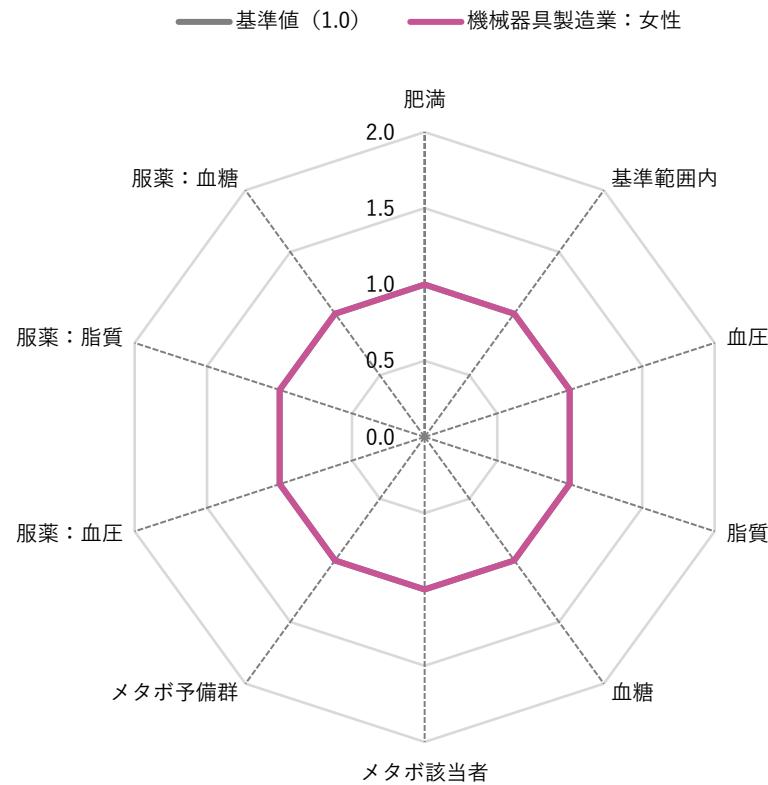


【機械器具製造業】

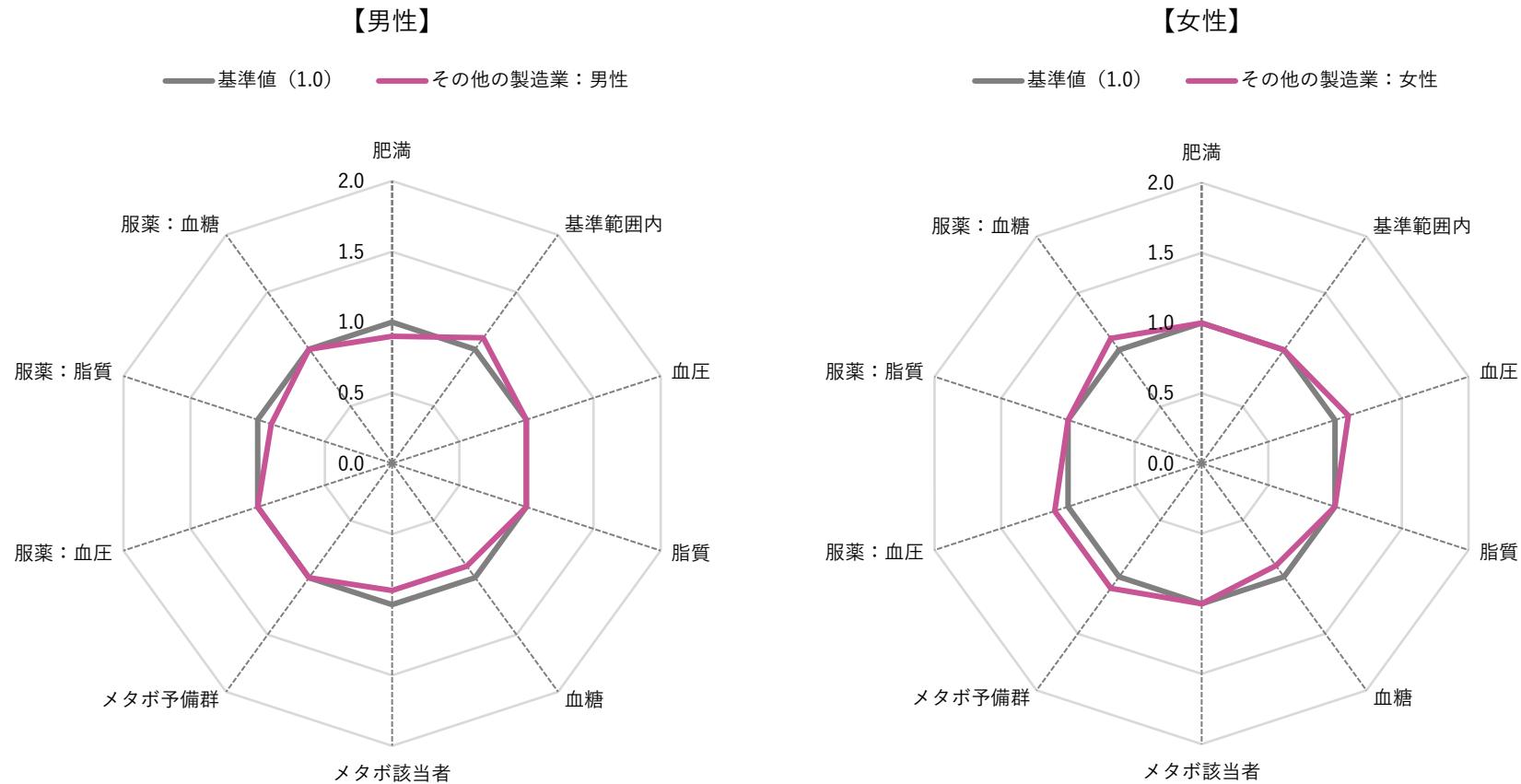
【男性】



【女性】

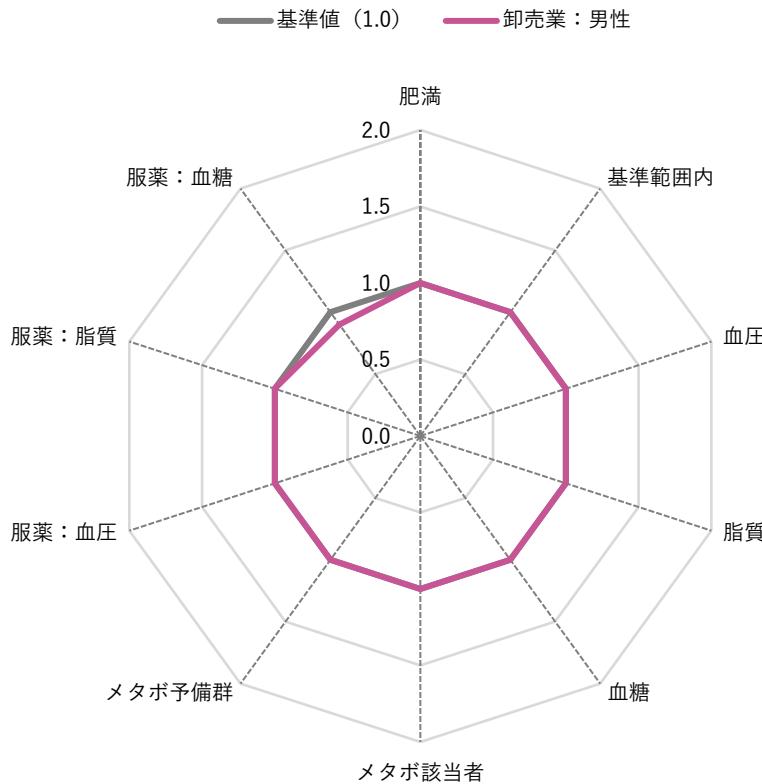


【他の製造業】

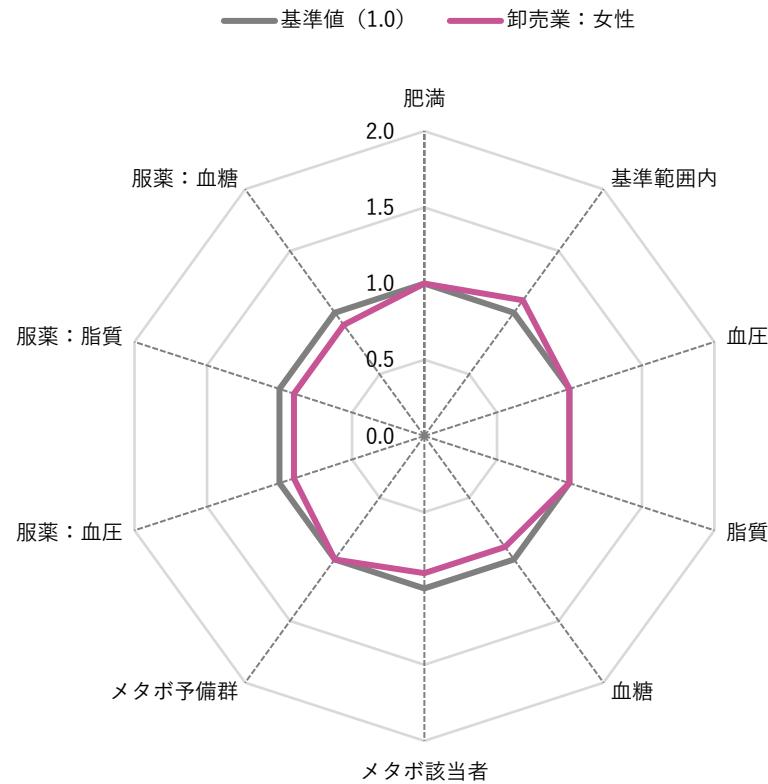


【卸売業】

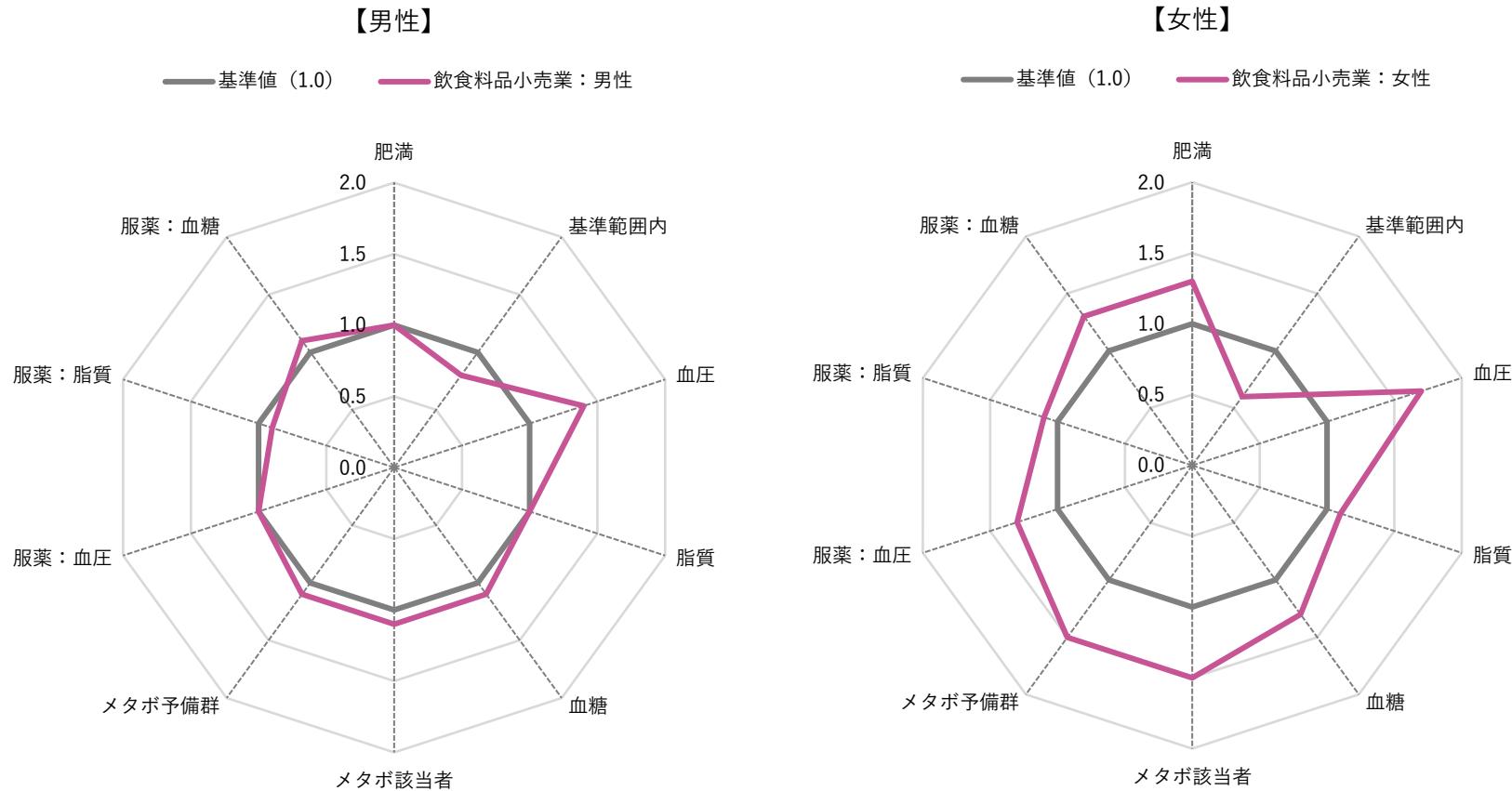
【男性】



【女性】

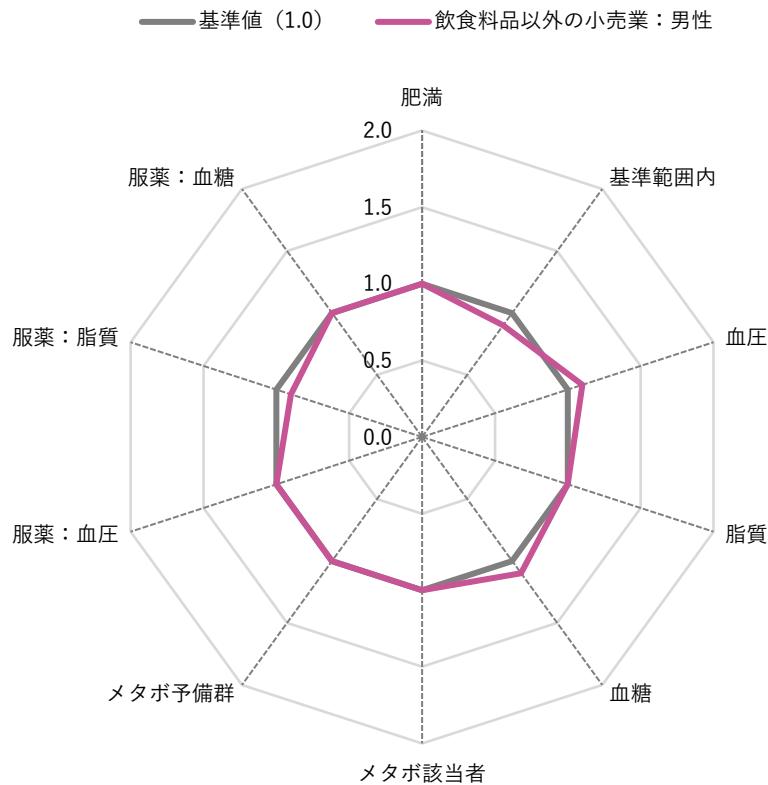


【飲食料品小売業】

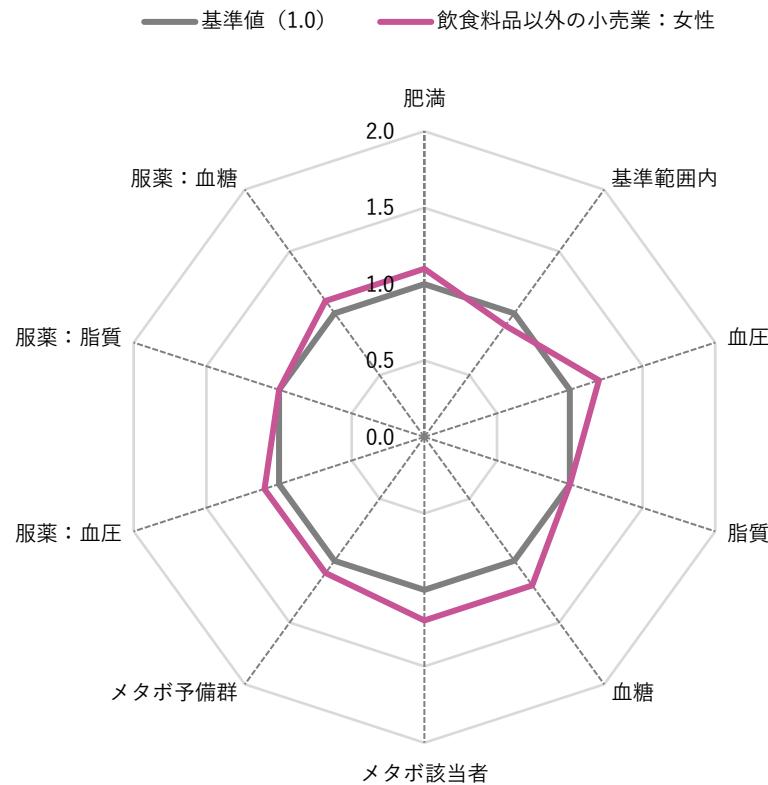


【飲食料品以外の小売業】

【男性】

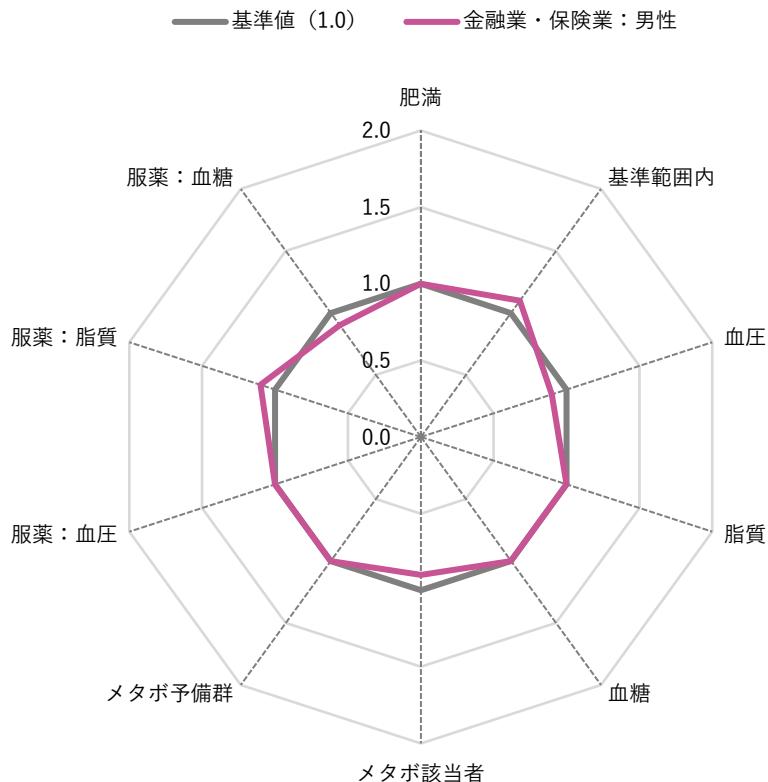


【女性】

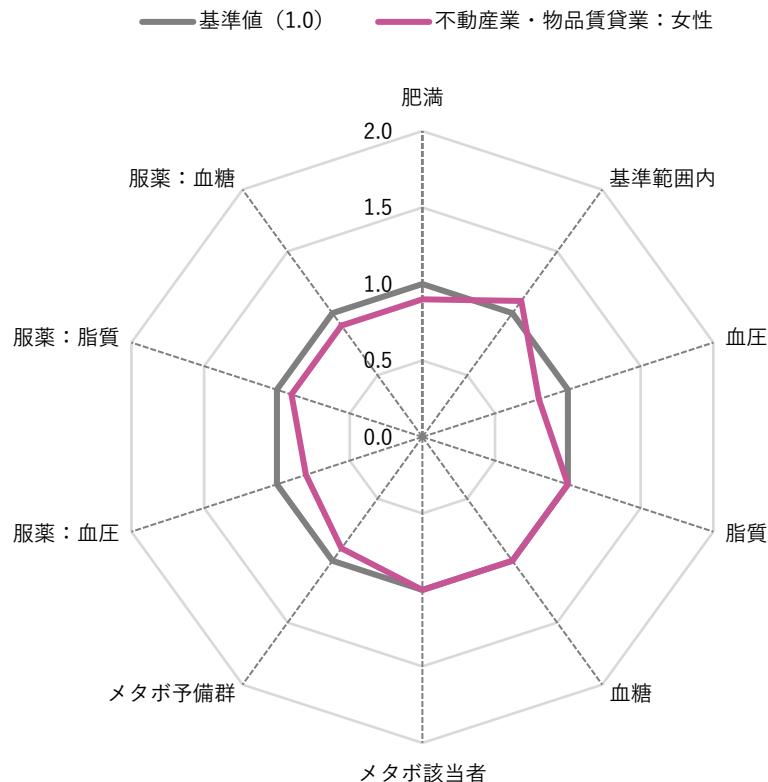


【金融業・保険業】

【男性】

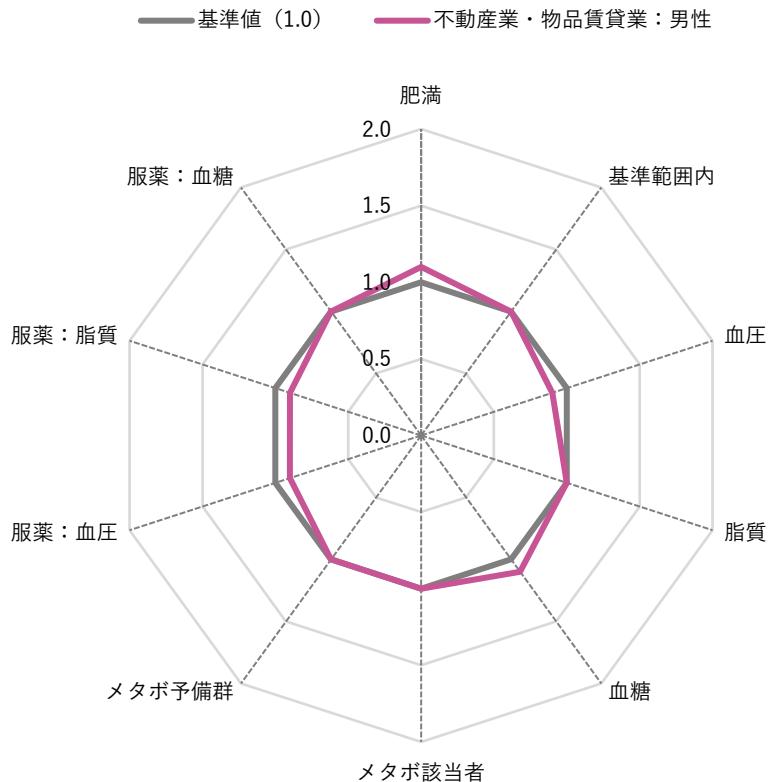


【女性】

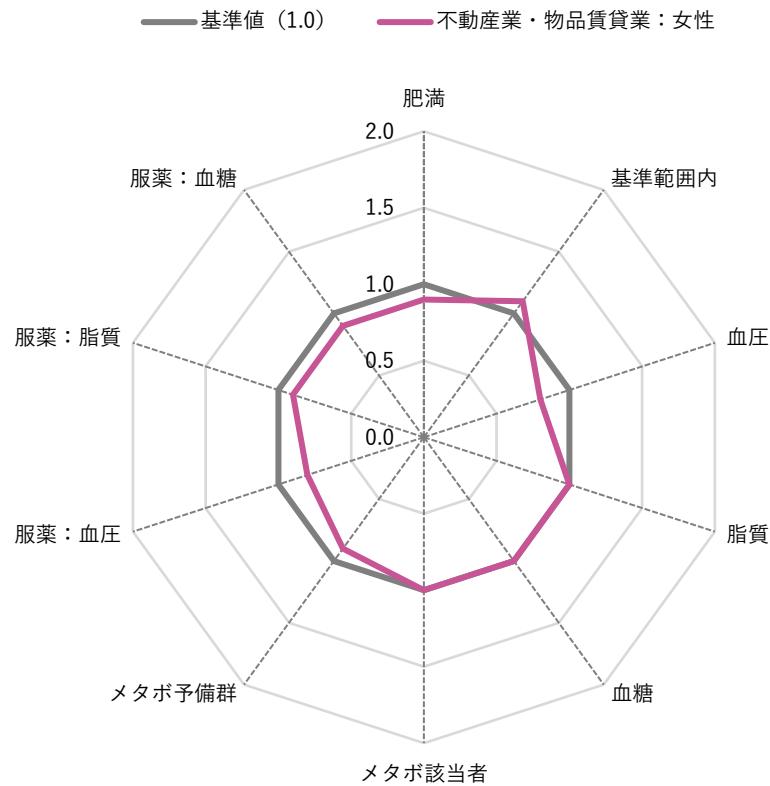


【不動産業・物品賃貸業】

【男性】

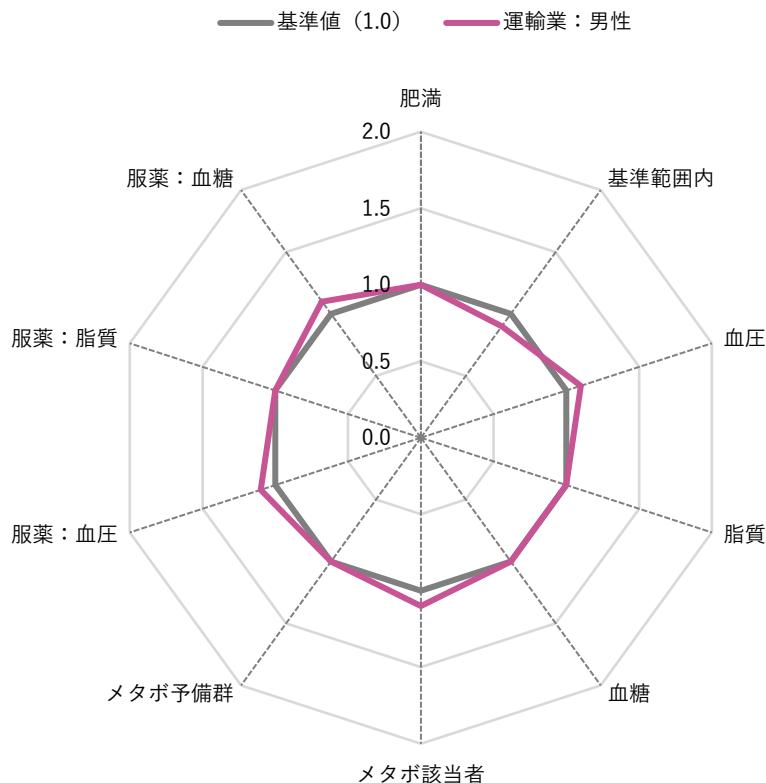


【女性】

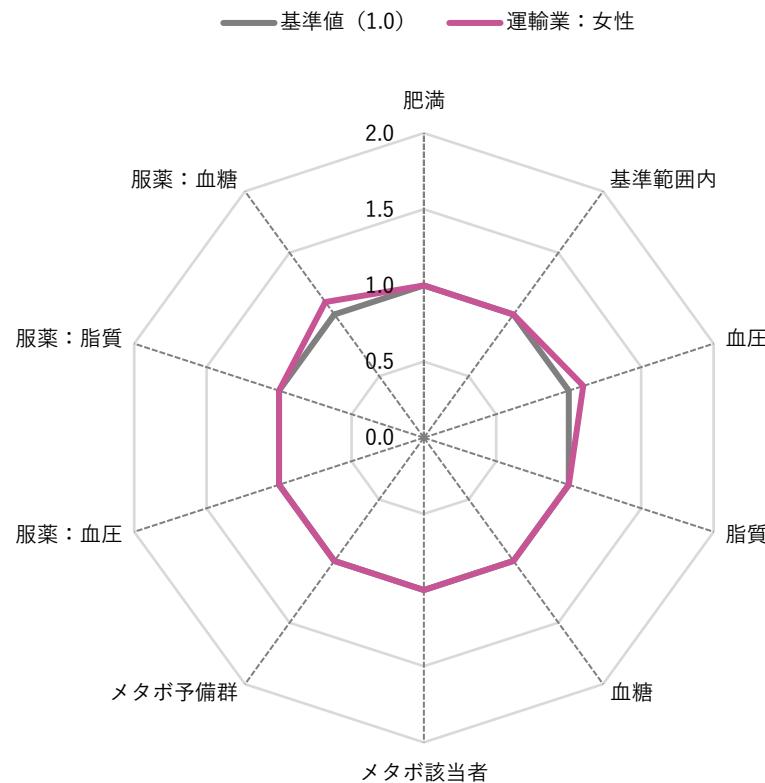


【運輸業】

【男性】

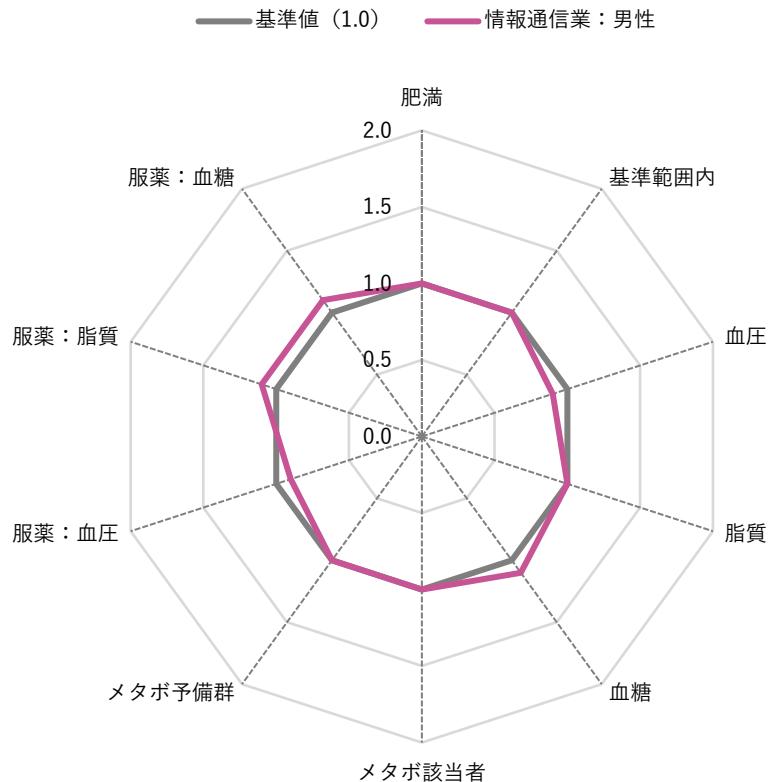


【女性】

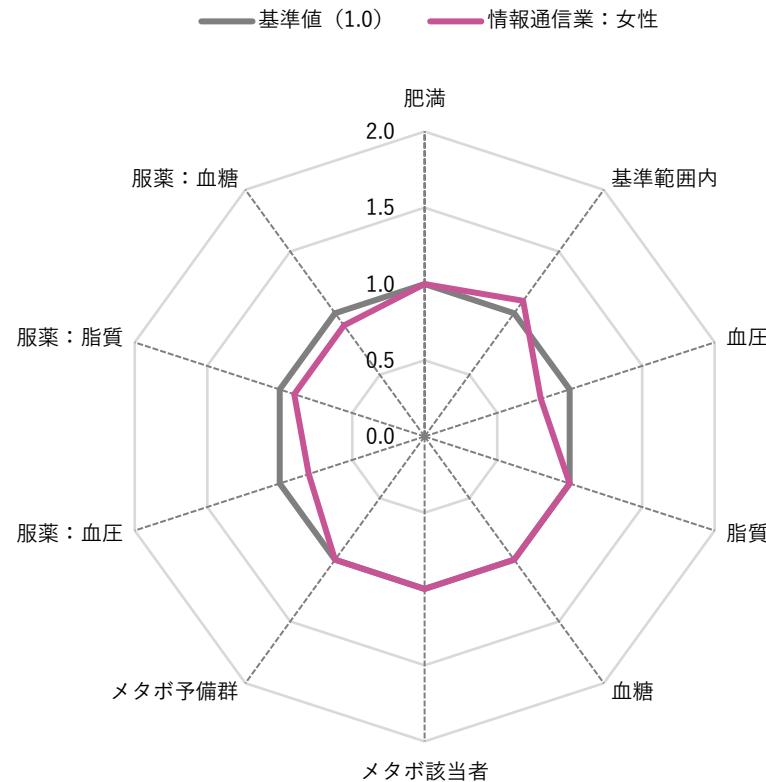


【情報通信業】

【男性】

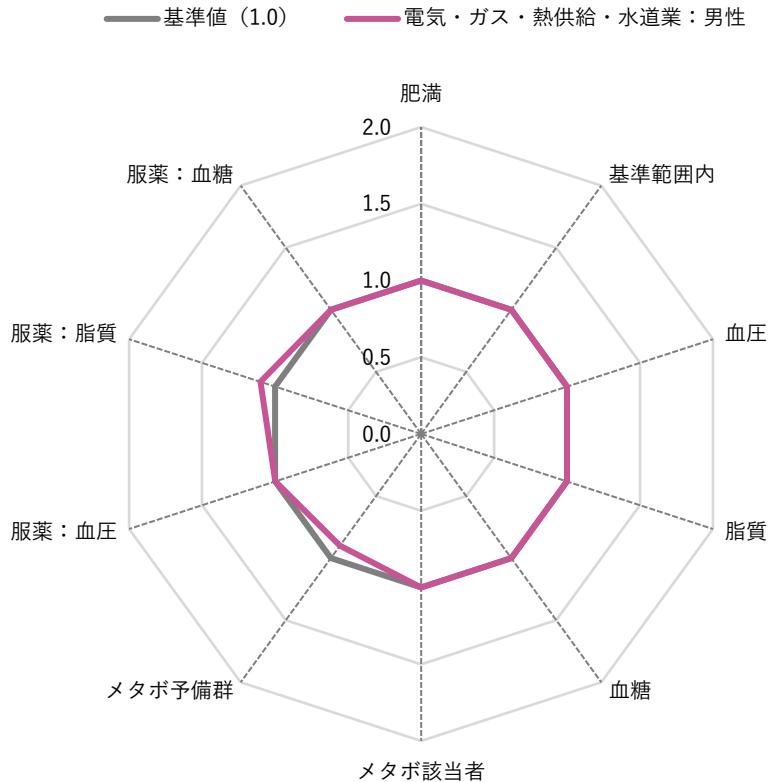


【女性】

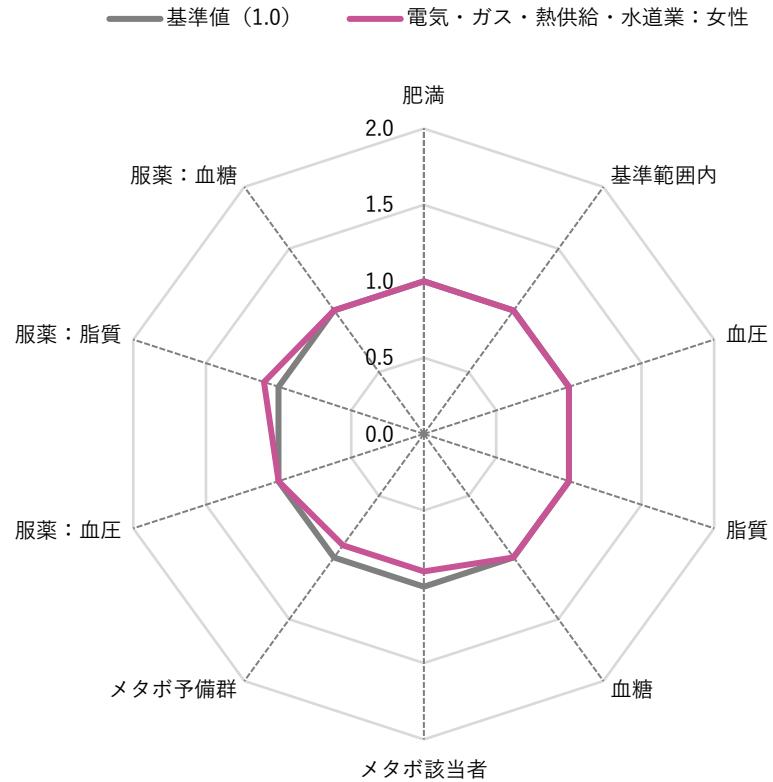


【電気・ガス・熱供給・水道業】

【男性】

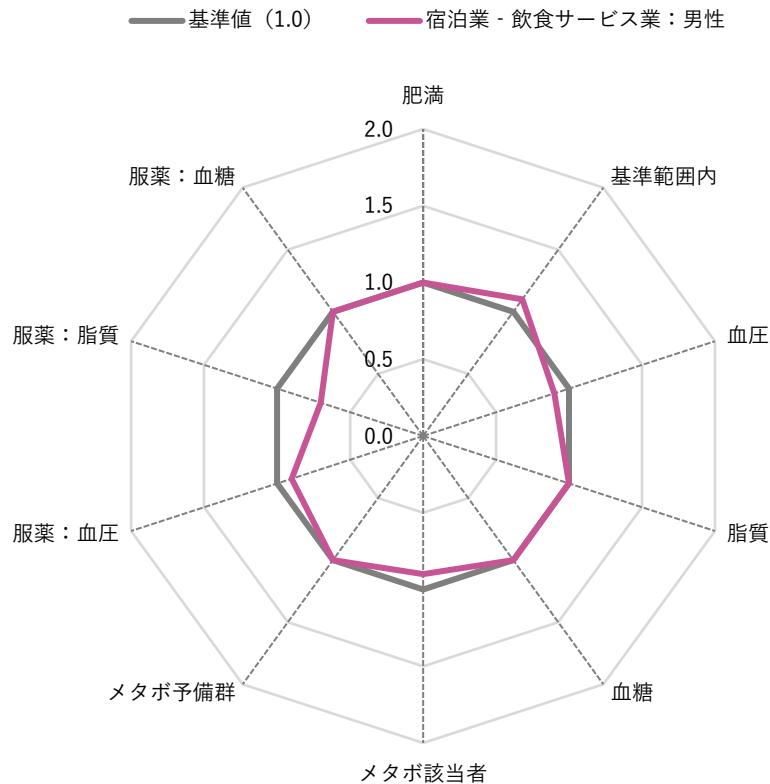


【女性】

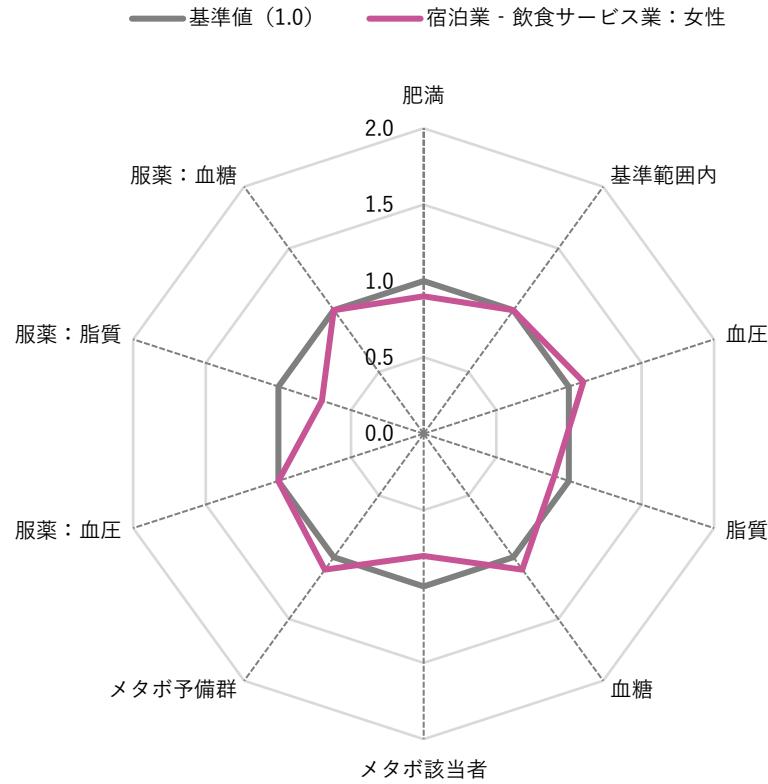


【宿泊業・飲食サービス業】

【男性】

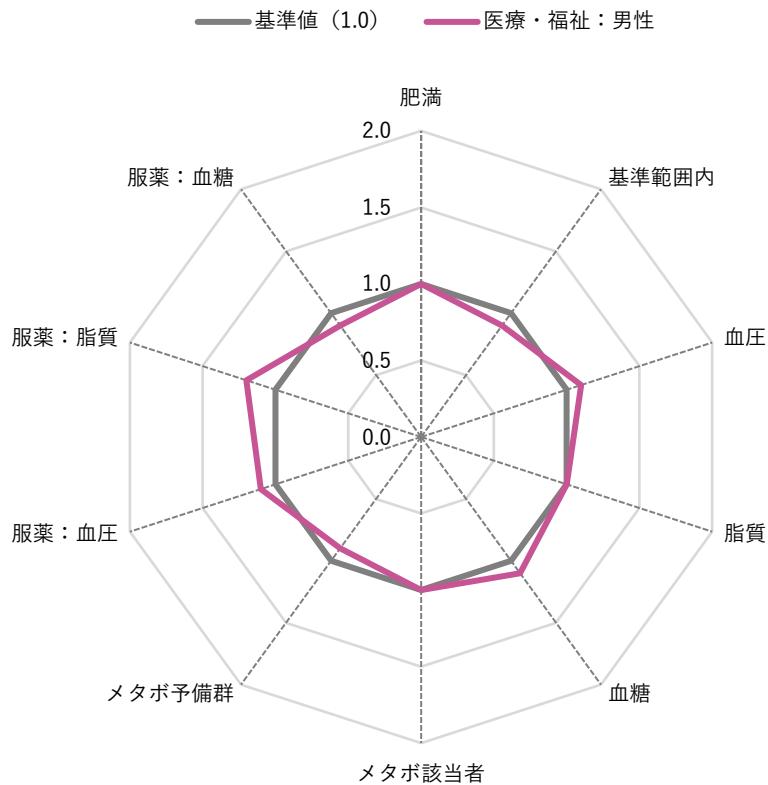


【女性】

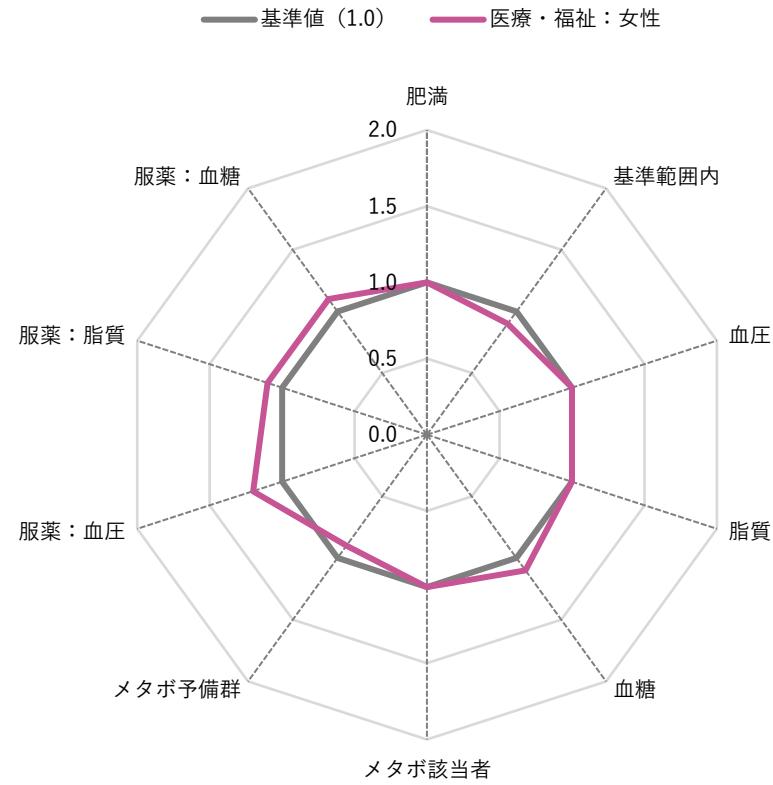


【医療・福祉】

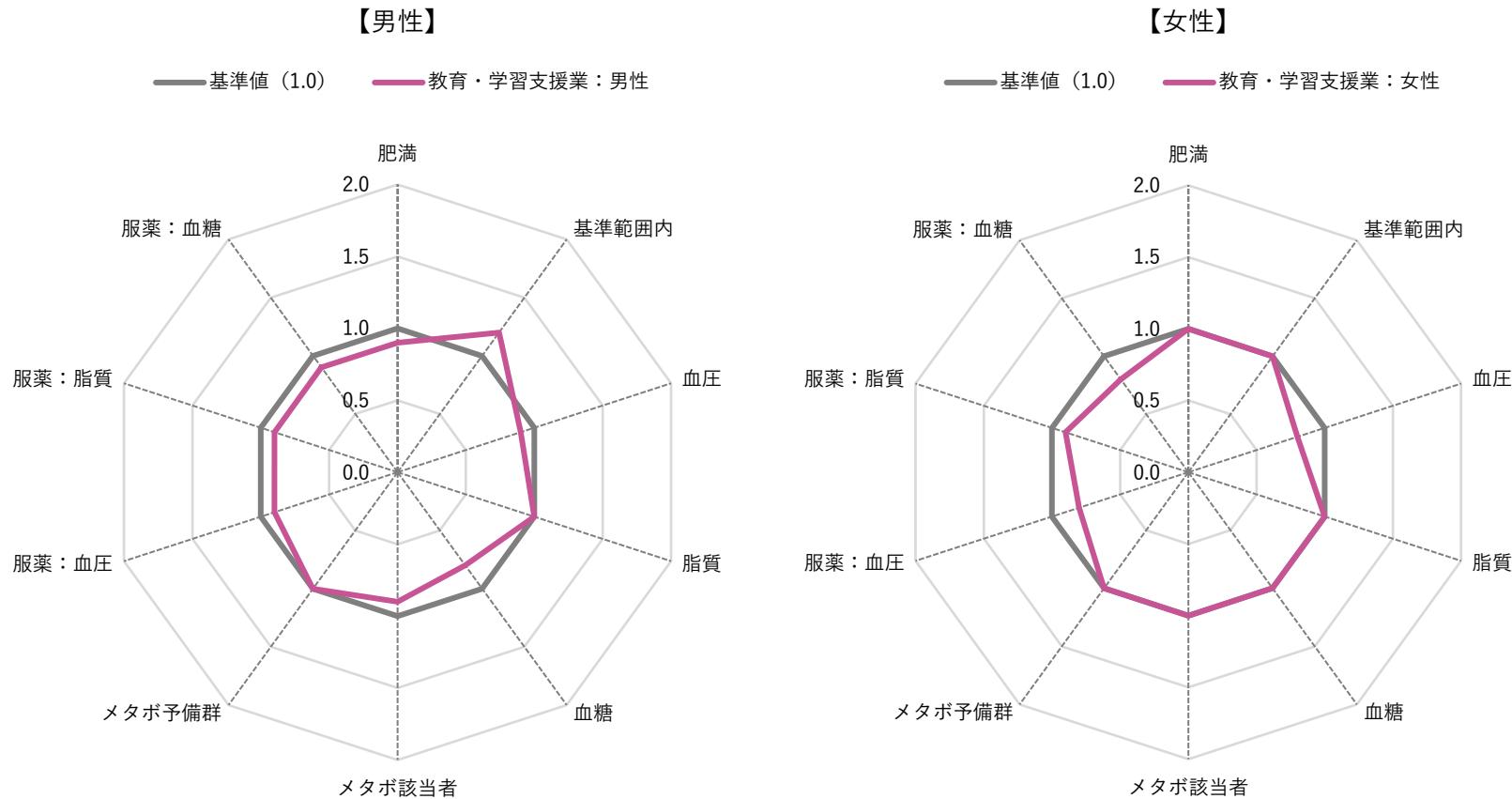
【男性】



【女性】

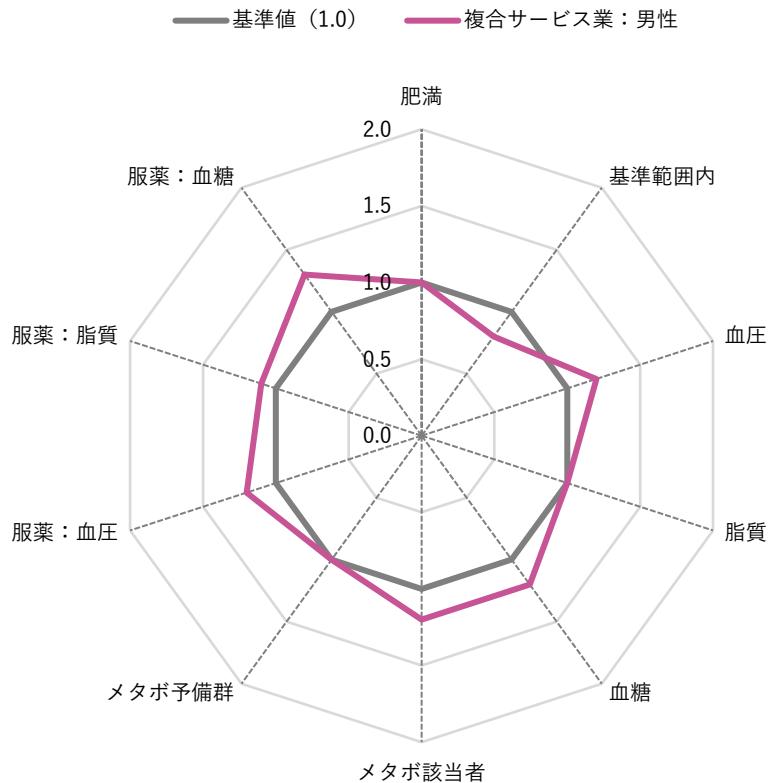


【教育・学習支援業】

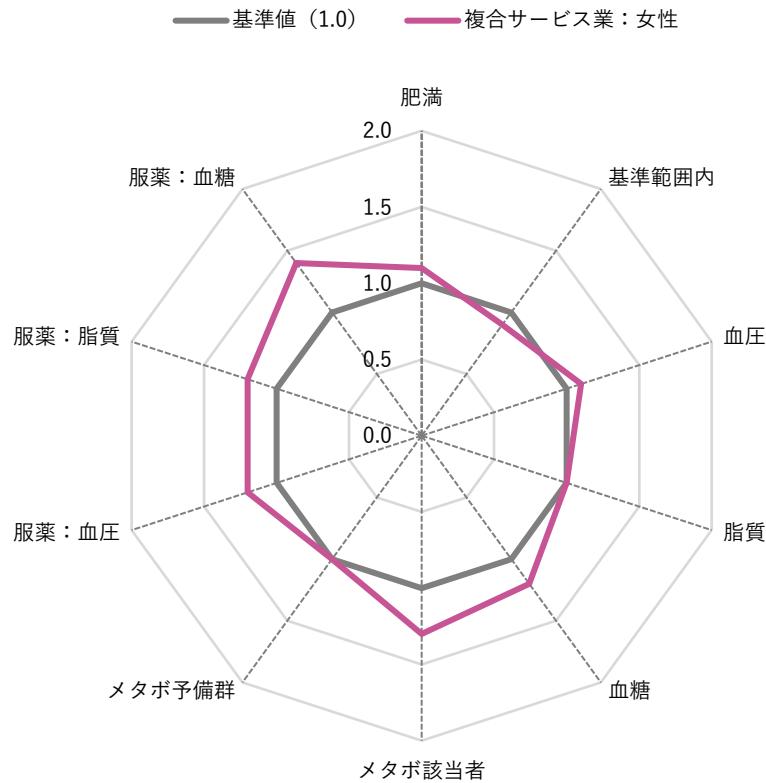


【複合サービス業】

【男性】

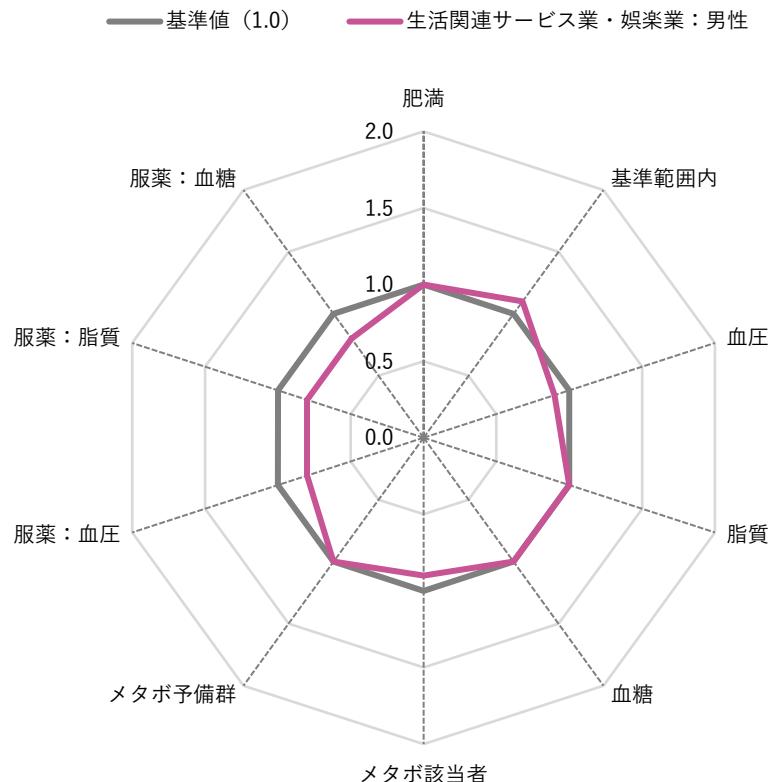


【女性】

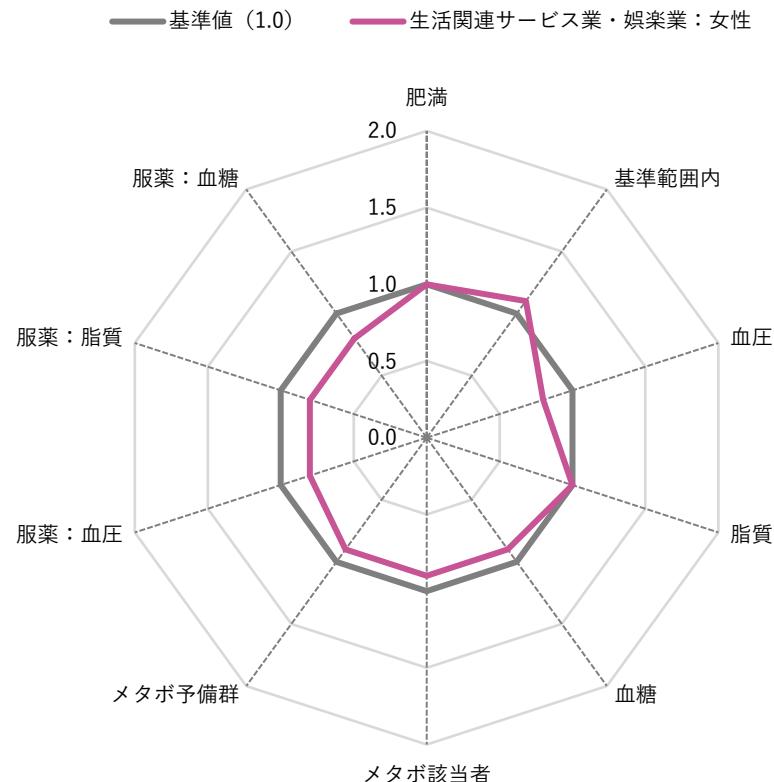


【生活関連サービス業・娯楽業】

【男性】

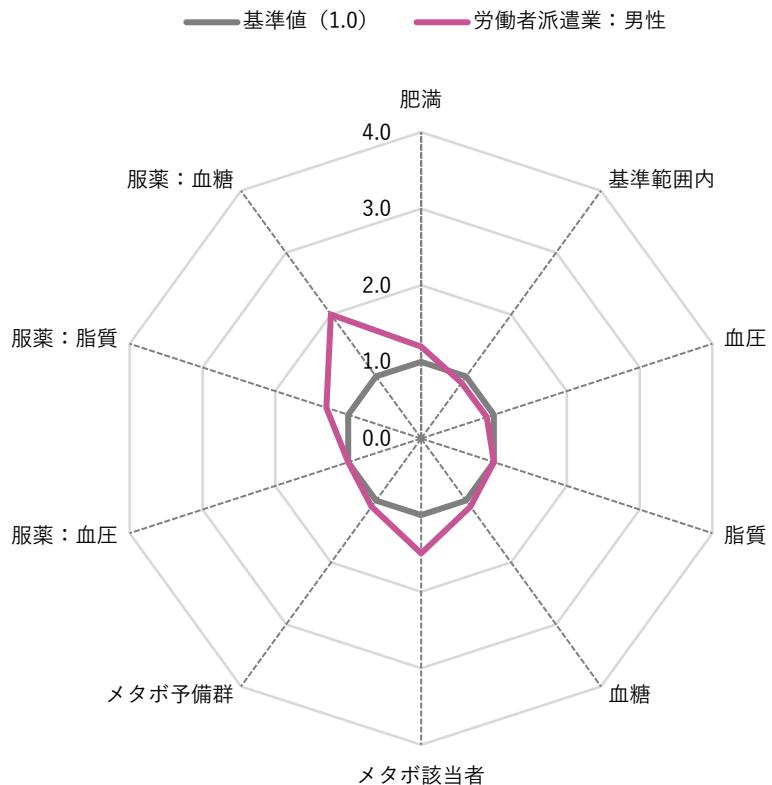


【女性】

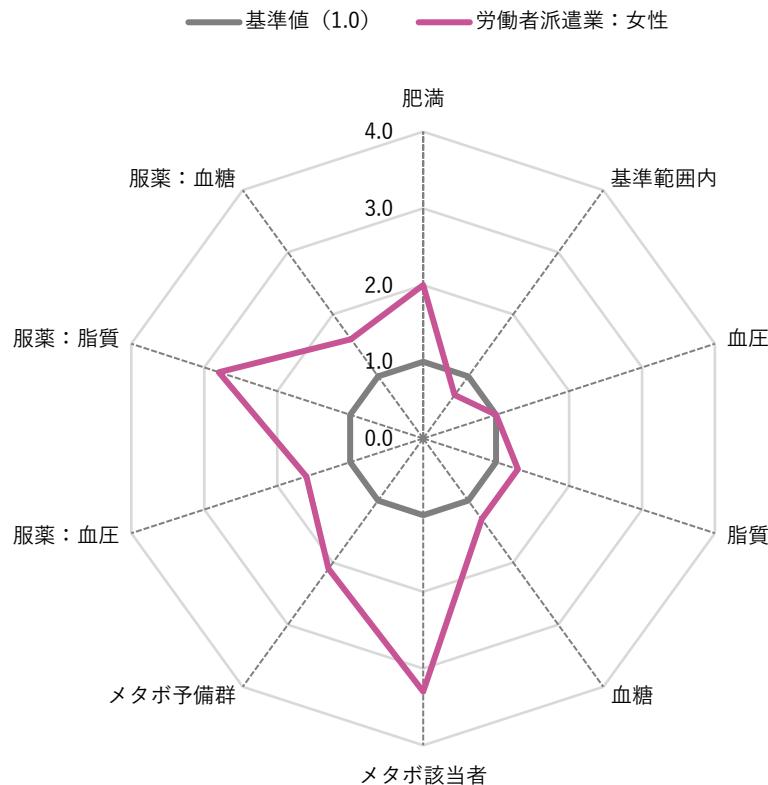


【労働者派遣業】

【男性】

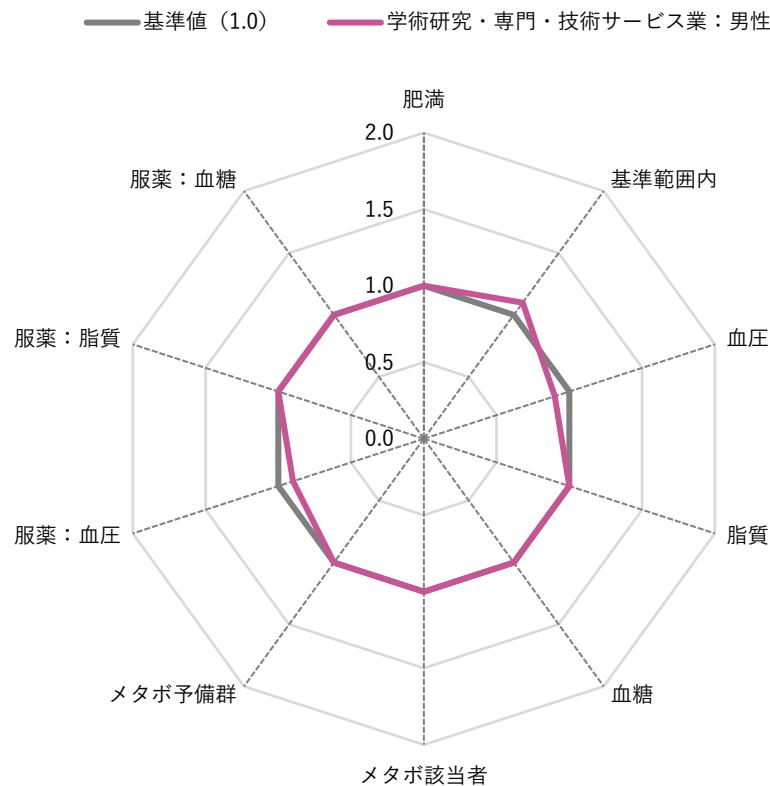


【女性】

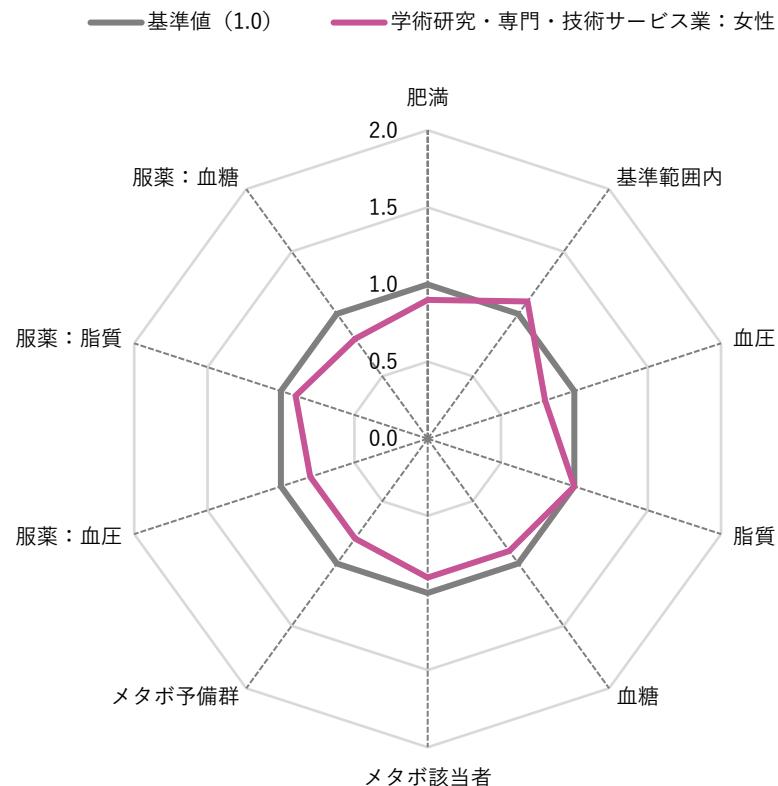


【学術研究・専門・技術サービス業】

【男性】

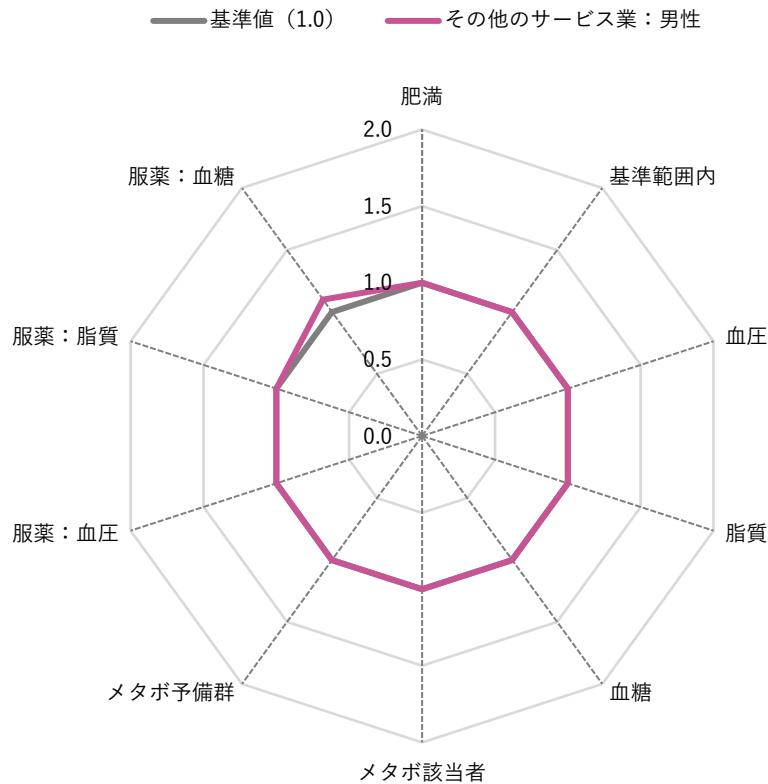


【女性】

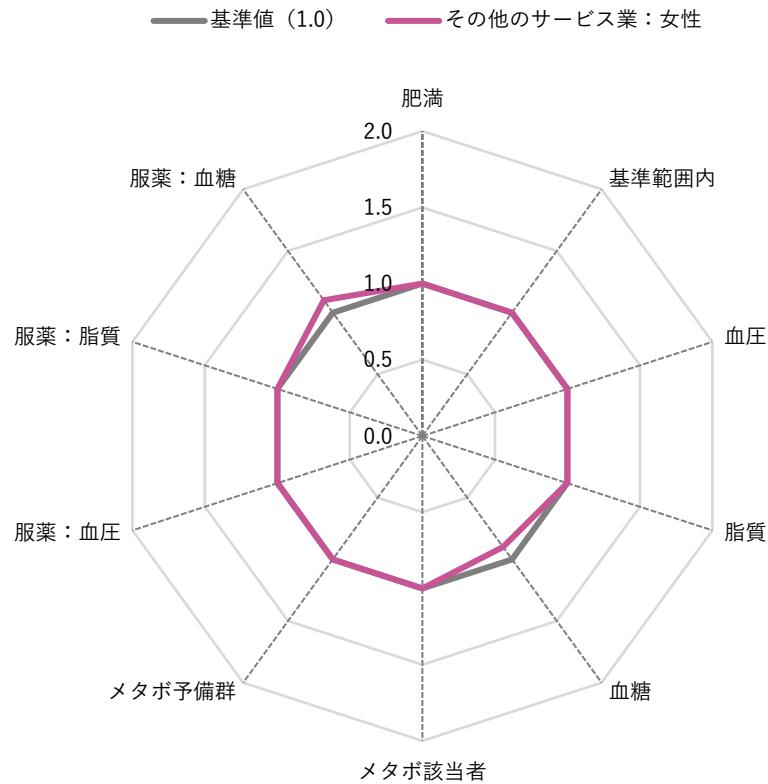


【他のサービス業】

【男性】



【女性】



業態分類表

業態番号	業態	業態番号	業態
01	農林水産業	16	金融業、保険業
02	鉱業、採石業、砂利採取業	17	不動産業、物品賃貸業
03	建設業	18	運輸業
04	食料品・たばこ製造業	19	情報通信業
05	繊維製品製造業	20	電気・ガス・熱供給・水道業
06	木製品・家具等製造業	21	宿泊業、飲食サービス業
07	紙製品製造業	22	医療、福祉
08	印刷・同関連業	23	教育・学習支援業
09	化学工業・同類似業	24	複合サービス業
10	金属工業	25	生活関連サービス業、娯楽業
11	機械器具製造業	26	労働者派遣業
12	その他の製造業	27	学術研究、専門、技術サービス業
13	卸売業	28	その他のサービス業
14	飲食料品小売業	29	公務
15	飲食料品以外の小売業		

※本調査では、業態に該当する組合が存在しない「鉱業、採石業、砂利採取業」については集計の対象外としている。

調査に使用した問診項目

朝食を抜くことが週に3回以上ある	①はい ②いいえ
就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある	①はい ②いいえ
朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取している	①はい ②いいえ
飲酒日の1日当たりの飲酒量	①1合未満 ②1~2合未満 ③2~3合未満 ④3合以上
現在、たばこを習慣的に吸っている	①はい ②いいえ
20歳の時の体重から10kg以上増加している	①はい ②いいえ
1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している	①はい ②いいえ
睡眠で休養が十分とれている	①はい ②いいえ
血圧を下げる薬の使用の有無	①はい ②いいえ
コレステロールを下げる薬の使用の有無	①はい ②いいえ
インスリン注射または血糖を下げる薬の使用の有無	①はい ②いいえ

「肥満」・「非肥満」の判定基準値

肥 満	<p>①内臓脂肪面積$\geq 100\text{cm}^2$または内臓脂肪面積$< 100\text{cm}^2$でBMI$\geq 25\text{kg/m}^2$ ※内臓脂肪面積の検査値がないとき ②腹囲 【男性】$\geq 85\text{cm}$、【女性】$\geq 90\text{cm}$ ③腹囲 【男性】$< 85\text{cm}$、【女性】$< 90\text{cm}$でBMI$\geq 25\text{kg/m}^2$</p>
非肥満	上記①~③のいずれにも該当しない場合

健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値

	検査項目	保健指導判定値	受診勧奨判定値
血圧	収縮期	130mmHg	140mmHg
	拡張期	85mmHg	90mmHg
脂質	中性脂肪	150mg/dL	300mg/dL
	HDLコレステロール	39mg/dL	34mg/dL
	LDLコレステロール (又はNon-HDL)	120mg/dL (150mg/dL)	140mg/dL (170mg/dL)
血糖	空腹時血糖	100mg/dL	126mg/dL
	HbA1c	5.6%	6.5%
	随時血糖	100mg/dL	126mg/dL
肝機能	AST (GOT)	31U/L	51U/L
	ALT (GPT)	31U/L	51U/L
	γ -GT (γ -GTP)	51U/L	101U/L
腎機能	eGFR	60	45

厚生労働省「標準的な健診・保健指導プログラム（令和6年度版）」・「第2編：健診」p.46を基に作成。